昭和54年2月1日発行（毎月1回1日発行）昭和53年12月26日国鉄首都特別扱承認雑誌第4212号

1979 FEB.

illustration：Sayo Fukuyama

●表紙／竹宮恵子

こころない情人(アマン)よ

AMANT

耽美写真館

AMANT

■渋谷公園通りバレエ用品のチャコット2Fにて

こころない情アマン人よ

石になりたや

おまえの眸が

そんなにも熱く見つめるその像に

ソファになりたや

おまえのからだを

すっぽりと抱きとめるそのソァフに

ナルシスの子孫のように

おまえは彫像に頰すりよせる

石とならくちびるかさね

腕をまわしていだきあう

おまえの心も大理石のようだ

いつかはその魂をこの手に

奪ってみせる

大理石のナルシス　こころない情アマン人よ

耽美写真館

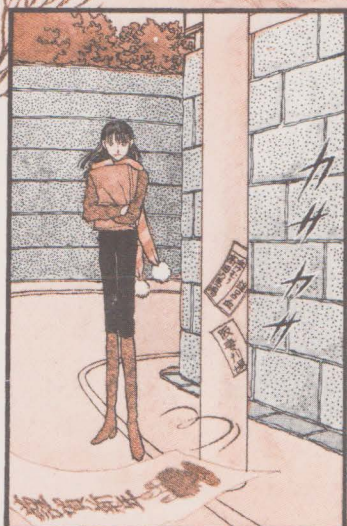
写真＝小暮　徹

スタイリスト＝中村のん

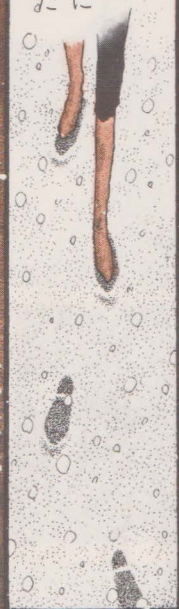
アマン＝グレック

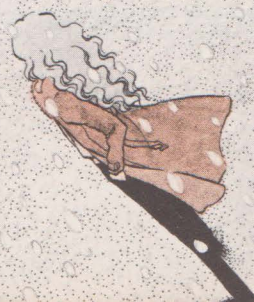
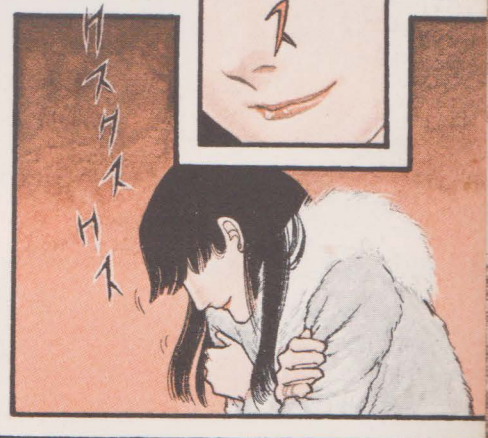
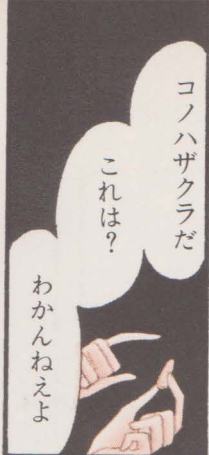
AMANT

ANNIVERSAIRE
S.2142
POSTES

Adieu…
松崎明美

――別れようと云い出したのはぼくなんだ――
カサ!
カサ カサ カサ
パサ
カサカサ
もう松もとれた
ほんとは…
降誕祭(クリスマス)を最後の日に
したかったけれど…
中川ビル
ALLO!
拡夢?
編集部に電話したらここに居るっていうから…
こんな所で仕事なんか出来るの?
なあに?
新書のね帯のコピイ
コトン
緩いのか?

以前の寸法で注文したから…
すぐなおしてもらっとくよ
いい！
このままでいい
……この方がいいんだ
サルミにケネルグラタンフリイジングしといたよ一週間位もつ
塩漬肉と乾酪も買っといた
朝はちゃんと食べていきなよサラダも食べなきゃ駄目だよ
…本気か…？
さよならはいつだってより想う方からするものなんだ
さよならは〝愛〟の同意語

許されるなら
こうして…
一生あんたの足跡に
ついて行きたかった
一歩及ぶ毎にあんたを愛し
二歩及ぶ毎にあんたを想い…
あんたの姿だけを
見つめて
歩いていきたかった
前が見えない時は
あんたは手をひいてくれるだろう
つかれた時は立ち止まり
ぼくの追いつくのを
まっていてくれるだろう
あんたは
ぼくを愛してくれている
およそこの世の誰よりも
ぼくを愛してくれている
ただ…
ただぼくはあんたにとって
〝嗜好品〟にすぎなかっただけ
フォシアンの香りを愛する様に
キャメルの煙を愛する様に
偶々(たまたま)ぼくを選んだだけ

〝嗜好品〟のぼくは
あんたには生活の一部であって
それ以上のものでは決してない
これからもそれ以上のものに
なる事はないんだ
――いつかは堪えられぬ時がくる
その時は…
死ななきゃならない

これ 何て 云うの？
コノハザクラだ
これは？
わかんねえよ
じゃ これ
わかんねえよ ポケット図鑑でも もってくりゃ
じゃあ こん次くる時に…
クス
クスクスクス
クスクスクス

切ったのか？
拡夢!?
──別れようと云い出したのはぼくなんだ
NON!
あんたなしでどうして生きられる
あんたの足跡なしでどうして
鳴呼　朝な夕な
あんたのうでを覚えたこの肢体を
自分でいとおしむなんて…！
NON
NON…
NO…N
あんたの胸なしでどうして
NON

NON…
さよならは
“愛”の同意語
adieu・・・
—ジュテイム—

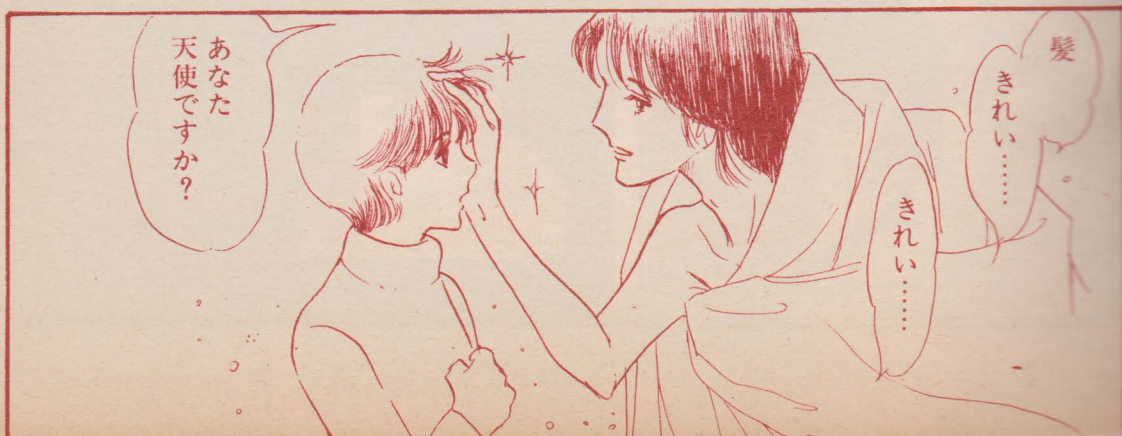
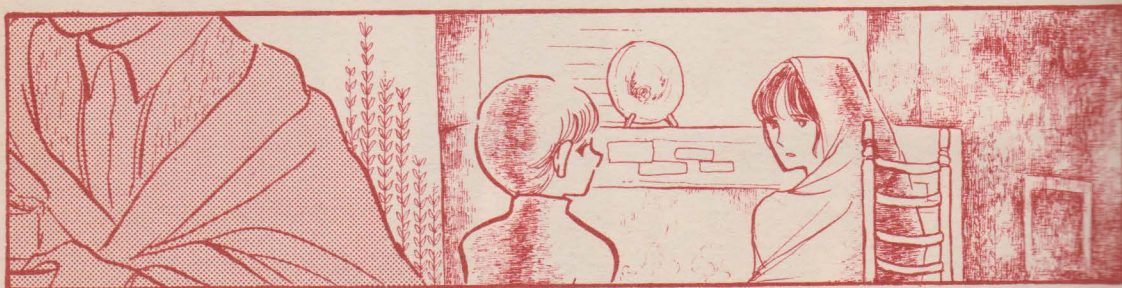
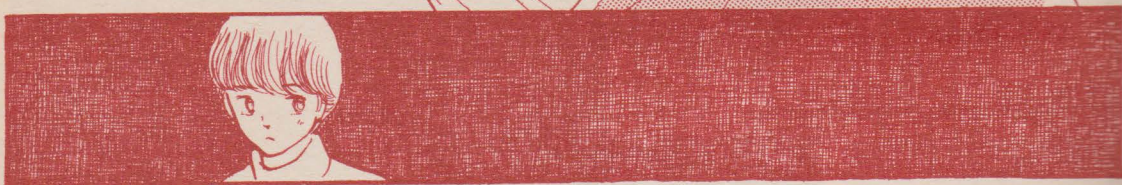
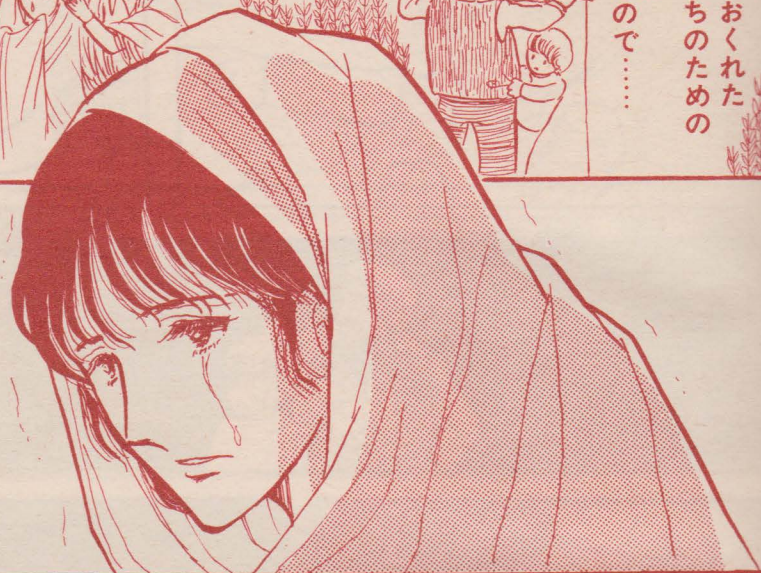
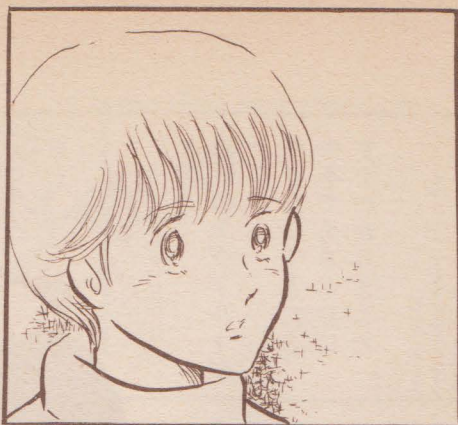
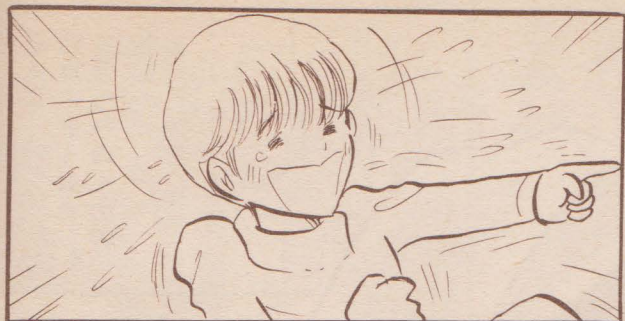
沈黙の朝

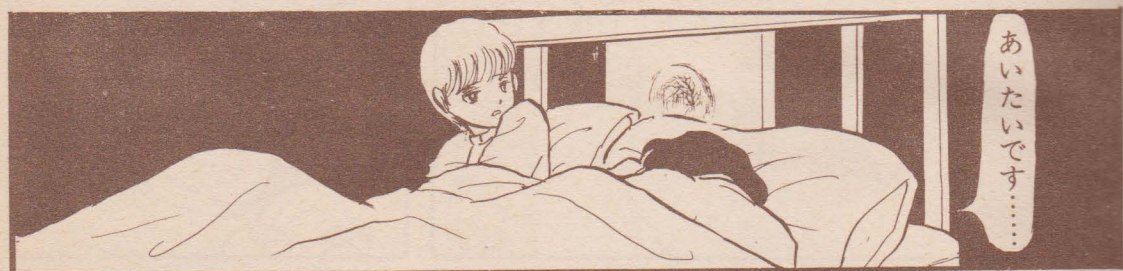
当時　私は
シュヴェービシュ・ハルの
近くの村に
祖父と母の三人で
住んでいて

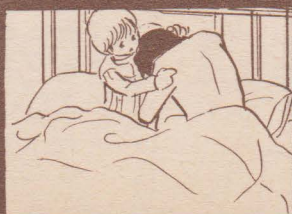
——そのすみれ色の瞳をもった
黒髪の少年とであったのは
私が八つになったばかりの
冬でした

ささやななえ

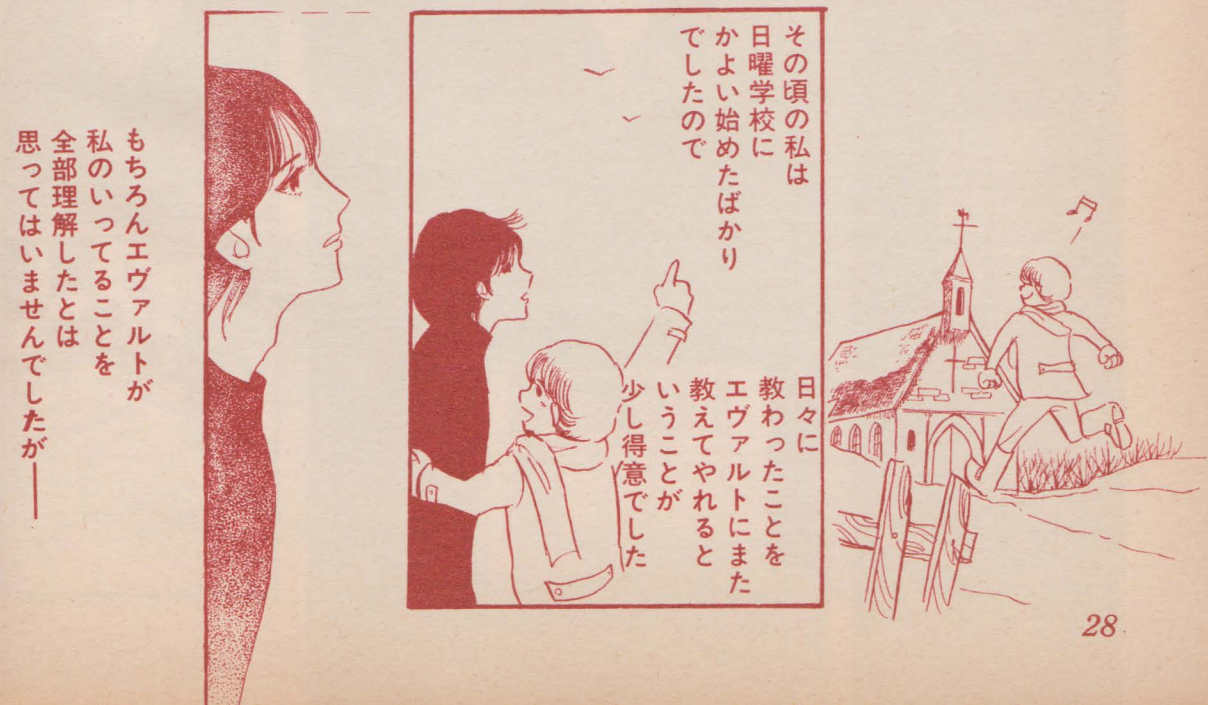
ボキ
おしえて……
神さまの国どこ…?
おしえて…
ママ

近くに
知恵のおくれた
子供たちのための
施設が
あったので……
その
黒髪のエヴァルトが
そこから
ぬけだしてきた
少年であることは
すぐわかりました
髪
きれい……
きれい……
あなた
天使ですか？

当時
私たちの国は
戦争をして
いたので
多くの村の男
たちが戦線に
かりだされて
おりました

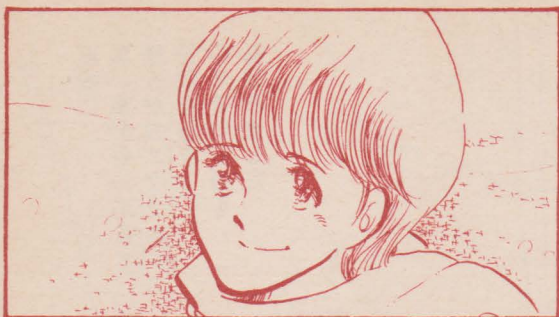
私の父や
兄も
エヴァルトの
父親も——

自分より
ずっと年上の少年を
私がなぐさめてやると
いうのは
なんだか奇妙な
くすぐったいような気持
でしたが

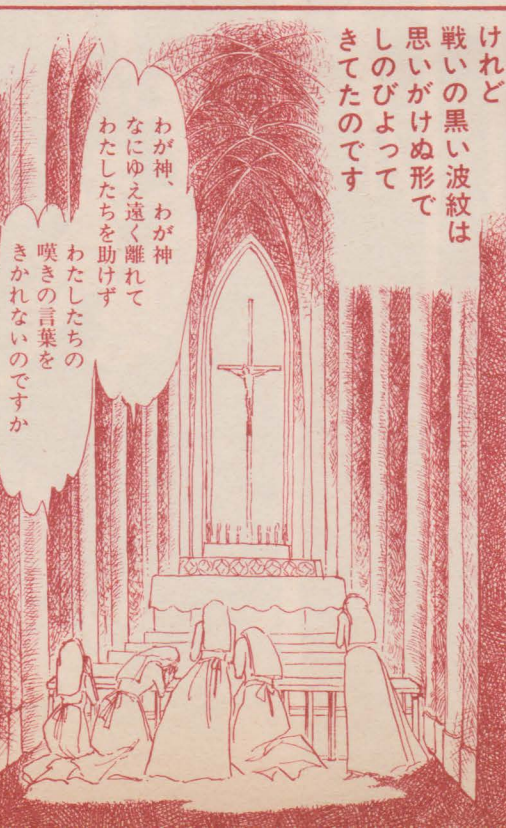
私はいっしょうけんめい
でした
どうすれば
この少年の悲しみを
へらすことができる
でしょう

人はみな神の子です
私たちはお互いに信頼しあい助けあわなければなりません
あなたがエヴァルトと友だちになることを
神さまもきっと喜ばれることでしょう

あのさー人はみんな神さまの子供なんだって
だから仲よくしなきゃならないんだって

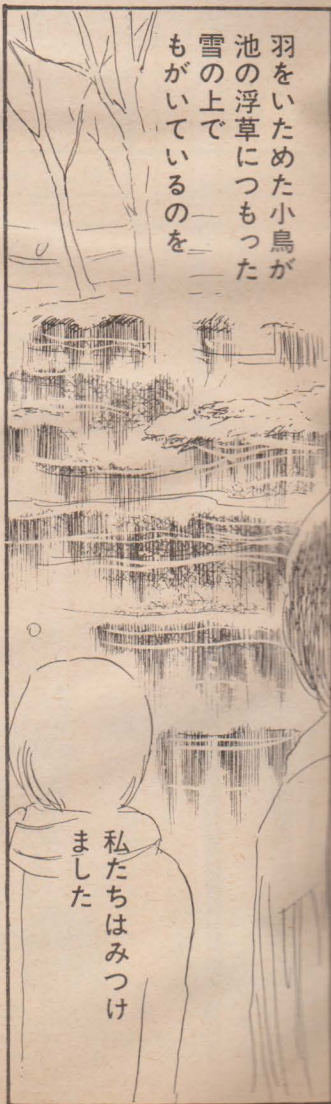
神さまはいつも私たちのことをみてらっしゃいます
小鳥が遠く巣からはなれてもちゃんと迷わずもどってこれるのは
神さまがすべてのことをみて、知ってらっしゃるからなのです

その頃の私は日曜学校にかよい始めたばかりでしたので

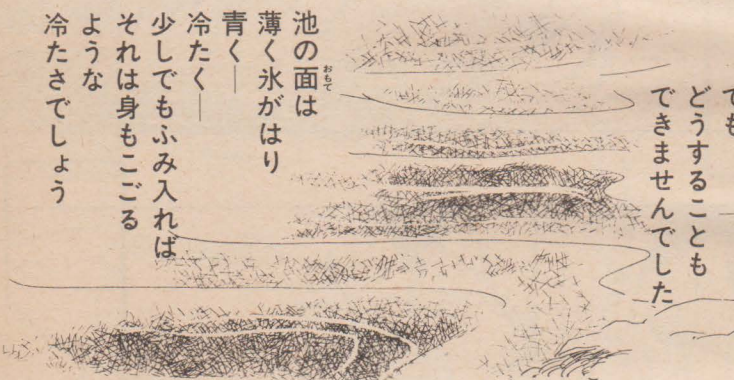
日々に教わったことをエヴァルトにまた教えてやれるということが少し得意でした

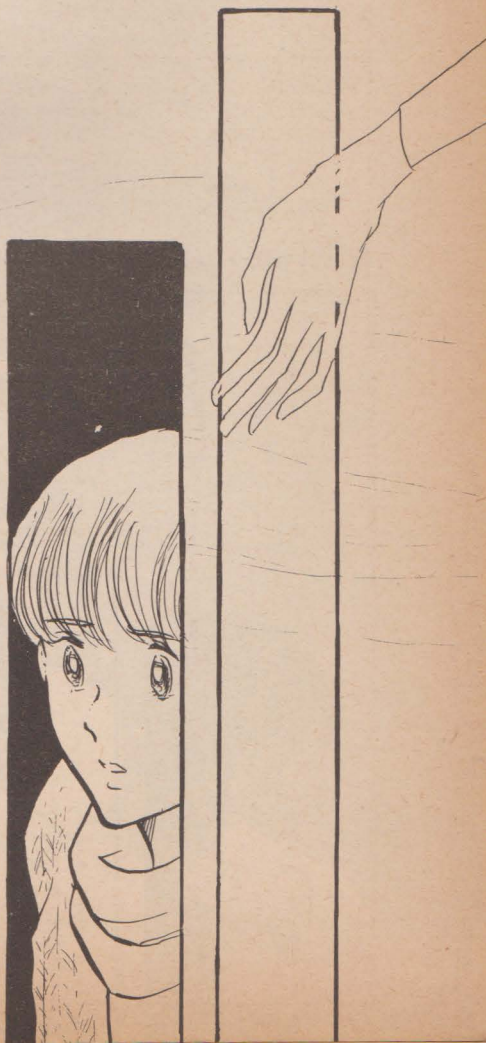
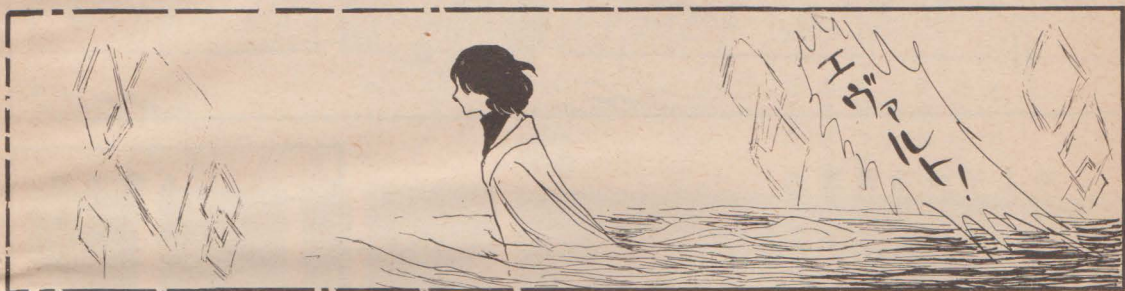
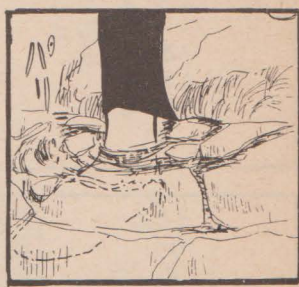
もちろんエヴァルトが私のいってることを全部理解したとは思ってはいませんでしたが――

村の日々は
平和でした

私たちにとって戦いは
どこか遠くの国で
行なわれてた
ことでした

そして
その子供
たちは
二度と
もどって
きません
でした

ピ
ピ
——そんな
ある日

羽をいためた小鳥が
池の浮草につもった
雪の上で
もがいているのを
私たちはみつけ
ました

でも
どうすることも
できませんでした
池の面は
薄く氷がはり
青く—
冷たく—
少しでもふみ入れば
それは身もこごる
ような
冷たさでしょう

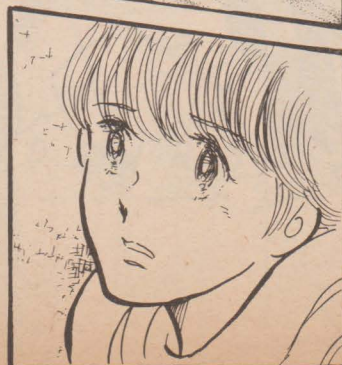
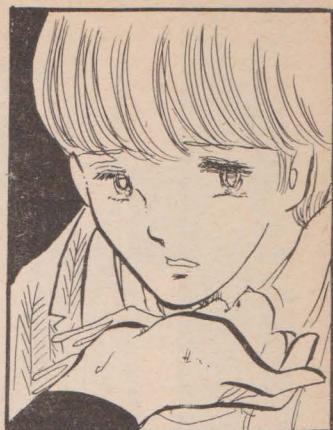
…いこう

エヴァルト

パリ
エヴァルト!

それは私の
目のまよいだったの
かもしれません

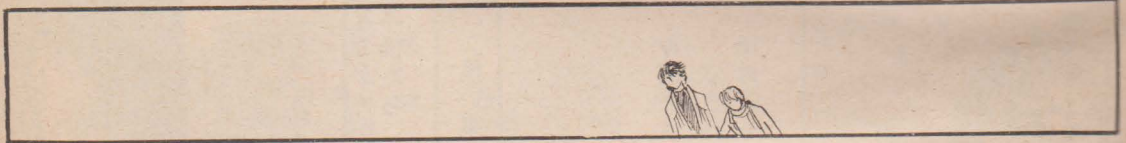
光と雪がおりなした
私の幻覚だったの
かもしれません

けれど私の目は
傷ついた小鳥を
手にしたエヴァルトに
はっきりと

光り輝く
羽と輪を
みることが
できたのです

——神さま

私はこの時
エヴァルトの中に
神が存在してることを
知ったのでした

人はみな
神の子です

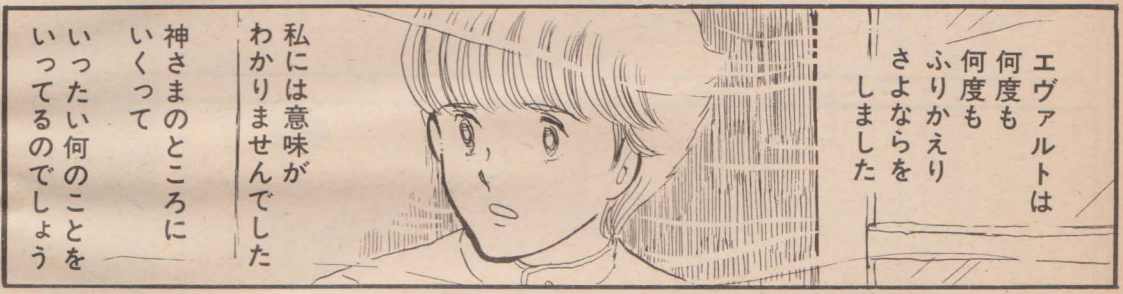
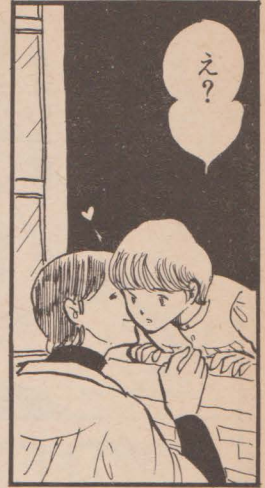
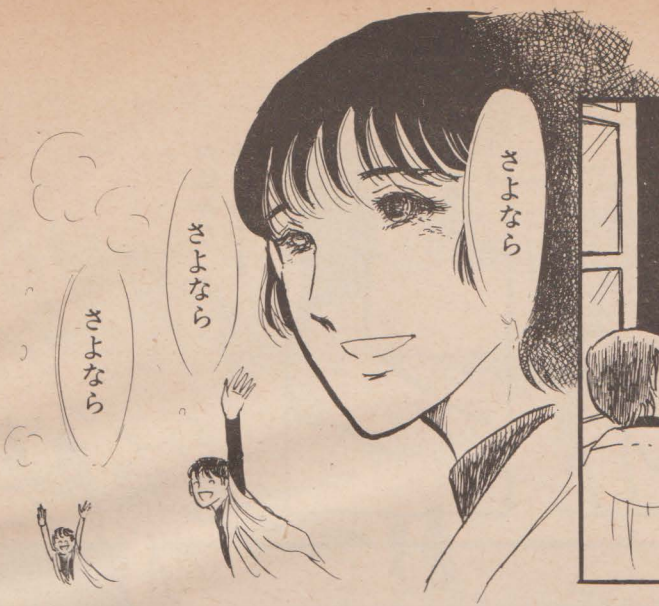
私たちは
お互いの中に
神を見出し
自らを愛するように
お互いを愛し
いつくしまなくては
なりません

そうして…

エヴァルトと私との
交際についに終止符を
打たれる日がやって
きたのです

コン
コン…

ぼく…
神さまのとこ
いきます

パパ……
あいに
いきます

だから
さよなら
いいにきた

エヴァルトは何度も何度もふりかえりさよならをしました

私にはわかりませんでした意味が

神さまのところにいくっていったい何のことをいってるのでしょう

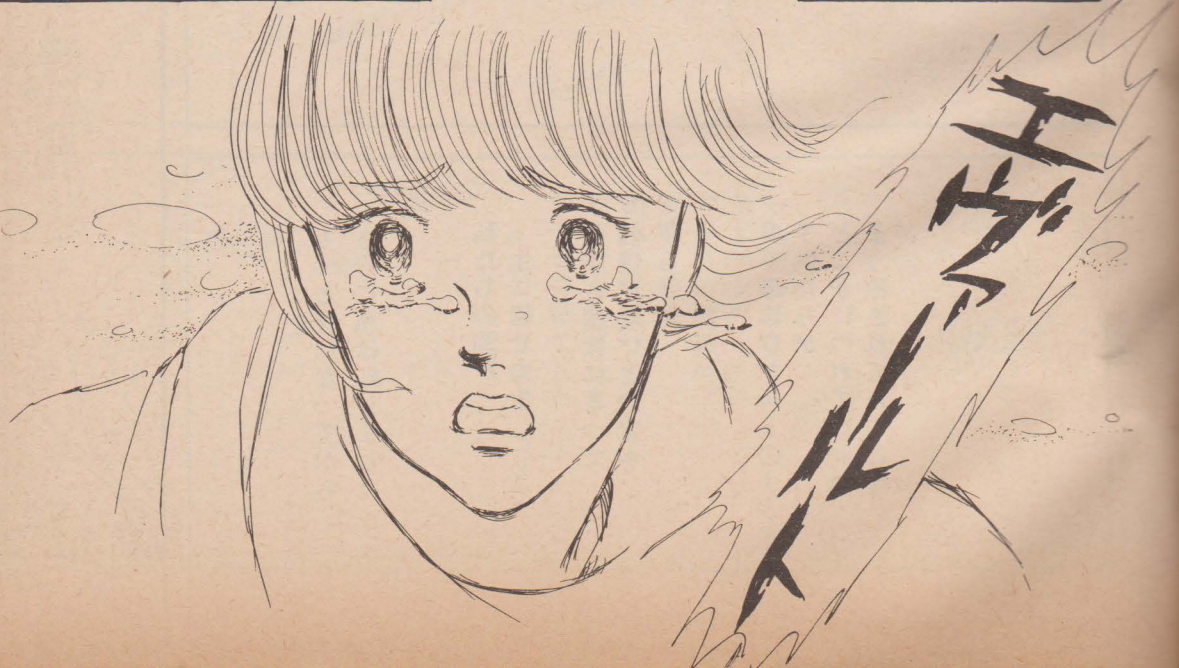
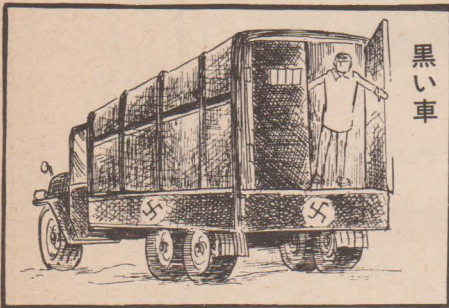
不安は黒い雲のようにわきあがり私を包みました

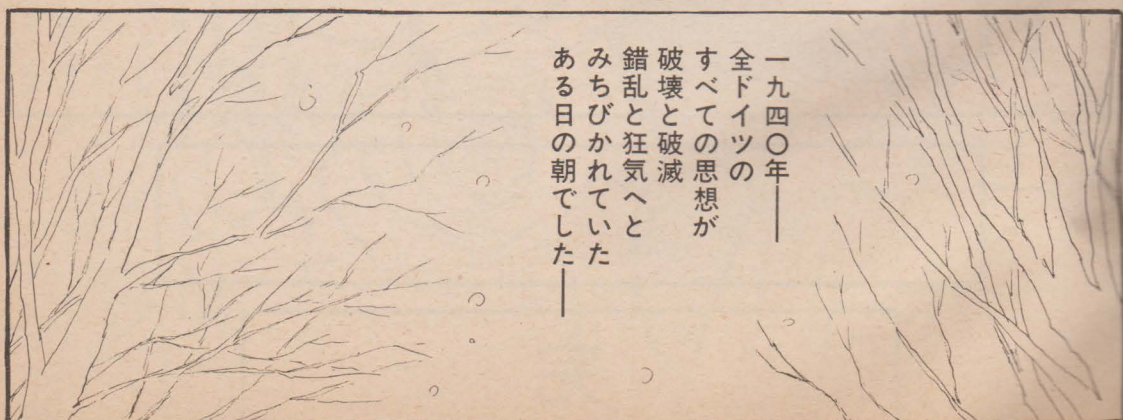
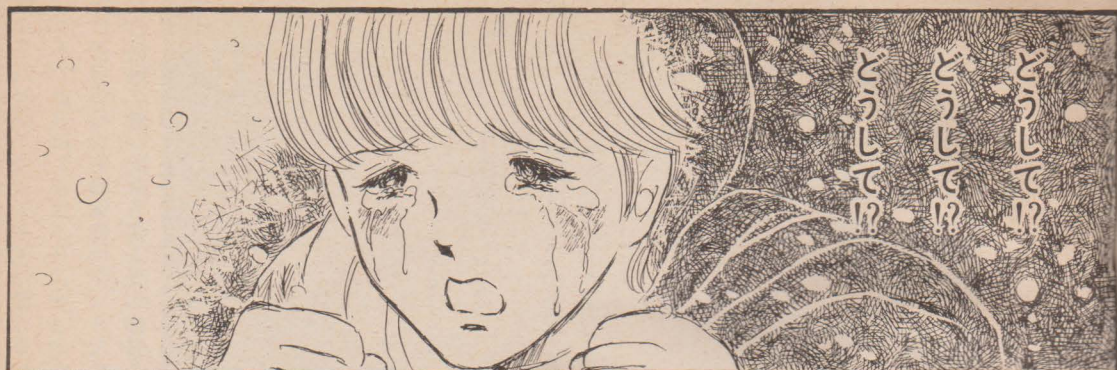
どこかへいったきりの子供たち

黒い車

いつかみた奇妙な夢

エヴァールトー

そこで見た光景を私は一生忘れないでしょう
施設の子供たちが手をつなぎ
歌を歌いながら
We are going
Heaven knows where
それはさながらハメルーンの笛吹きにさそわれるように
乗り込んだのです
Heaven knows how we will
歌を歌いながら
It will be hard
And the road
倒れるかの如くうなだれてた看護尼(シスター)たち
黒い車
エヴァールト

エヴァールトー
——ずっと後になってから
その施設の看護尼が
私に泣きくずれるようにして
いいました
子供たちが
私にきいたのです
「ぼくたちどこにいくの?」
私は気が狂いそうに
なりながらも
答えました
「——神さまのいるところよ」
そうすると、子供たちは
歌を歌いながら
その車にのっていったのです
もっと後になってから
さらに私は知りました
私たちの国が
「生に値せぬ生」として
民族と国家にとって
価値がないと決定を
下し
多くのエヴァルトのような
子供たちが
どこかにつれていかれ
まっ殺されてたことを

どうして!?
どうして!?
どうして!?

一九四〇年——
全ドイツの
すべての思想が
破壊と破滅
錯乱と狂気へと
みちびかれていた
ある日の朝でした——

――そうして
私は
私のひとつの真実を
永久に失ったのです

完

Fievre de Trois

聖三角形

Justiene Cellier

ジェスティーヌ・セリエ

Translated by あかぎはるな

illustrated by 竹宮恵子

最初にその定義を提案したのが、モーリスであったのか、それともサン＝ジャンであったのか、それはもうどちらにもわからないことだった。

モーリスとサン＝ジャンは隣同士で、幼いころからすべてにおいてライヴァルだった。金髪で青い目のモーリスは俊敏で鋭い頭脳と詩人肌の繊細さをもち、栗色の髪で茶色の目の運動家型のサン＝ジャンはからだを使うことでなら何でもモーリスをしのいでいたが、そのかわりに知能ではモーリスに敵わないことを公然と認めた。そのようにすべての点で対照的といつていい二人であったが、むしろそれだからこそ、かれらは互いに何といっても相手を屈服させようとし、モーリスが教師に彼の書いた詩を絶讃されると翌週にはサン＝ジャンが運動場でヒーローの座を取り返す、という具合であった。だからといって彼らは決して仲が悪かったのではなく、反目し、争いあってはいたが、むしろそれ故にこそ十八年間かわらない親友どうしだった――少なくともポール・ジャレが彼らの前にあらわれるまでは。

ポールは十五歳で南仏のラングドックから冬にパリにやってきて以来、親友達のあいだには根強い緊張と、それまではいかに争い

あってもついになかったものである本物の敵意とがはりつめていた。ポールはまだ十五だったが、狡猾に輝く黒い宝石のような瞳はすでに世の中のしくみを知りぬいた不敵な自信を宿し、明らかにジプシー（ジタン）の血の混りこんでいる浅黒いすらりとしたからだには、それの利用価値をすでにわきまえている商売女（クルチザンヌ）めいた妖しい美しさがあった。ポールは、叔父のカフエの手伝がてら学校に通っていたが、もっぱら彼の興味をひいていたのは、上級生や、界隈にたむろする大学生の何人を自分のジプシーの奔放な魅力のとりこにできるかということだった。渦巻く可愛らしいちぢれ毛と、猫のような瞳をしたポールをめぐって、いくつかの友情が永遠にこわれ、何人かの少女たちが悲哀を味わうことになったが、しかし、金髪のモーリス・バリヤールと、サッカー選手のオーギュスト・サン＝ジャンがどうやら本気でポールの寵を得ようと争っているらしい、ということが知れると、他の——工科大学（エコール・ポリテクニク）の若い秀才や絵のうまい薬局の息子や早くも男色家の素質充分な大学入学資格（バカロレア）試験の受験生などはすべて手をひっこめ、ポールの気まぐれな心を得ようとするくわだてを締めた。なぜなら、十八歳のモーリスとサン＝ジャンとは、その容姿の点でも、才能でも切れ者であるということからも、そして、申し分のない家柄の息子である、ということでも、このあたりの対照的な二人の王子であり、従ってモーリスとサン＝ジャンがのりだした以上他の者にはまったく望みはないのだ、ということが衆目の一致した意見であったからだ。

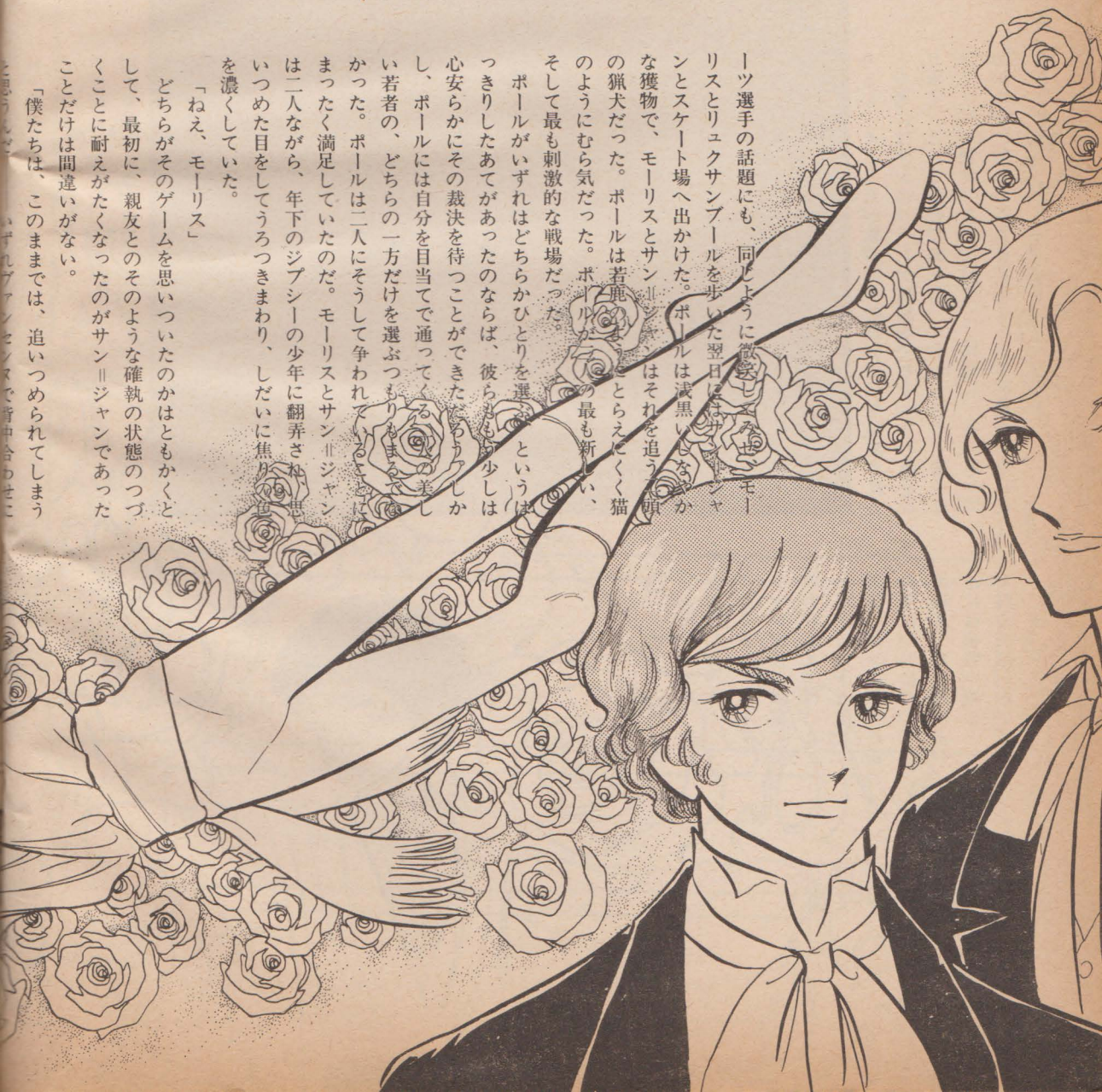
そうした周囲の取沙汰は、しかし当のモーリスとサン＝ジャンにはどうでもよいことだった。彼らは、ポールと出会ってからというもの、教室や運動場での競いあいには何の関心も示さなくなっていた。ポールは[illegible]サン＝ジャンのきかせるスポーツ選手の話題にも、同じように微笑してみせ、モーリスとリュクサンブールを歩いた翌日にはサン＝ジャンとスケート場へ出かけた。ポールは浅黒いしなやかな獲物で、モーリスとサン＝ジャンはそれを追う二頭の猟犬だった。ポールは若鹿のようにとらえにくく猫のようにむら気だった。ポールが二人の最も新しい、そして最も刺激的な戦場だった。

ポールがいずれはどちらかひとりを選ぶ、というはっきりしたあてがあったのならば、彼らももう少しは心安らかにその裁決を待つことができただろう。しかし、ポールには自分を目当てで通ってくる二人の美しい若者の、どちらの一方だけを選ぶつもりもまるでなかった。ポールは二人にそうして争われていることにまったく満足していたのだ。モーリスとサン＝ジャンは二人ながら、年下のジプシーの少年に翻弄され、思いつめた目をしてうろつきまわり、しだいに焦りの色を濃くしていた。

「ねえ、モーリス」

どちらがそのゲームを思いついたのかはともかくとして、最初に、親友とのそのような確執の状態のつづくことに耐えがたくなったのがサン＝ジャンであったことだけは間違いがない。

「僕たちは、このままでは、追いつめられてしまうと思うんだ。いずれヴァンセンヌで背中合わせこ

十歩歩く（訳注・決闘の作法）までにさ」

「そうだね」とモーリスが云った。「それでもいいしゃたいか。どっちみちそのとき勝つのが君だということは、誰が見てもたしかなんだから」

「モーリス！　そんなことを云うのはよしてくれ！」

彼らは毎日、夕方になるとポールの酒呑みの叔父が経営しているカフェ《ビクトワール》に出かけ、そこで互いににらみあいながら葉巻をふかし、アニス酒（アンセット）を飲んで看板まで粘るのが、このところの習慣のようになっていた。互いに、どちらかが先に帰れば、ポールと二人きりになれると考え、ということは、互いに出しぬかれることを恐れて、かれらはいつまでも帰ろうとせず、たいていは夜道を一緒に帰るはめになった。ポールはカフェの隅で宿題をし、客に酒を運び、灰皿をとりかえる。小さいころからその中で育っているので、ポールはまったくの大人のように猥雑な軽口を客とかわすこともできたし、葉巻をふかし、酒も年長の求愛者たちを絶望させるくらい強かった。ポールがほそい咽喉をのけぞらせてコニャックをぐっと飲みほすさまは奇妙に可愛らしく、そして誘惑的な眺めだった。

「そんなこと云ったって」——ポールは云うのだ。「口ばっかりじゃないか、誰もかれも！」

「僕たちに決闘させたいんだな」

サン＝ジャンはポールのしなやかに暗い店の中を動きまわるようすをうっとり見つめながら罵った。

「僕たちが二人とも死んでしまえば満足なんだろう、悪魔め」

「そんなことないの、知っているくせに」

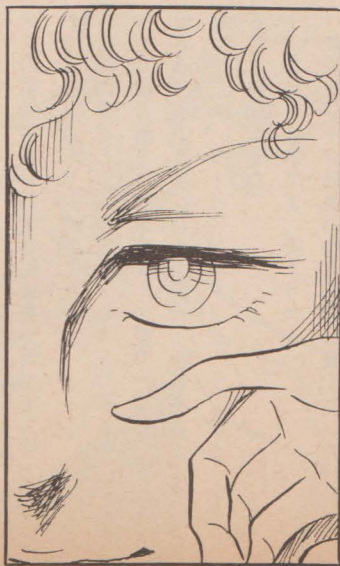
ポールはいつも飲んだくれて役に立たない叔父のかわりにグラスを洗い、モーリスにお代りを注ぎながら、鮮かに白い歯をみせて笑った。ポールには、カウンターのうしろの棚に並んでいるアニス酒やシェリー、ドライ・ジンやベルモットの瓶と洗ってふせたグラスのきらめき、いつも暗い店の中の葉巻の煙りがよく似合った。その中で、ポールはガラスと酒瓶の海を泳ぎまわるほっそりした魚か、それとも、密林を我者顔に歩く油断のならぬ豹のように見えた。他に誰も客のいないとき、ポールは古いプレーヤーから流れる歌にあわせて踊ってみせたが、そんなとき、ポールは本当に生き生きとして、焚火を囲んで踊る足首に鈴をつけたジプシーの群れをほうふ　させた。うっとりとして見つめるモーリスとサン＝ジャン、二人の競争相手の前でさいごの激しい[illegible]をくりかえすと「ああ——疲れた！」と息をはずませて云い、ポールはモーリスのグラスを奪いとって強い酒を水ででもあるかのように飲み、サン＝ジャンの葉巻で自分の葉巻に火をつけてもらうためにそれをくわえた口をつき出した。

それは夜ごとに《カフェ・ビクトワール》の中でこっそり繰り返されるジプシーの祭りだった。それにも飽きるとポールは、自分の接吻——あるいは愛撫を賭けて二人、モーリスとサン＝ジャンとがカードをすることを提案した。

「こっちに来てよ、モーリス！」

サン＝ジャンはあらゆる運動に長じていたけれども、三回に二回はカードの勝はモーリスのものだった。するとポールはまず終業の札を扉にかけ、踊るような足取りで戻ってくると、勝者の肩に両手をかけて、猫のような光る目で誘うようにのぞきこむ。叔父のマントワンはその時間にはたいてい奥の小部屋でぐっすり寝入っているし、かれらの逸楽的な時間をさまたげるも

のは何もないのだ。

　気を揉んで見守っているサン＝ジャンにことさら見せつけるようにして、ポールはモーリスを立ち上らせ、奥に通じる扉のかげに呼びよせる。約束した愛撫を手に入れようと、いくぶんこわばった微笑をうかべたモーリスがポールのほっそりした胴に手をまわし、ひきよせようとすると、しかし、ポールは、悲鳴のような声をあげて笑い出し、モーリスの頬に申しわけのように接吻し、怒ったモーリスがかれの手をつかんでひきよせると、「サン＝ジャン！　助けて、サン＝ジャン」と叫びたてて、モーリスの手の中から逃げていってしまうのだった。それは、勝ったものがサン＝ジャンであってもまったく同じだった。ポールは天性の悪女(ヴァンピール)の素質を完璧にそなえてをり、決してどちらかを選ぶようなけぶりさえ見せぬと同時に、つねにそのときどきでどちらかを依古贔屓してみせるのだった。誰にでも身を許すようにみせて、その実、決して売物の本体を明かそうとしない、花柳界(ドミ・モンド)の手管を、ラングドック生まれのこの十五歳のジプシーは、生まれついて身につけていたのである。

　「このままでは、僕たちは、二人とも駄目になってしまうよ、モーリス」

の魅力に少しでも欠けたところがあったとしたら、彼は生真面目なサン＝ジャンでも決して、そのような危惧を抱くことはなかったかもしれない。

「だからって――どうしろって云うんだ？　それが厭なら、手をひけとでもいうのか、サン＝ジャン」

「そうじゃないさ」サン＝ジャンは云った。「それよりもっと、何かあるだろうと思うんだ――問題を解決する方法が」

「「僕はそれを解決したいなどと思っていないんだ」とモーリス。

「いや、思っている筈だ。なぜなら、僕たちは――十八年も、親友どうしだったんだからね」

たぶん、詩を書く、夢想家肌のモーリスよりは、もともと決してそんなに暗い苦悶とは縁のないサン＝ジャンのほうが、親友どうしの敵意をはらんだ関係に、ほんの少し多く苦しんでいたのにちがいない。なぜなら、モーリスにとっては、それはただ、どちらがポールの心を早く射落すか、というスリリングな争いでしかなかったのにひきかえて、サン＝ジャンは、生まれた日がモーリスより三ヶ月ばかりはやいということもあったけれどもこれまでいつもモーリスに対して争いながらでも何かしら保護者的な愛情を抱いていて、そのために、その愛しているモーリスと、モーリスの愛

している少年を奪いあうということは、彼には二重のやりきれなさを感じさせたからである。

「僕達は親友だよ。そうだろう、モーリス」

「そうだったかもしれないな。でも、ポールのことでは別だよ!」

「別じゃない。ねえ、モーリス、僕達はどうして、あんなジプシーの子どもに、やりたい放題やらしておくんだ? あの子には、僕達のあいだをそんな風に裂く権利はないんだ。悪いのはポールだ、そう思わないか?」

それは、珍しく《ビクトワール》でないカフェに、サン=ジャンがモーリスを誘い出した午後のことだった。ポールが《ビクトワール》にやって来てからというもの、二人の間にはずっと暗黙の闘いともいうべき一触即発の状態がつづいていたから、それは、二人の友人達にとってはほとんど半年ぶりの親密な時間だった。

「サン=ジャン」とモーリスは云った、「きみは何を云っているんだ?」

「何とかしなければいけないっていうことさ」とサン=ジャンは答えた。「ポールにそうそう思いあがったままにさせておくわけにはいかないっていうことさ」

「どうしようっていうんだ」

「ポールは、僕達があいつに首つたけだから、何ひとつできないんだとたかをくくって、それであんなふうにいい気になっているんだ。だがあいつなんてただの餓鬼さ、僕達こそ、大人で、友達どうしなんだ。そうじゃないか――だったら、僕達が何とかして、あいつをとっちめ、これ以上僕達をもてあそんだりできないようにだって、できるはずだよ。そうじゃないか

モーリスはくり返した。

「――何をしようっていうんだ?」

それは、ポールが、かれらふたりの共通の目的になってから、半年ほどが経った時だった。ポールがゲー・リュサックにやってきたのは夏のはじめで、だからいまは冬だった。もうじきクリスマスという時分で、ようやく街をゆく人びとの足どりも早足になりはじめ、カフェは夜遅くまで混みあった。サン=ジャンとモーリスが企んだのは気まぐれで浮気なポールのための、ちょっとしたノエルの趣向でしかなかった。ちょっとしたしっぺ返し、意趣晴らし――ほんとうに、それははじめは、単なるゲームでおわってしまう筈だったのだ。

「ノエルおめでとう、ポール」

「ノエルおめでとう」

《カフェ・ビクトワール》は混んでいた。

十二時を迎えると同時に人々はキスしあい、陽気なアントワンはカフェの客、全員に一杯づつのアニゼットを暮った。

カフェの隅で、モーリスとサン=ジャグとは、苛立ちながら客が帰るのを待っていた。ポールはかれらのたくらんでいるゲームなどには何ひとつ気づかぬように、店の中を小鳥さながらにはねまわり、酔客の接吻をうけ、そのたびにいたずらそうな目でモーリスたちの方を見やるのだった。ポールの小悪魔のような性格は、そうやって人々にちやほやされおもちゃにされているといっそうなまめかしく輝き出し、モーリスとサン=ジャンの心をぐらつかせた。ポールは暗いカフェーの中の酒と葉巻の王国の浅黒い王子だった。アントワンは古いプレーヤーに陽気なレコードをのせると、すっかり酔っ払って奥へ入っていってしまい、人々はポールの踊りを要求して喝采しはじめた。テーブルがよせあつめられて即製のステージになり、ポールは靴と靴下をぬぎすて、ほっそりしたからだに大きなストールをまといつけるとその上にとびあがった。

だれかが寒いおもてにとびだして買ってきた、真赤なバラが彼の飾りになった。ポールはそれを一輪をちぎれた髪にさし、一輪をくわえ、そして他の花をあたりにばらまいた。人々ははしゃぎながらそれを奪いあって争い、ポールは賑かなジプシーの歌にあわせて踊り狂った。

モーリスとサン=ジャンとは二人だけひそかな企みを抱き、焦々してはいたけれども、それでも踊るポールにうっとりと目を奪われずにはいなかった。ポールにはジプシーだけの持っている情熱的な血と激しさとがあり、それがその少年のむら気と娼婦の手管とを、むしろまるで気高いもののようにさえ見せていた。ど

んな強制もポールを踊らせることはできず、また、ポールの踊りをとめることはできなかっただろう。夜がふけ、朝が近くなるまで、ポールは踊り、酒をのみ、人々とたわむれつづけた。それはポールの勝利の夜だった。

だが、終わりのないかに思われた夜にもついにはてが来た。人々は帰っていき、《ビクトワール》に一夜の狂宴のあとだけを残して、ノエルの朝が訪れようとしていた。

「帰らないの、モーリス、サン＝ジャン?」

すっかり酔い、くたびれ、しかし幸福そうに頬をほてらせたポールが、自堕落に葉巻をくわえながら云う。モーリスが火をつけてやる。レコードはおわり、すりきれた針の音だけが耳にのこっていた。ポールはまだバラを髪にさしたままだった。ひしゃげたバラは半分散りかけて、それでも落ちもせずに耳の上にとまっている。大きなストールを女のようにかぶり、ポールの頬にはまだ夜どおしの馬鹿さわぎの血の熱さがすけていて、ポールはノエルのマリアのように美しかった。

「泊まってゆくのなら毛布をもってくるけど、もっと飲むの、二人とも?」

「もう酒はいいから、ちょっとここへおいで、ポール」

云ったのはサン＝ジャンだった。ポールは二人を眺めた。

「どうしたの、怖い顔をして」

「ポール」――モーリスが云った。「話があるんだ」

「話って?」

「わかってるだろう、僕達二人のことだ。君はいつも僕達を前において、のらくらと二人を焦らし、操り、僕達を弄ぶのを面白がってきたね、ポール」

「いやだなあ、ねえ、サン＝ジャン――見て、モーリスったらあんな怖い顔して――」

ポールの笑いがふと止まった。サン＝ジャンも、いつにないきびしい目と、そして敏感なポールに何かを感じさせる、いつもと違うものを漂わせていたからだ。

「サン＝ジャン――モーリス?」

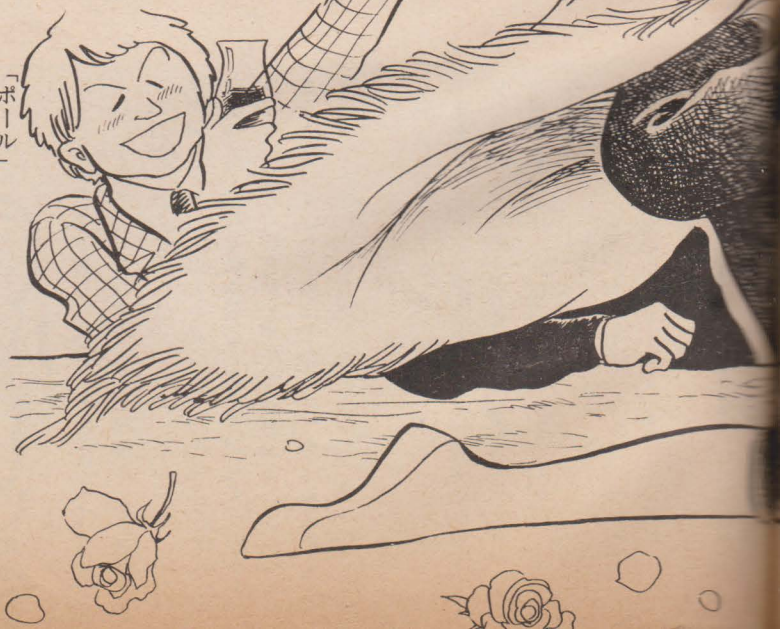
不安になった仔鹿のように、ポールの黒い目が丸くなった。

「ポール」やさしくモーリスが云った。「もう、これ以上、君を遊ばせておくわけにいかないよ」

「ポール」――サン＝ジャンも云った。「僕かモーリスか――モーリス・バリヤールか、オーギュスト・サン＝ジャンか、いまここで、どっちかをお選び」

「いや」

ポールは不安になりかけていたが、まだいくぶんたかをくくっていた。何といってもかれらはポールにぞっこんだったし、ポールは自分の手管に自信をもってもいたのだ。

「どっちも好き。だからどっちかを選ぶなんていやだよ。ねえ、そんな話をやめてもっと飲もうよ――」

「ポール」

静かに、だが何か恐しい語調でサン＝ジャンが云った。

「おまえは、僕たちをおもちゃにしようっていうんだね」

「何をするの、サン＝ジャン――いやだよ、ぼく、そんな顔嫌いだ!」

「だけどもう許さないよ。僕たちは十八で、おまえは十五だ。十五の子どもに、そんなふうに僕たちをなぶりものにするなんて、許しておくわけにいかない――」

「何するんだ!」

ポールは叫んだ。サン＝ジャンがゆっくりと立ちあがり、ポールにむかって両手をさしのべたからだ。

「モーリス――モーリス！」

「僕もだよ、ポール。選ぶか――さもなければ…」

「僕達二人ともお前を自分のものにするよポール！」

「いやだ！」

ポールは叫んだ、いまや、かれは本当に怯えはじめていた。モーリスが奥へ通じるドアをふさぎ、サン＝ジャンが入口のドアに錠をおろした。叔父のアントワンは酔いつぶれて眠りこんでおり、夜明け前の街はまだ眠っていた。

「ぼくそんなの嫌いだ！　もう二人とも絶交だよ！」

ポールは忠実だと信じこんで疑いもしなかった二人の奴隷の、申しあわせた突然の反乱に、驚き、怒り、怯えていた。サン＝ジャンが大股にポールを追いつめ、そのほっそりした手首をつかまえると、ポールはふり払おうともがき、サン＝ジャンの美しい手に歯をたてようとした。モーリスがうしろからその頭と胴をおさ

「ひどい、二人とも、こんなことするなんて！」

ポールはもがきつづけた。そのしなやかで強靱な四肢は、ほっそりした外見からは思いもよらぬ力をもっており、青年たちは二人がかりだったがありったけの力でポールをおさえこまなければならなかった。

「年長者を甘くみた天罰だぞ」

サン＝ジャンが云って、ポールをテーブルの上に仰向けにおさえつけた。彼の目は異様なたかぶりにぎらぎらと輝きはじめていた。彼は手をのばすと、ストールをひきむしり、ポールのブラウスをやにわに下までひきさいた。

「サン＝ジャン！」

驚いてモーリスが叫んだ。かれらはそれをポール――生意気な、悪い子猫にこっぴどくお仕置きをする、と約束しただけだった。ポールが怯え、青年の力を思い知り、そしてたぶん泣き出したところで解放してやり、やさしく接吻して、みんなゲームなのだ、と説明してやるはずだった。

屈するまいとする激しい抵抗、その手の中でバタバタとはねる魚のようななまなましい感触が、サン＝ジャンの自制を狂わせてしまっていた。サン＝ジャンは少年の両手をうしろにおさえつけ、その髪をつかんで仰向かせて、激しく噛みつこうとする白い光る歯から身を守りながら、何とかしてその唇をふさごうと狂ったようになっていた。彼は手をあげてやにわにポールの両頰を平手打ちし、その頭をかかえこんで荒々しく接吻した。

「――やめて！」

魂を吸いとろうとするような深い接吻からポールはやっとのことで顔をもぎはなし、悲鳴をあげた。怒った猫のようにポールは目を燃やし、その理不尽な仕打ちに抗った。

「嫌いだ、大嫌いだ、二人とも――出て行け！」

「この子は俺達に命令する気だぞ、モーリス」

サン＝ジャンは嘲笑った。

「ここへ来て、足を押えてろよ」

取組み合いで長いあいだ焦らされていた求愛者たちの身内には焼けつくような欲望がたぎっていた。モーリスはほんの少し逡巡してから、とびかかって、サン＝ジャンが幼い獲物の服をひきさこうとする苦心に手をかした。

二人の手が加えられ、抵抗できない、と悟ったとたんに、ポールはかっと目を見開いて天井を仰いだ。その目の中に、何者も征服することのできない、自由な野性の獣の、とらわれの屈辱と憤怒――決して馴らすことのできぬたぎりたつ怒りが燃えていた。だが、夢中になったサン＝ジャンも、モーリスも、それには気づかなかった、あるいはそのような手強い獲物に、いっそう焦らされた憤りをあふれさせた。

サン＝ジャンがほっそりした両脚をテーブルにおしつけて乗りかかってゆくのを、モーリスがなおもがきやめない少年の足首を両手に握って助けた。少年はふいに短いえぐるような声をたてて身をのけぞらせた。サン＝ジャンの顔も、モーリスの顔も汗とたかぶった熱気に赤くそまり、目はとりつかれた異様な狂気に悪鬼のように燃えあがっていた。ポールのきれぎれな苦痛を訴える声が、いっそうかれらを獣にかえした。サン＝ジャンのあとにモーリスが入れかわり、そしてまたサン＝ジャンからかれらは幼い獲物をむさぼりつくした。ポールのかわいたくちびるから、悲鳴もついに涸れて、ただ弱々しい呻き声と、泣くまいとする咽喉を洩れる、しゃくりあげる声だけが、ノエルの宴のあとをそのままの暗いカフェの中できれぎれに続いていた。

「ポール……」

狂気のはてたあとには、だが、ひどくにがい時間だけが残った。

「ポール、許してくれ――」

「ポール……」

モーリスと、サン＝ジャンはぼんやりして床の上に座りこんでいた。ポールはテーブルの上に、裸のからだをぐったりとよこたえ、一筋だけの涙が頬をつたい、まったく打ちひしがれてしまったようにみえた。

床には血がしたたりおちていた。モーリスが口にそそぎこんでやったコニャックに、ポールはむせて咳こんだ。その目は、まわりのものなど何ひとつ見ていないかのようだった。

「ポール――何か云ってくれ……大丈夫か」

「サン＝ジャン――」

ポールは唇をなめた。ことばがことばになるのに、何度でも、かれはそうしなければならなかった。

「え――？」

「選ばせて……」

「ポール！」

「どっちかが僕をとって。勝った方のものになる。もう――厭だ、こんなこと……」

「ポール」

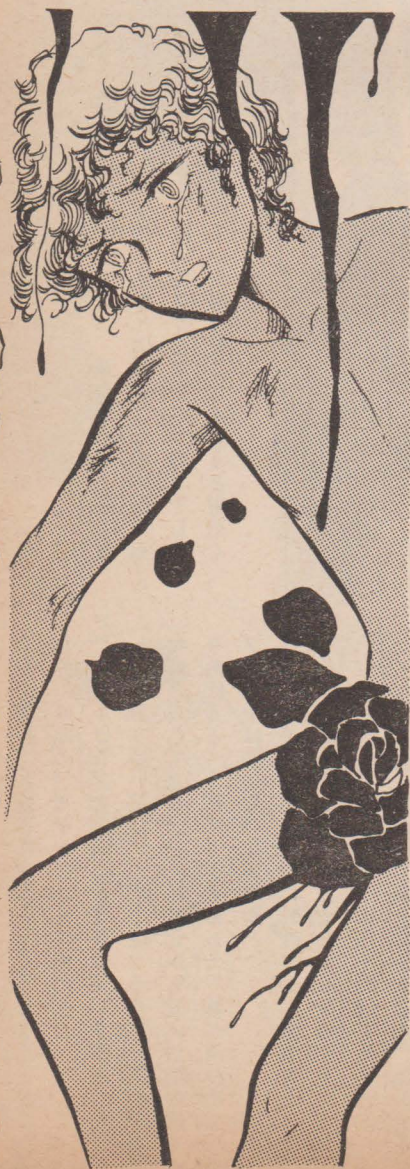
モーリスが身をおこして、恥じ入ったようにささやいた。

「すまない。はじめからきみがそう云ってくれれば、

付記

「Fierre de Trois」はJ・セリエ十九歳の作品。彼女が同年輩の友人三人と作っていたという同人雑誌「Plataniste」（「スズカケの木の下」――古語で、「スパルタの青年体育場」をさす）に発表されたもので、彼女がセリ・ロゼ新人賞にノミネートされる候補作となった。原題は直訳すれば「三人の熱気」とでもなるか。「Fierre de cheval」が「ひどい熱を出す」の意味。ここでは、三人の熱狂、昂奮、熱病にとりつかれた三人、といった意味に、ラストの火の熱をかけてあるのだろう。そのまま訳すと意味不明かと思ったので、あまりぴったりしないが意訳して「聖三角形」としてみた。

ところでJ・セリエの近況だが二ヶ月ほど前にきいた情報では、バカロレアに合格、大学生となった彼女は学生新聞に（それともこれは「Platanistе」のことか？）はじめての長編小説の連載をはじめた、ということなので、そのうちに、ジュスティーヌ・セリエの長編を「JUNE」の読者の手元にお届けすることもできるかもしれないと思っている。

一九七九・十二・四記　仏語とサン・テクジュペリのレポートに苦しみつつ――あかぎ　はるな

僕たちだってこんな――」

「こんなひどい……」

ポールは喘いだが、力をふりしぼって身を起こすと、棚を指さした。

「ポール――」

「これで決めればいい。先に酔いつぶれた方が敗け――勝つた方が僕をつれていけばいい」

「わかった、ポール――」

「でもその前に水を僕に――それ、おもての灯……消しわすれて……」

青年たちは唯々として従った。サンジャンがコップをとりに奥に入り、モーリスが灯を消しに出た一瞬に、ポールは激しくいたむ傷ついたからだをひきずって、棚から目当てのコニャックをとり、その栓をあけ、棚の下の抽出しから小さな紙包みをとりだした。

「ポール、ほら、水――」

「大丈夫、消してあったよ、ポール…」

二人が戻ってきたときには、ポールの仕事は済んでいた。裸のほっそりしたからだを隠そうともせずに、ポールは二人にグラスをとらせ、それに生のブランデーをなみなみと注ぎ入れた。

「勝つた方が僕の情人(アマン)だから――そうしたら、僕のために、僕をこんなめにあわせた奴を殺してね。僕は永遠に一人だけの物になるから」

ポールは云い、二人の顔をのぞきこんで、青ざめてはいたけれども猫のように残酷な笑顔さえもうかべてみせたのである。

その一時間後に――ポールは、傷つき、はずかしめをうけ、しかし女王であることを忘れなかったマリー・アントワネットのように黙って店の真中に一人立っていた。

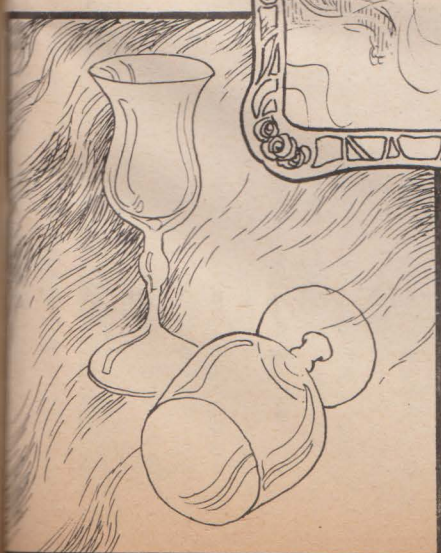
モーリスとサン＝ジャンとは、薬のために正体もなく酔いつぶれて、少年の足もとに倒れこんでいた。そのようすを、ポールは火のような目でみつめ、そして、からだの芯にうずいている痛みをこらえようと歯をくいしばった。

でも、決して征服されえない、そうしようとこころみたものはほろびるしかないものなのだ。

ポールは青ざめた顔にかすかな笑いをうかべた。妖しい、誇り高い笑い。――ほっそりとしなやかな裸身をさらして立ち、かれは足元から重い灯油の罐をとりあげると、それをさかさにした。油が流れ出し、カフェの中は油の匂いにみちた。

その美しい野性のからだを洗礼できよめようとでもするかのように、さいごに、ポールはその罐をたかだかとかかげて頭上にかざした。流れおちる油が、少年の浅黒い裸身をおおい、ぬめぬめと豹のように――自由にむかって駆け去る豹のように輝かせた。そしてポールはゆっくりとマッチをすった。一本また一本。

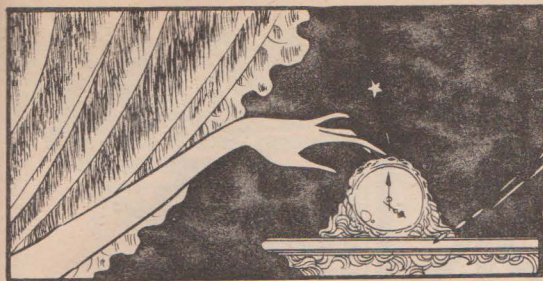
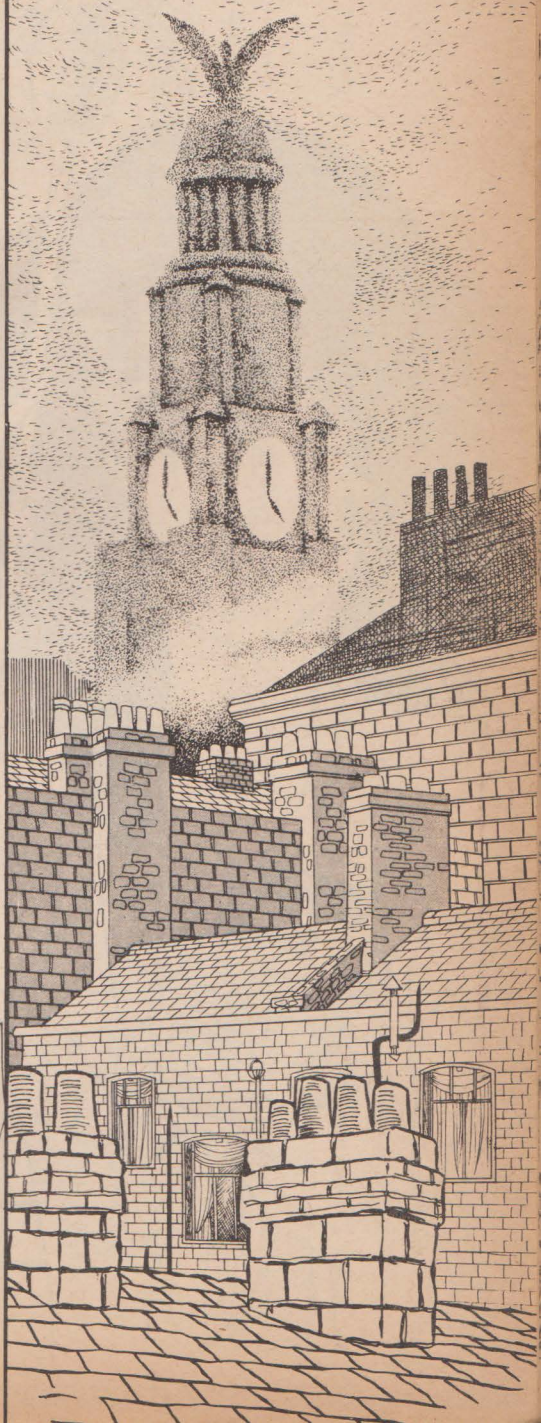
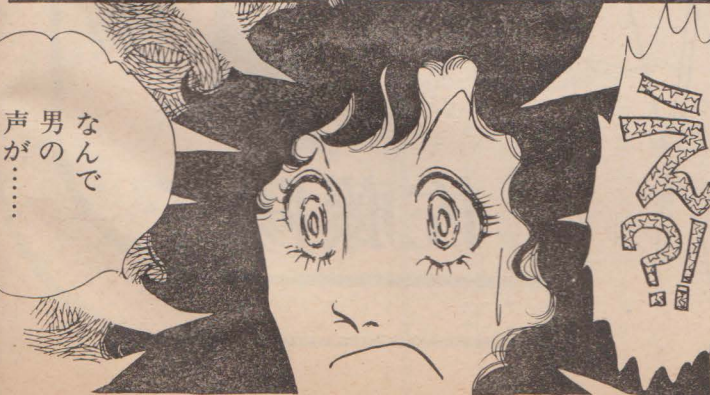
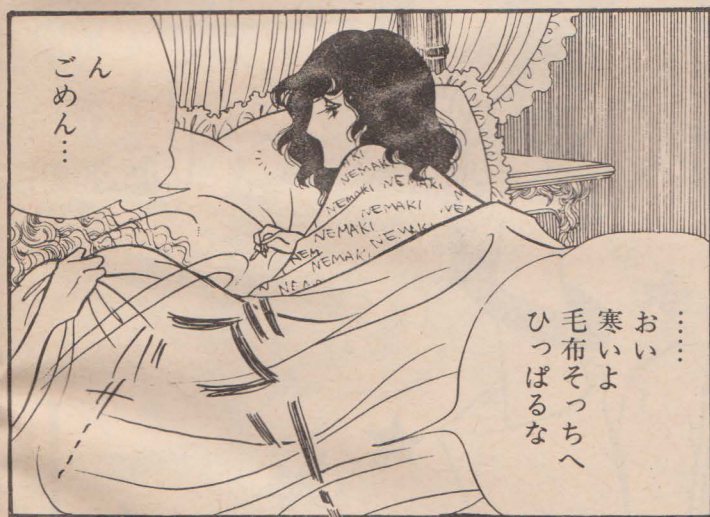
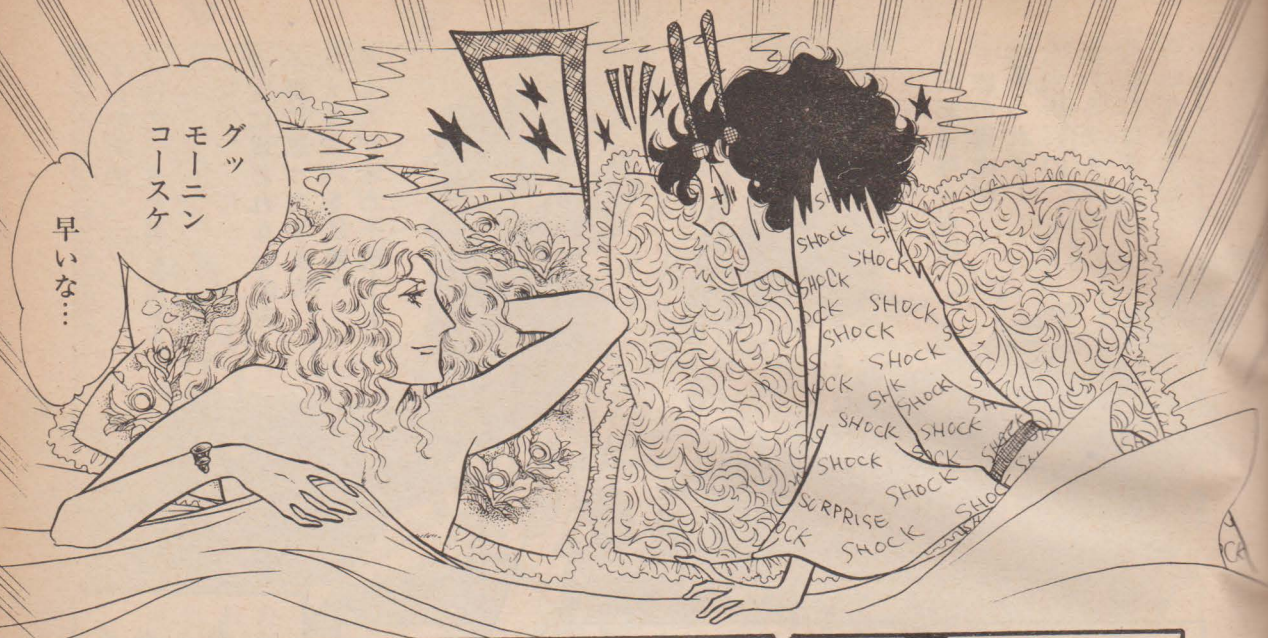
猛火につつまれ、炎の戴冠をうける王子のように輝きながら、ポールは声をあげて笑いつづけた。

おそらく、それはパリの「良家」のゆたかに育てられた子息にすぎない、モーリス・ドリヤールにも、オーギュスト・サン＝ジャンにも理解されがたいことだったのだろう――この、ラングドックの少年、ジプシーの血とその温度とを身内にうけついで生まれてきた自由な獣、野性の小悪魔の誇り高さと、そして激しさとは。――それは力でも、たぶん愛でも、金で

金第一行動の事件簿★PART2
二人で探偵を
佐藤陽子
?
TRUE
FALSE

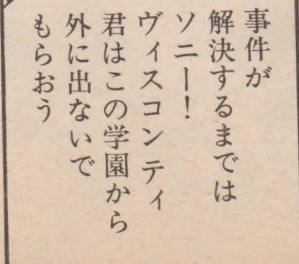
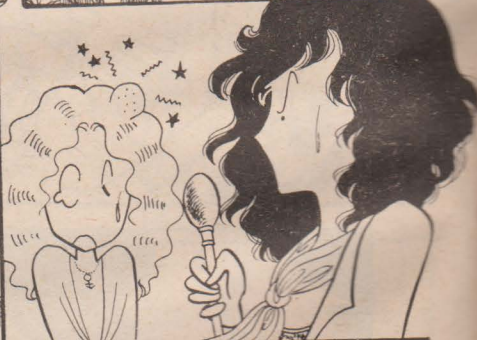
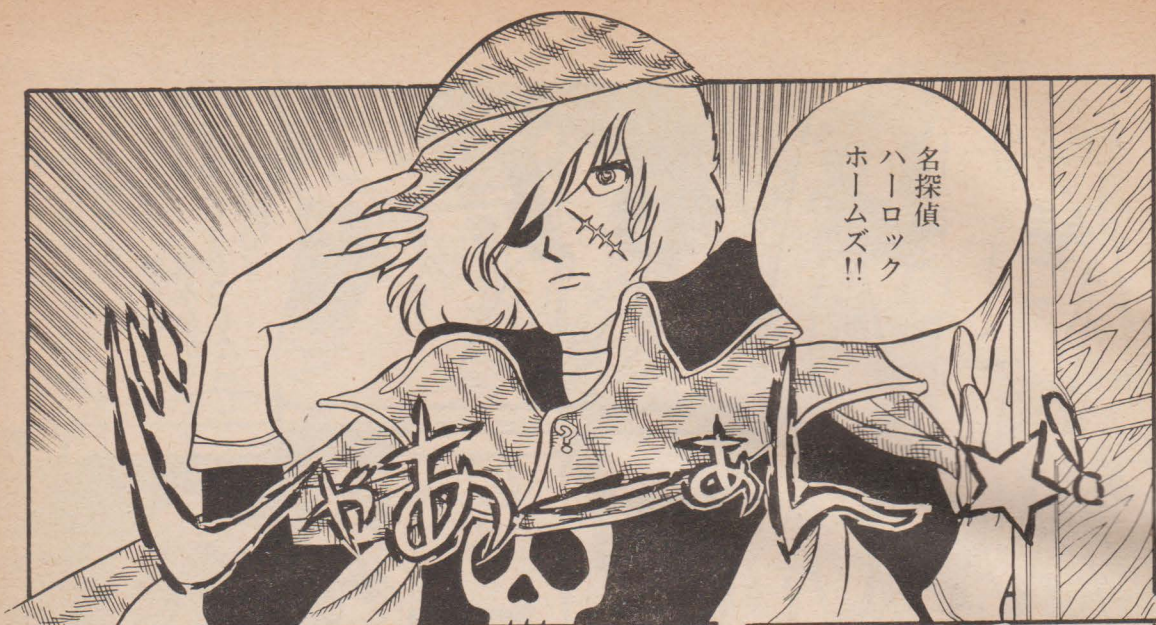
霧に包まれた
ロンドンの
朝……

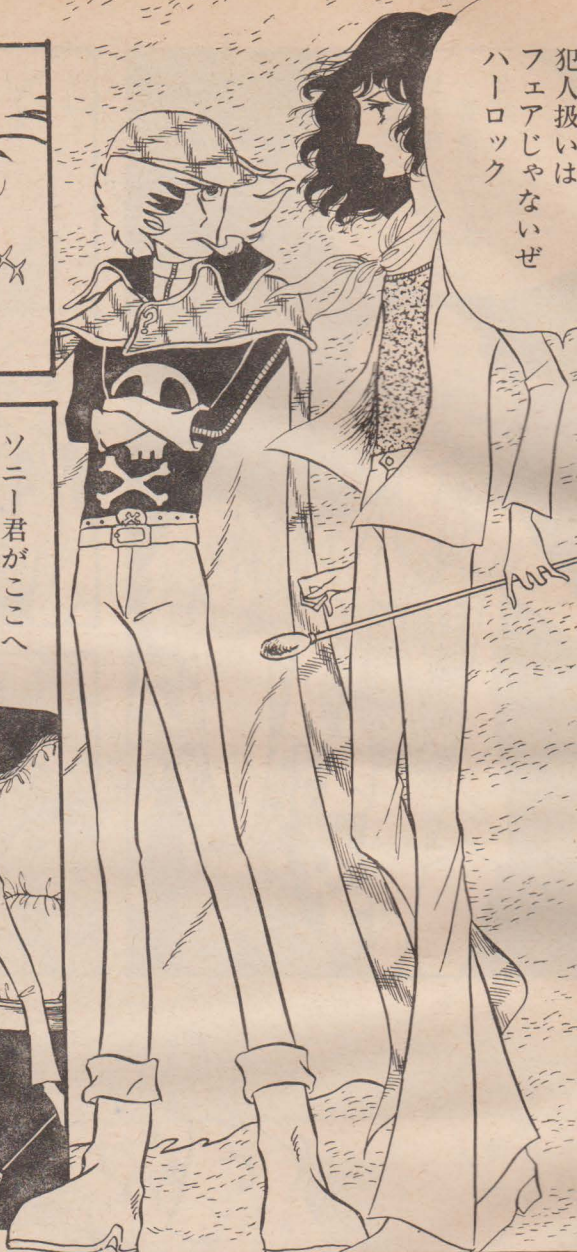
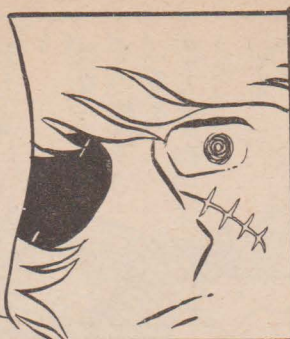
ん…

……おい
寒いよ
毛布そっちへ
ひっぱるな
ん
ごめん…

え?!
なんで
男の
声が……

グッ
モーニン
コースケ
早いな…
SHOCK
SURPRISE
早起きは
三文の得――
いやそんなこと
言ってる場合
じゃない
この状況を
推理すると
………
その趣味のある
男と一つベッドに
いると
いうことは
ソニー！
何をした
ここはぼくの
部屋じゃ
ないぞ！
馬鹿
忘れたのか
ここは
パブリック
スクールの
寮だよ
あ…
そうだった
金丼一行助
日本人…
私立探偵
きみ
2日前
ここで起こった
失踪事件を
解決するよう
依頼されて
泊まってるん
じゃないか
空部屋が
無くて
仕方無く
こうなったん
だっけ…
性格は
名字の
とおり…

聖アゼリア・ヒル学園で
2日前突然
生徒の一人が姿を消した
夕食に現われないのを
不審に思った学友の
訴えで校内を隈無く
捜したが未だ不明――
兄の証言等からは
失踪の理由が
考えられず
営利誘拐の
恐れもあるため
警察にはまだ
届けていない…
そしてソニー
君は偶然
この母校に
遊びに来て
いたと?
おい親友を
疑うのか
誰が親友だ
おまえみたいなのは
腐れ縁と
いうんだ
部外者と
いうのは
一番怪しい
んだよ
なんだと
何か特別な
理由でも
あったのかい
それとも
……
ん?
あんたは?
私を
知らんとは
名探偵が
聞いて
あきれるな
私こそ
あの
シャーロック
ホームズの
後継者――

名探偵ハーロックホームズ!!
じゃあーあん☆!
ぼ、ぼくだって金田一耕助の再来と言われてるぞ
名前が似てるからな
コースケ……
大丈夫さ あんな奴の思い通りにさせるものか
この事件(ケース)を解決するのはぼくだ!
とにかく… 私も依頼を受けた以上自由にやる
事件が解決するまではソニー! ヴィスコンティ 君はこの学園から外に出ないでもらおう
多大な謝礼金がかかってるんだから!
実に君らしい動機だ…

そのスティーブの家はごく普通の家庭なんですよ
誰かの恨みをかうような子でもないし……
誘拐される理由なんてわかりませんな……
だがきれいな子だ
利益は無視しても個人的な趣味でさらうということも…
園長
。。
じゃ犯人は女かな
ばっかこんな子に目をつけてものにしたくなるのは男さ
やっぱり君が犯人だな！
ガチャーン!!
えっ
さあはけどこの林で殺して埋めた
うじ実は
よよせっ!!
は…

証拠も無いのに
犯人扱いは
フェアじゃないぜ
ハーロック
友人だからと
事実を隠すのも
フェアじゃないね
金才一君
……私はもう
調査済みなんだよ
ソニー君がここへ
来てから
スティーブ君と
親しくしていたと
――そして更に
これは兄デヴィッドの
証言だが
例の夜スティーブは
「ソニー君の部屋へ
行く」と言って
部屋を出て以来
姿を消している事も…
全然
知らな
かった!
君は
2日間
何をして
いたんだっ
思考力の
トレーニングに
三角とりを
……
……絶句…

スティーブの兄
デヴィッドか…
彼には他にも
聞きたい事が
あるな
どこに行けば
彼なら
裏の林に
いると
思うけど……
コースケー

君はぼくを
疑わないのか?
一番怪しいん
だぜ

……
君は
そんなことの
できる
やつじゃない

コースケ
君は……
ぼくのことを
そんなにも…
当然
だよ
こーいうことの
できる人間てのは
頭が良く
計画的で
鋭くなくては
ならないのだ
くそっ
人の事を
言える
立場かー?

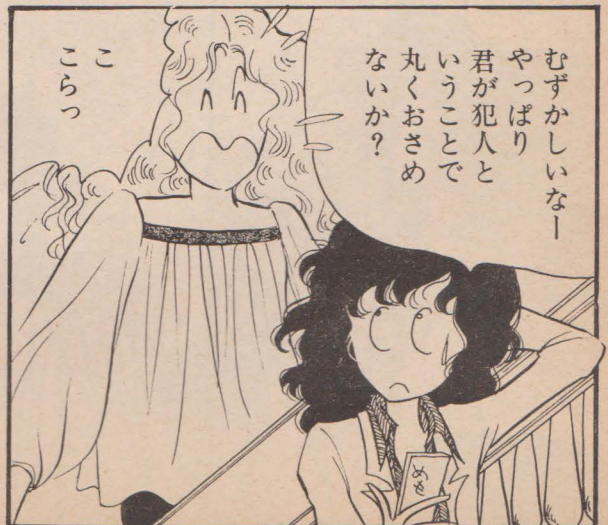
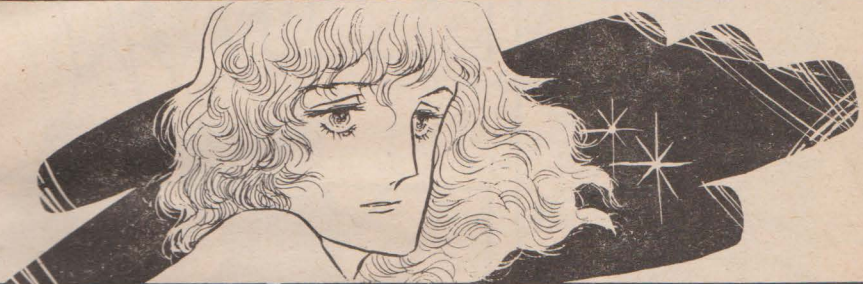
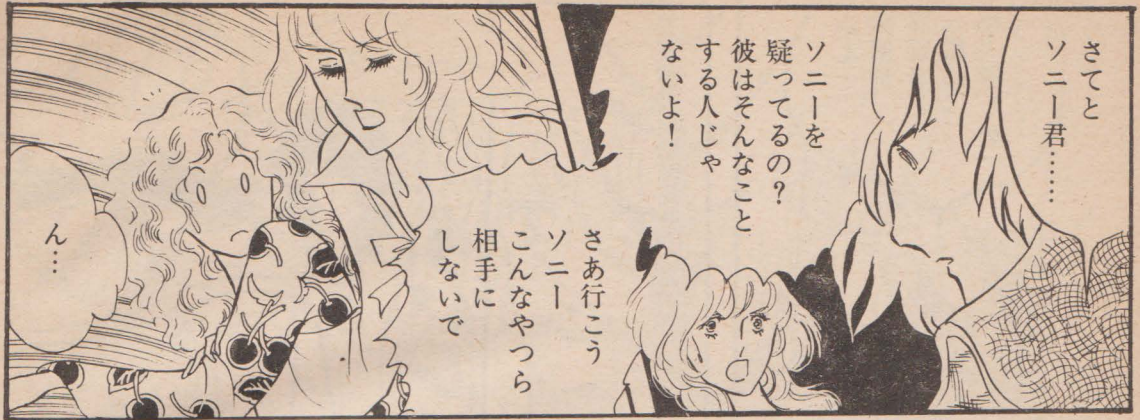
ぼくに用って なあに？ ソニー…
コースケが スティーブの件で 聞きたいと 協力してやって くれないか
何だい いつだって スティーブ スティーブって
一月ぶりに 会えたって いうのに…
それに何 あの男 新しいひと ？
あんなボロ 着た奴より ぼくの方が ずっと きれいだよ！
ボロッ
…
ボロとは何だ まだ3年しか 着てないぞ
わ わかった それ以上 しゃべるな

スティーブとぼくは兄弟といっても双子だから同じ年で同室なんだ

あいつは誰からも好かれる子さぼくと違ってね…

素直で人の言う事はすぐ信じるし…さらうにはたやすい子さ

どっかその辺の好きものの男に連れてかれたとしたって驚かないね

ハーロック！
おや 三人で仲良く 証言の辻褄を 合わせる 相談かい
侮辱だ！
いやしくも ぼくは 探偵 なんだぞ
ふん 探偵が 容疑者と 一緒に 犯人探しか
いくら もらった
何だって
君のことも 私は調べたん だよ 何事も 金才一主義 の探偵君
だ…誰が──
あっ 一ペニーが 落ちてる！
えっ どこ どこ どこ!?
どあほ
Fucking ass!!

さてと
ソニー君……

ソニーを
疑ってるの？
彼はそんなこと
する人じゃ
ないよ！

さあ行こう
ソニー
こんなやつら
相手に
しないで

ん…

あの夜
スティーブを
部屋の外で
見かけたものはいない
——たぶん
犯人以外には

またその前後に
怪しい人間を
見たという者も
いない……
外部の人間で
この学園にいたのは
ソニーだけだった

が あの晩自分の部屋へ呼び出したスティーブ君が拒絶したため口封じのため殺害――

死体はどこかに隠したものと思われる

……これが私達二人の推理です

証拠もあります

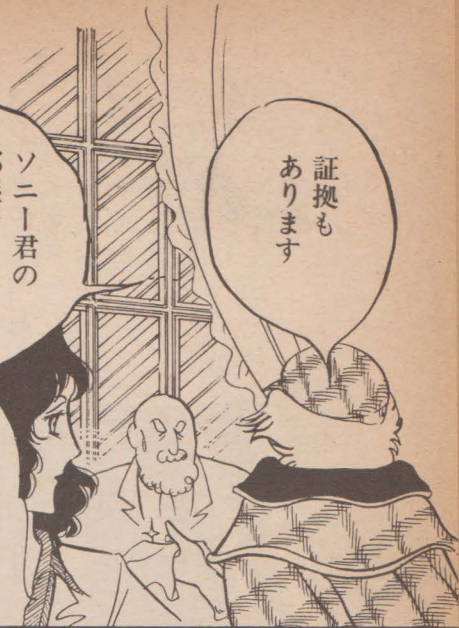
ソニー君の部屋を捜索したところカフスボタンが見つかった

スティーブ君のものですデヴィッドが証言しました

これです

ソニーの指紋がある

違う——
確かにぼくはあの晩スティーブを呼んだけど

彼は部屋には来なかった
そのカフスは前の日落ちていたのを拾って…

覚えてろコースケ

悪く思うな金のためだ

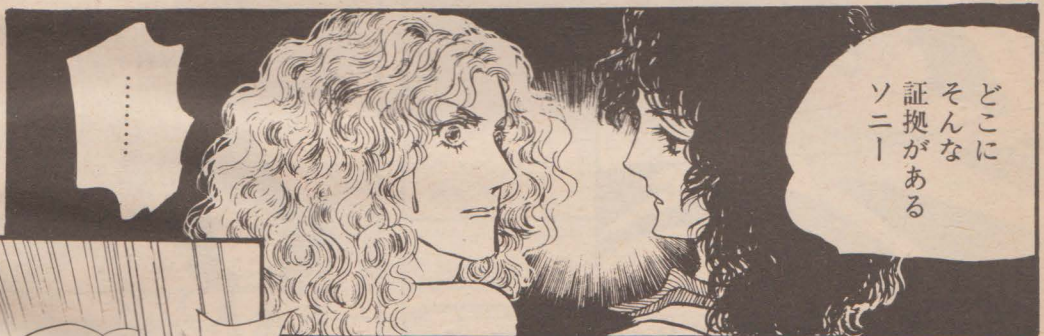
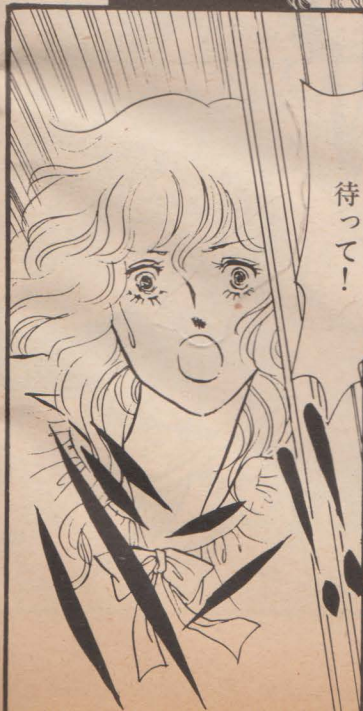
どこにそんな証拠があるソニー

…………

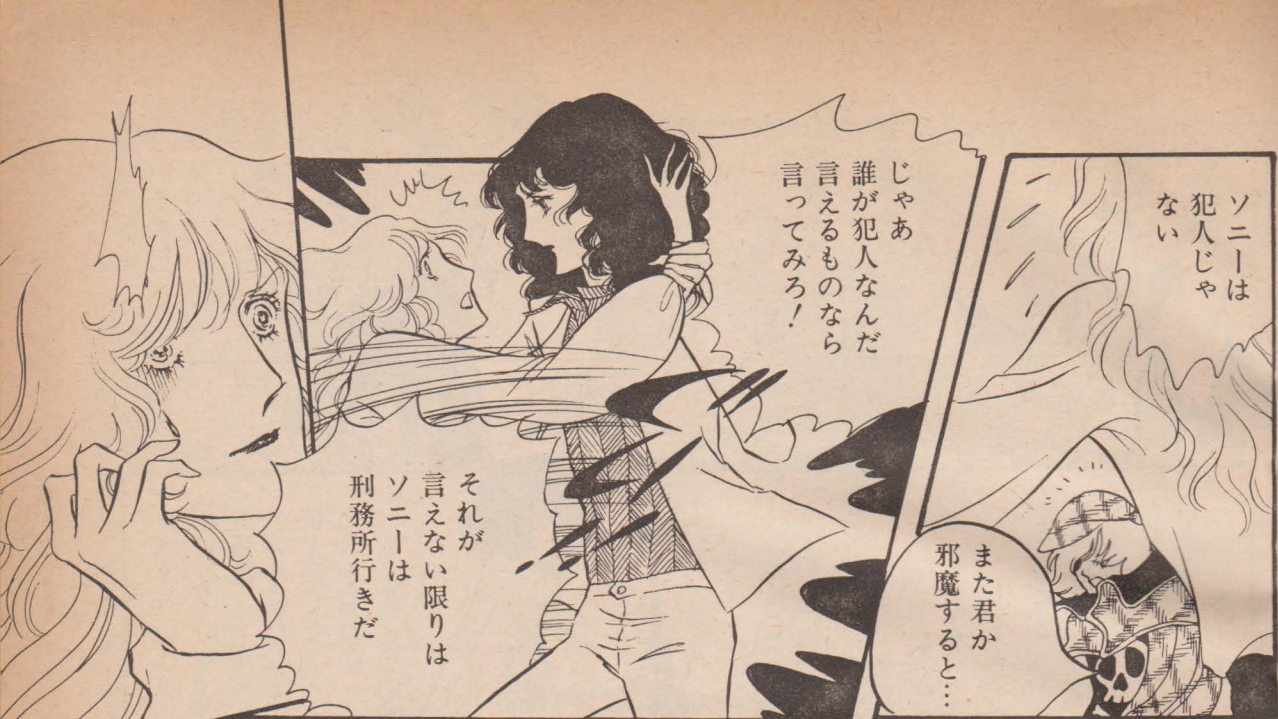
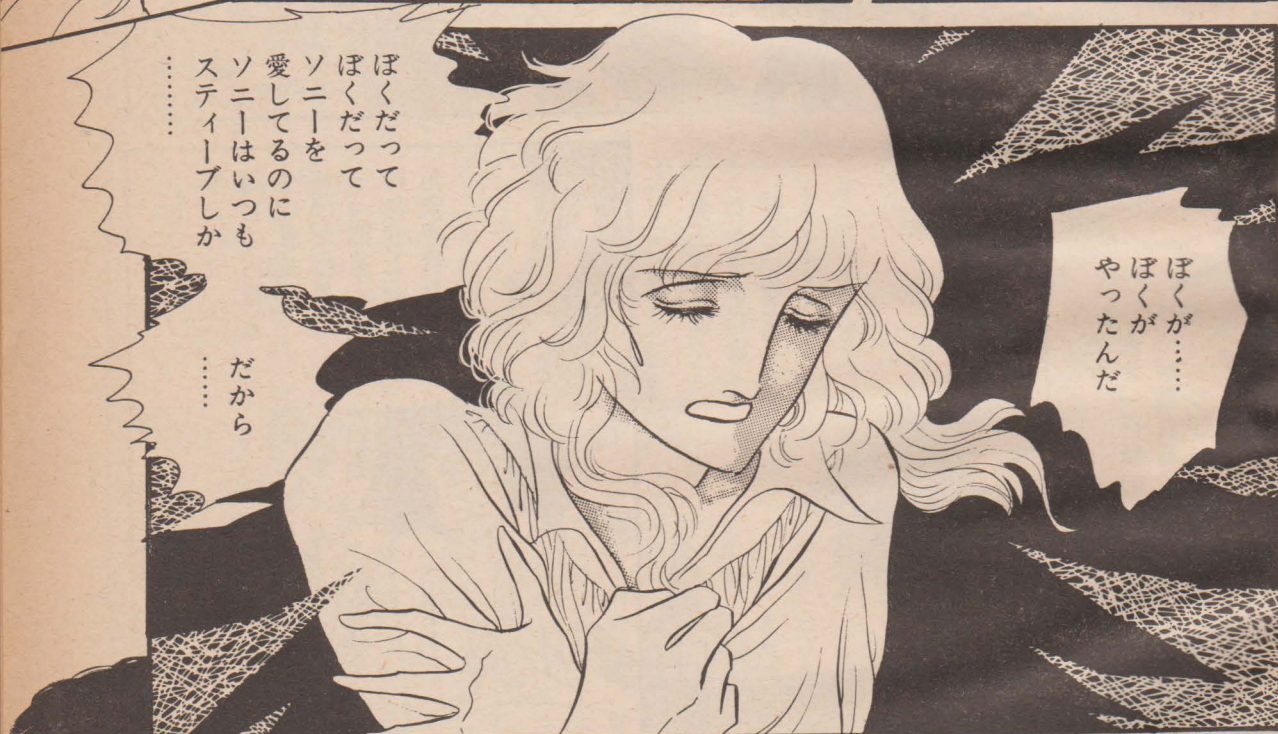
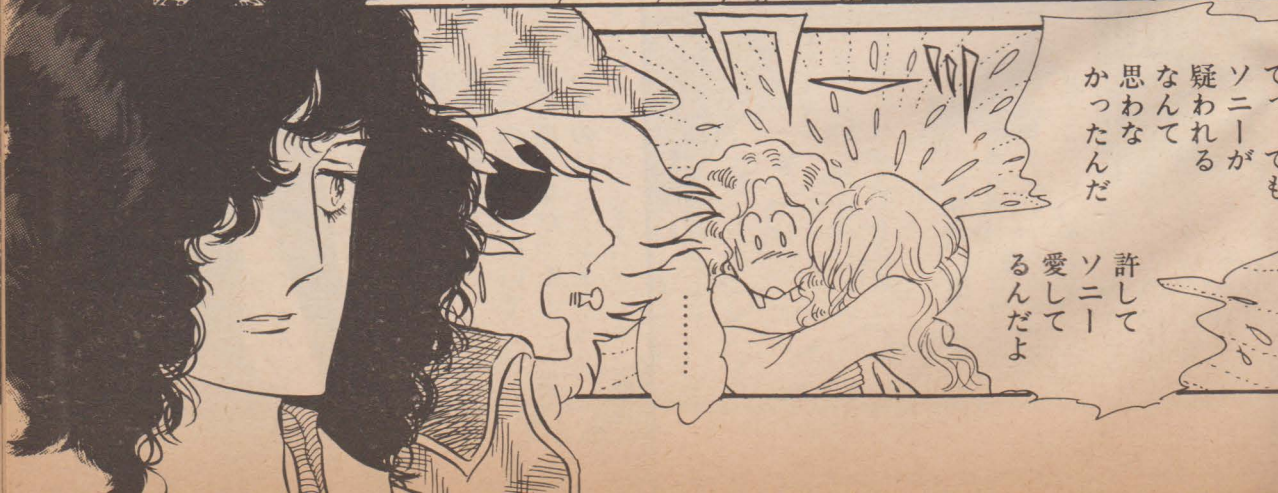
わ～劇画調!♡

我が校出身の君がこんな事をするとは非常に残念だ

が 仕方ない
警察(ヤード)に連絡を……

チ…ニ…

YUSAKU SUTEKI SHIGERU KUN PARCO NO E MITA YO! SEIGO AITAI...

せ 先生

待って!

ソニーは犯人じゃない
また君か邪魔すると……
じゃあ誰が犯人なんだ言えるものなら言ってみろ！
それが言えない限りはソニーは刑務所行きだ
ぼくが……ぼくがやったんだ
ぼくだってぼくだってソニーを愛してるのにソニーはいつもスティーブしか……
……だから
でっでもソニーが疑われるなんて思わなかったんだ
許してソニー愛してるんだよ
………

スティーブはデヴィッドの告白により自室の衣裳箪笥の中から助け出された
体こそ弱っていたが命には別状無くこうして謎の失踪事件も解決したのだった…
ワトソンくん黒星だった…
泣くな
デヴィッドの犯行だという見当はついていたんだ彼と話したときからね
ただ問題は証拠無しでどうやって自白させるかということで……
ジェイムズ☆プライヴェート・リサーチ 会員が集中 YOKOまで
——で賭として無実のぼくに縄目の汚辱を受けさせたわけだね？一つ間違えば終身刑という危険を冒して？
ぼくは友人の信頼を裏切るまいと一つのベッドにいて手も出さなかったというのに……？
見上げればロンドンには珍しい青空
だが金才一行助の心が晴れるのはいつの日か……
じゃ また な ソニー……
このやろー そうはいくか こっち来いっ
thanx to whom it may concern.

美少年学入門

其の二・姓名編

中島梓

美少年学入門の2。姓名編、なのだ

ラウール・ド・モリニャック、香川良夜、麗維、ロージナ、フェイ、金第一行助（なんだこれは！）フォンタナ伯、譲治と司郎、わっはっはっは！

これだけ書きだしてみるとさすがにめげますなあ。これはおわかりのとおり「コミックJUN」第二号に登場した美少年、ないし美青年の姓名リストである。

ま、美少年には美少年らしい名前ってものがあるのは認める。たしかに長曽我部権太左ヱ門はつらい。

しかし、しかしだよ諸君――いや、まて、めげるな。もう少し実地を見てみましょう。

エドガー・ポーツネル、アラン・トワイライト、フロルベリチェリ・フロル、ジルベール・コクトー、セルジュ・バトゥール、オーギュスト・ボウ、ウォルフガング・リヒター、エドアルド・ソルティ、オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ（ウソウソ）フィリップ・ド・プレシ・ベリエール、オスカー・ライザー、ユリスモール・バイハン、エーリク・フリューリンク、アロン・ブラウニング、サリオキス、スネフェル、ニジンスキー（ククク、快感）バージル・ワード、ジャスティン・レイ、ヒース・イアソン、クラウス・ハインツ・フォン・デム・エーベルバッハ少佐、ルイ・アントワーヌ、レオン・フロレル・ド・サン・ジュスト、うっうっ疲れた。これみんな何も見ないで書いてんのよ、ほんとに。ね、青池さん、私こないだ「クラウス・ハインツ……」ちゃんと全部云えたんだもんね♡♡少佐愛してる。

いや、元気を出して地獄の漢字編。鷹塔摩利、印南新吾、春日夢殿（個人的趣味だ。悪いか！）伊集院忍、青江冬星、神谷敬里（どっかできいたなあ）森蘭丸、沢田研二、百合太郎、沖田総司、村雨源太郎（悪いか！初恋の人なんだもん。悪いか！悪いか！）可門良、玉三郎、里中智、ああもう、やめた、やめた。

しかし、これとか、あるいは「世紀末的美形ベストテン」に出てくる名まえをうーんとにらんで、「美少年的なるものにおける姓名学」をでっちあげなければならないとは。つらい立場だなあ。私としては、名まえってのは、顔と同じくらい本人をあらわすもんで、だから無神経にらしい字を組みあわせて紫自美（シジミ）とか亜沙璃（アサリ）とか葉麻久里（ハマグリ）とかやれば美少年らしくなるだろうとは、断じて思ってほしくないわけよ。

だからってもちろん、岩鬼正美やきんど―日陽じゃ困るよね。そうであればこそ我々は深く悩むわけである。美少年学における姓名とは何か？

＊　＊

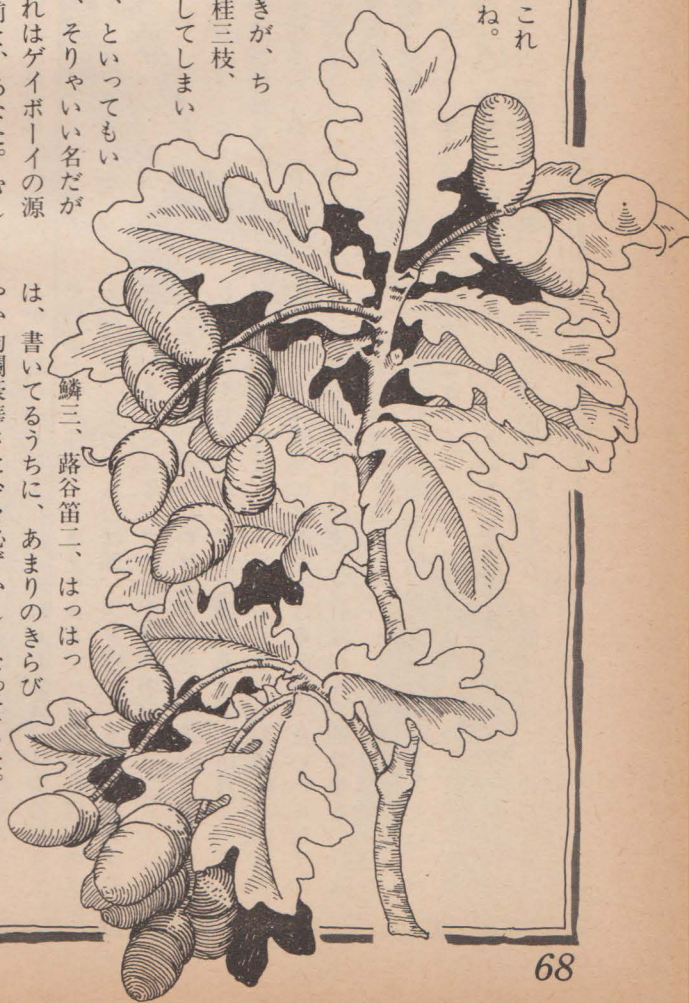
名まえ、というものは、実はもうひとつの顔である。マンガなら、顔が絵で出ているからいいけれども、ことが小説だったりすれば、われわれがイメージを抱く、その第一の条件は、名まえである。ヘタをすれば、名まえだけで、その主人公は顔、スタイル、ものの考えかた、センス、までイメージされてしまうのだ。

であるからしてわれわれはネイミングというものを決してあだやおろそかに考えてはなるまい。伊丹十三さんがひいておられる、T・S・エリオットの詩にもあるではないか。「ネコに名前をつけるのは、たいへんむずかしい仕事です／それは決して日曜の片手間仕事というようなものじゃない」とね。

で、そうした大事業であるに加えて、名まえには、そのときどきのイメージ、というものが、時代時代で変わってしまう、という宿命がある。

たとえば一世を風靡した「松帆浦物語」に出てくる、

平田三五郎という美少年であるが、これは、現在ではまず確実に成立せんわね。
　平田、という名字のイメージ、三五郎、という名まえのイメージ、まして両方あわせさっては――これは、どうしても、横町の三ちゃん、というものではなかろうか。
　サンゴロウ、というこの名のひびきが、ちょっと、キンゴロー、クマゴロー、桂三枝、といったよぶんなイメージをひき出してしまいすぎるのだ。
　美少年はまず名前から死んでゆく、といってもいいのではないかね。森蘭丸、だって、そりゃいい名だがもし現在のものとして考えたら、これはゲイボーイの源氏名かせいぜいが少女マンガ家の名前よ、あなた。むしろこれはもう、パロディとしてしか成立し得なくなっているのです。ナルシスやアドニスが現実にブラウンなんていう名字とくっついていていることが不可能なように。
　乱歩、正史にもずいぶん驚かされた。いろいろちがう意味ではありますが。乱歩という人は、明智小五郎、といった、ばかにうまい、それこそ後世にのこるようなネイミングをチャッとしてしまう（江戸川乱歩だってそうだ。これ以上うまいモジリはちょっとない）かと思うと「暗黒星」に出てくるのは、あーた、なんと、山田一郎君だからね。
「闇に蠢く」は植村喜八だし、どうも乱歩の感覚というものはもうひとつわからん。
　それとは反対の意味ですごいのが正史で、例の亜沙璃の葉麻久里のというパターンをはじめたのは、何年か前の正史ブーム以来、といってもいいでありましょう。真珠郎、薔薇郎（薔薇郎の墓だったりして）虹之助、紫虹鱗三、露谷笛二、はっはっは、書いてるうちに、あまりのきらびやか絢爛豪華さに少々恥ずかしくなってきた。
　紫、虹、珠、薔薇、紗、亜、麗、といった当用漢字からは抹殺された字ばかりを組みあわせて、さてそれでどのような美学的世界が現出するか――何となく、もはやこれはパロディである、としか思えんのだよなあ。
　そこへいくとやはり森茉莉はうまいと思うので、少女趣味だけれどもそういうアンチーク好みみたいな字は使わない。ことばの芸術家ともあろうものが、そんな安手なけばけばしさに目をひかれるわけがない。伊藤半朱、神谷敬里、そんなにおかしな名まえってわけじゃない。三浦朱門なんて現実にいるし、伊藤、神谷、なんてごくまっとうな姓でないか。
　それが半朱、敬里、といういくぶんあざとい名まえと組みあわさったとき、そこにははじめて森茉莉の世界としか云いようのないひびきが生まれる。森茉莉の主人公たちは、この不出来な世界でなくもっと正しいほんとうの世界には確かに生息できる、なま身の生きた人間だ、

美少年学入門

という気がしてくる。いい親ならこの名を現実につけるだろうしつけられた子はうまくいけば本当に美しくなるだろう、と思えてくる。これが薔薇紗かなんかであってみろ。子供にこういう名をつける親、つけられて恥じない子供、そういう無神経を私は信用しないね。断固信用せん。

＊

つまり私のいいたいのは、少女マンガだからといって、JUNEだからといって、宝塚ふう現実の、バラの花しきつめたへやにしか似合わんような「美少年」ならくたばっちまえ、ということなのだね。美少年だからメシも食わん、フロに入れば香料入り、そういうの嫌いなんだ。そんなのがいくら髪をカールして、目に星を輝かせて、美少年でございとフリルつきブラウスに身をつつんでも、インパクトなんかないよ。杉本達吉（なんてうまいネイミングなんだろう。ネイミングとは、こういうのを云うのよ。杉本達吉！　一字一句変えられないほどピッタリ決まってるじゃないか。「日曜日には僕はいかない」の主人公ですよ、念のため）がそんなエセ美少年に惚れると思うかね。

ちゃんとメシを食べ、下着をかえ、毎日ベッドにねそべってるだけでなく考えたり行動したりして、ファッションには凝るがそのまま外に出て店に入ったり電車に乗れてそれがピッタシさまになる、というものしか着ず、性格がはっきりとあって、バカであろうとカシコであろうと本当に生きており、人間として確かな体臭と魅力とあわれさを持っている――そういう存在が、「美少年」と呼んでもゆるせるものである筈なのだ。

西城秀樹は木本竜雄だし野口五郎は佐藤靖、郷ひろみは原武裕美が本名だ。かれらはどこかで必ず本名に立ちかえり、「美少年」ひろみや秀樹でいられなくなる境界線があるのにちがいない。

だが沢田研二は本名で美しいんだよ。別に沢田薔薇郎と芸名つけなくても、きらびやかなコスチューム着ないでも、Tシャツにジーパンでも、沢田研二は存在として「美少年」たりうるのだ。それが、美少年である、ということの意味じゃないのかね。生きかたにおいて美少年であるということ。本名で美しくあれること、化粧とスポットライトなしで光り輝いていられること。

ネイミング、というのはそのぐらい、断固としていなくてはならない、と考えるのである。

＊

そしてこれは余談になるが、名前のいい人というのはサマになる筈だと思う。久世光彦なんてさ、どだい、いい名まえじゃないの。森茉莉なんて芸術というべきだし、そう、竹宮恵子にせよ手塚治虫にせよ小松左京にせよ、ちょっと他の名まえ、他の字、が考えられないくらいおさまりのいい名まえだと思うのよね。

もしあなたがいまマンガが小説を書いて、そこに美少年やその相手役を登場させようと思っているとしたら――

一見いかにも美しげなケバケバしい字に手をのばす瞬間に、一度だけ考えてみてほしいのだ。こういう名をつけられて、たくましく人間らしく生きてゆける人っているかしら、とね。

その上でしかも美しいひびきと並々ならぬサマになりようがあるとしたら――それこそが、美少年における唯一の「正しい名まえ」なのだ、と思うのである。

美形カタログ

マーチン・ポター

ペトロニウスの原作をフェリーニが狂熱的に描いた古代ローマが舞台の映画「サテリコン」で、オレンジ色の薄物をひらひらさせて飛び回っていたエンコルピオがこの人。一九四四年イギリスの生まれ。舞台とテレビに出ていたところを抜擢された主役だが、少年は取られるわ、不能にはなるわ、無理やりホモの老人の花嫁にさせられるわという多難な役であった。来春映画の「ベルばら」のジェローデル役で久方振りに日本にお目見え。

テレンス・スタンプ

テームズ河の曳き船の船員を父として、一九三九年ロンドンのスラム街に生まれる。十五歳から転職を重ねるが、二十歳の時、「オセロ」のイヤーゴー役で認められる。映画三作目の「コレクター」(65)ではカンヌ映画祭最優秀男優賞を受賞。異様な光を放つ青い目、癖のある美貌で、一家族全員と肉体関係を結ぶ「テオレマ」(68)など、特異な役柄が多い。最近では、ロンドンの舞台で吸血鬼の役柄を演じ、成功しているそうである。

ステファーノ・コラグランデ

1955年5月2日、ローマ生まれ。10歳の時、フロレンスの広場で遊んでいた所をコメンチーニ監督にスカウトされ、『天使の詩』に出演。弟ミーロに父の愛を独占され、亡き母を慕う少年アンドレアの悲痛な魂をきめ細かく演じ、観客の涙を誘った。わずか10歳ではあったが、その繊細なムードと控えめな品のよさは、当時かなりの話題となる。将来を期待させる正統的ハンサムであったが、現在はどうしていることだろうか。

ハイラム・ケラー

一九四四年アメリカの生まれ。映画「サテリコン」で、親友エンコルピオの最愛の少年奴隷ジトン(なぜか美しくない)を奪って洪笑する、副主人公のアシルト役を演じた。エンコルピオの鮮かな金髪と緑色の目とは対照的な、黒い髪に特徴のある茶色の目で、猫のようにしなやかな体つき。その野生味と大胆な行動力、傲慢なまでに自信に満ちて、常にエンコルピオの上を行くカッコよさで、公開当時の日本ではかなりの人気を集めていた。

坂東玉三郎

昭和二十五年東京生まれ。三十二年に初舞台を踏み、三十九年玉三郎襲名、故森田勘弥の養子となる。芸術選奨新人賞を得た四十五年頃から人気を高め、「現代の奇蹟」とも評された。五十一年「マクベス」の凄艶なマクベス夫人役等で歌舞伎を知らない層にもファン激増、衰えを知らぬブームが続いている。きゃしゃな作りと女形の常識を超える長身を最高に生かした、たおやかな舞台姿は圧倒的な美しさと妖しい魅力を誇っている。

アルフレッド・ダグラス

世紀末の耽美派作家、あのオスカー・ワイルドを世から葬り去る元凶となった美貌の貴族青年アルフレッド・ダグラスの名は、その道の専門家にはすでにおなじみ。その抵抗し難い愛嬌と上品な美しさの下に隠された傲慢に、ワイルドはあっさりと囚われ、監獄につながれながら、自分をそこまで陥れた男に向かって、めんめんと断ち切れぬ思いを綴るといった醜態をさらした。それが、かの哀愁と自虐的快楽に満ちた「獄中記」である。

レオン・ダル・ゾット

77年ワールド・カップでブラジルのバレーチームの最年少選手として17歳で出場したダルゾット少年は、年長のいかつい選手連の中で、その若々しい美少年ぶりをきわだたせていた。のびのびとしたカモシカのような肢体や、整った横顔や、コートで躍動する度に風にゆれる柔らかな黒髪は、汗にまみれた戦いの場では、一吹きの涼風であった。今年18歳になり、男らしく成長したという。あの初々しさは健在であろうか。

「岩窟の聖母」の天使

ロンドンのナショナル・ギャラリにあるダ・ビンチとその弟子達による「岩窟の聖母」の右側の天使は、美術史上最も完成された理想美であると言われる。左の方から来る光を顔全体で受けとめて、美しい明暗の効果の中で、真理を悟った者のみが示す安らいだ表情を見せているこの天使を眺めると、誰もが甘美とも哀愁ともつかない、切ない程の感動を味わう。このモデルは、もちろんルネッサンスの巨匠レオナルド・ダ・ビンチ自身だ。

ル・ジタンの少年

75年仏映画『ル・ジタン』に出演したジプシー役の少年。この父子愛映画の宣伝の際、大いにその写真を使われ、人々にドロンの息子役と誤解され、一部の者には、『きっとドロンの趣味だな』と思わせた。実際には息子役ではなく（TV放映の際の字幕説明は明らかに誤り）、ドロンとナイフでふざけるだけの端役であったが、つややかな黒髪、女性のようにやさしい面立ちの美少年で、一部の者に『やはりドロンの趣味だな』と思わせた。

アルチュール・ランボー

十九世紀末のフランスに彗星のように現れそして消えた早熟な天才詩人ランボーは、その卓越した才能のきらめきと鋭い感受性の輝きに満ちた作品によって、後世の詩界に多大な影響を残した。同じ詩人のヴェルレーヌは、この長身で無気味な程青く澄んだ瞳を持つ、田舎出の少年に、すっかり心を奪われて、恋文の如き詩「巷に雨の降るごとく、我が心にも涙ふる……」を送ったりした。彼らの仲はランボーの「地獄の一季節」に暗示される。

サー・フィリップ・シドニー

十六世紀イギリスの貴族で、望みうるすべての美徳の持ち主として国民の尊敬の的となっていた人。学識豊かで行ない正しく、軍人としても不屈の勇気を謳われ、十四行詩を書けばシェイクスピアと張り合う見事さ、その気品高く線の細い顔と姿の優美なことは、才色兼備の彼の妹をもしのぐ程であった。一五八六年スペインとの戦いで負傷、最後の一杯の水を傍の兵士に譲り与えて死に、彼の最高の詩は彼の生涯だったと言われている。

チェーザレ・ボルジア

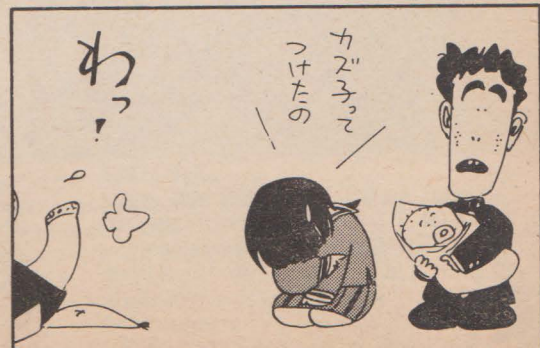
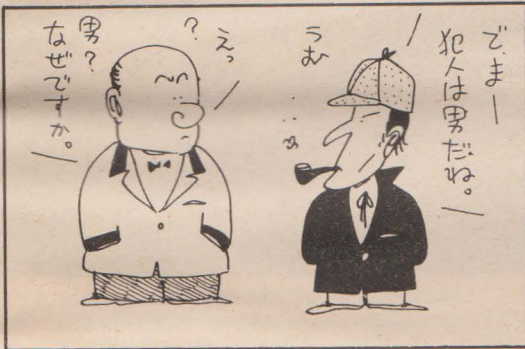
ルネッサンス末期のイタリアに君臨したローマ法王アレッサンドロ六世の私生児であった彼は、父親の七光で17歳にして枢機卿となり、父と組んでイタリアを統一して強大な教会国家を建設しようと野望に燃えた。目的の為には手段を選ばぬ氷の心と、鞭のような細身、秀麗な容貌の故に、人は彼を「優雅なる冷酷」と呼ぶ。

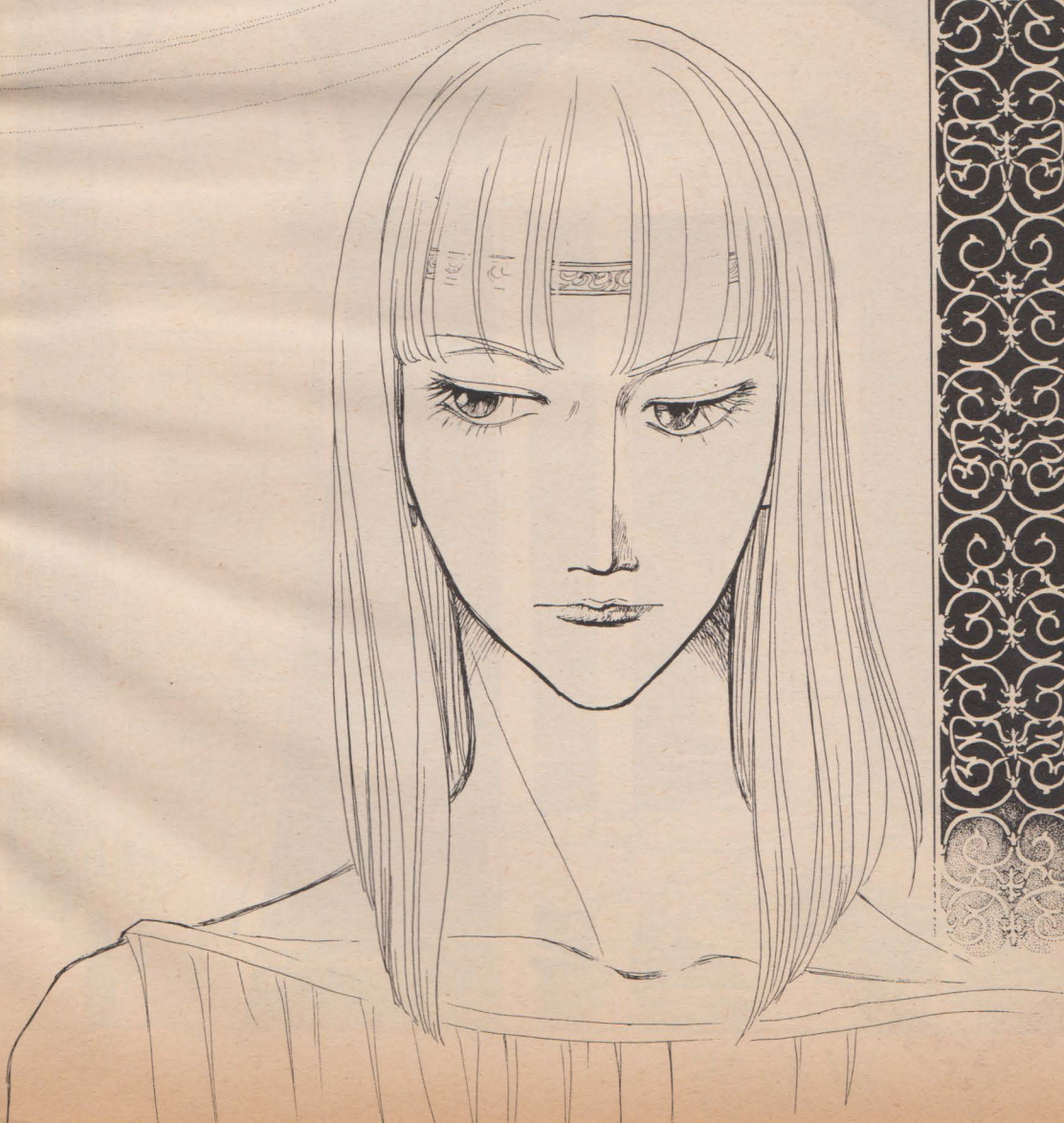
■構成：グループKOM

いしいひさいち1(ワン)・1(ワン)コマ劇場

恐怖の名探偵

恐怖の6ヶ月

☆確実性の時代を描き抜く、戦慄のタブチック・コミック!!

月は銀の瞳
満月の夜
王の庭に彼は降り立ち
竪琴を爪弾く
羅亜苦

その眼差しの冷たきこと
その面影の蒼きこと
……………
王は夜を徹して
波に見入る

何度目かの満月の夜
冷たい銀の瞳が融け
王の視線を受けとめる

それは月蝕の夜のこと…

ケン吉

2001年宇宙の旅

コトバにできないイメージを伝えたい—のでもなんでもない 巨匠ケン吉のSF超ナンセンス

いい気持だよ
デイブ

ああ
気が遠くなるよ
デイブ

どうだどうだ

感じる
感じる
いい気持だ
やめないでくれ
デイブ

ピッ
ピッ
ピッ

デイブミスだ

え?
耽美写真館
美型コンピューター特集

子供ができたんだ
な、な、なに!?
Jun.

コンピューターと人間との間に生まれる子こそ〝新人類〟かもしれん

じゃあ…産んでいいんだね
ポッ

丈夫な子を産んでくれ!
デイブ……

多重放送人間

ステレオ
二か国語も
きけます

コ・マ・お・く・り・も・で・き・ま・す

カラオケ人間

と〜め〜にんげん
あらわる
あらわる〜

コマどりビデオ人間

ピッ ピッ ピッ

TVゲーム人間

なんで
あんな
できそこない
ばかり
生まれるんだ
!?

退屈しのぎの愛からは
退屈しのぎの
子供しか生まれんよ

おわり

—— 木原さん、デビッド・ボウイよりクールファイブがお好きになったそうですね。
中島 ええっ、クールファイブ?わかった宮本さんでしょう(笑)
木原 歌う人です。
中島 前川さんですか。ううっ(もだえる)
木原 あの人は天才だなあ、と思って聞いております(笑)
中島 なんと、しみじみとそちらの方へ転向ですか…。(絶句)
木原 転向っていうんじゃなくて、なんでもかんでも聞くんですよ。単にその場の気分でね。
—— 青池さんはどうですか。
青池 ブルー・オイスター・カルトの「ゴジラ」って曲いいですよ(笑)
—— 木原さんが中年趣味で、青池さんが怪獣趣味(笑)
中島 今日は怪獣趣味じゃなく、青年趣味と筋肉趣味の話するんじゃなかったの?(笑)
木原 筋肉趣味は青池さん(笑)
中島 (気をとりなおして)さあまじめに論じよう。
木原 筋肉はまじめに論ずるもの?(笑)
中島 見るもの(笑)いや、使うもの(笑)

理屈——放射状まつげ ——炊事・洗濯・掃除

—— 筋肉はあとに取っとくとして少女マンガについてから、話に入りましょうか。
木原 少女誌は女の子が読者ってことを忘れちゃいけないんですよね。
—— というと?

青年愛の輪郭

十四、五才なんて男じゃない!!

●少女マンガの狙撃手(マスケッティア)
中島梓

●少女マンガの吟遊詩人(フィリップ)
木原敏江

●少女マンガの追跡者(チェイサー)
青池保子

木原 男の子と女の子では受け入れ方が全く違うんですよ。女の子は理屈が勝つ。何のゆえにああなってこうなってというのがないとだめみたい。男の人の方が理屈っぽいみたいだけどたとえば、マンガで動作の連続に我慢できるのは男で、女ではだめね。
青池 すぐ退屈しちゃうのね。
木原 私は少女マンガっていうカセの部分が好きでね。限界を自分で作っちゃうんですけれど……その糾弾の的になる〝少女マンガ〟っていうところが好きですねえ。けんか場面に男が花しょってでたり……こんな言い方は失礼なんですけれど 私は所詮男にはわかんないだろうと思って描いてます。この間、私の描く人間の目は竹宮恵子さんの2倍、池田理代子さんの3倍で熊手まつ毛と書かれたの、だから男にはわからないって(笑)。さっそく測ってみた(笑)
青池 でも確かに大きいわね(笑)まつ毛は放射状になってるし。
木原 まつ毛がないと寂しい、男にもつけちゃえって。(笑)
—— ゲジゲジ眉毛は?
木原 あれは好きでねえ。でも男は細いですよ。女が太い眉毛。
中島 倒錯だ(笑)。そういえば木原さんの描く女の人ってきついですね。積極的というか……。蓉姫さまとか、たぬき目ちゃんも。
木原 淡白なのね。思いきりが良すぎるの。
中島 泣き虫になっちゃいけないってバッと立ち上がるでしょ。でもすぐメゲて、ま

●明智探偵だって、20面相となのよ、小林少年はダシなのよ!

たすぐ立ち直るのね。すぐギンギン目になるし。

木原　たくましいのね。私のは女じゃなくて女の子なの。それでばあやさんなの。つまり、男に対して女性って感じじゃない。いても気にならない女なの。親友で色気もないかわりに女々しくないわけ。泣いてるひまに何かやってる。

中島　梓

中島　すごく確実というか　地に足がついてるというか、御飯作ってる。同じ料理作るんでも普通はいやったらしい発想になって、レモンパイを焼きましょう、とかなるわけ（笑）木原さんのは雑炊作ってんの（笑）そこがすごい。あと掃除、洗濯全部できるのね。

木原　女の子に理想像を描いてるのね。わたしがそうじゃないから。

中島　青池さんのキャラクターはかわいそうなのよね。何も食べられないの（笑）。番外篇で必死になって食べたりして（笑）。

中島　食べ始めると　とたんに何かおこるのね。

木原　私はしっかり食わせてる（笑）好きなのよ食べてるシーンを描くの。

青池　生活感があるのね。

中島　木原さんのキャラクターは朝昼晩3食、食べるだろうなって感じね、ほんとに。

木原　絶対食べていただきます。

青池　私はきっと食べる事に興味ないのね。

木原　私はとっても興味あるのよ。

中島　それも実になる食物という感覚なのね。つまり、レモンパイじゃなくて、おにぎりでね。感心したのは、「天まであがれ！」で、お弁当持って京見物に行くわけよ。ちゃんとね、現実的な、持って行けるお弁当なのね。観念的な頭の中の、並べてみると花ばっかしだったという、そういうお弁当じゃなくて。

青池　菊の漬物、ひな菊のお茶（笑）。

中島　青池さんの場合ひどいと思うのは、せっかくチョコレートかじると天使が出てきちゃって（笑）徹底的に食べることに関して虐待してるのね。

青池　本人がホントに反省してます。

中島　ジャスティンには何か食べさしてやって下さい（笑）。それにひきかえ木原さんの主人公はどこへ行っても電気ガマを捜す。

木原　いやいや、七輪です（笑）。

中原　まっさきにとにかくメシタキの道具を捜すだろうって感じがするのね。

木原　やはり、愛だけでは生きていけない（笑）。

中島　薔薇のお茶なんぞ飲んで気取ってらんない（笑）。

木原　いや、飲むのよ、男の人は。

青池　女は七輪（笑）。

木原　だからばあやなんです。女の子は御飯作って、食べて、男はエエ格好して優雅にお茶飲んでる。

中島　やがて頼もしいお母さんになるような女の子ね。

木原　私はそういう子が好きだから。

青年――持つべきもの ――もみあげ・髭

中島　たしか、この前は何才から何才までが少年か、とか少年愛の条件は何かとかを話したの、竹宮さんたちと。つまり少年党と。で、今日が「青年の部」なんだけど話がちっともそっちいかん（笑）。

木原　自活できるようになってからがいい。

青池　25〜26才から30才。

中島　年くっとるなあ（笑）。この間私が17〜18才から25〜26才といったら年くっとるといわれたんですけど三十とは（ジタバタする）。

木原　私は17〜18才から30才まで。

中島　大体合ってますね。みんな。私最近30才までになったの。なぜかっていうと沢田研二が30才になったから（笑）。

木原　男35まで青年だから。

中島　四十男も魅力ありますね。35〜36才から45〜46才までって、男が一番ステキな時よね。

青池　ほんと。

木原　私はデビューの時から大学生を描いたから出だしから登場人物の年令は高かったんだけど、回りを見回したらどういうわけかみんな少年愛。結局、金も力もない昔の女なんですよね。ネクタイした女。それじゃあいやなの。そうだ、今日はそれを

言いに来たんだわ。

青池 14～15才なんて、まだ男じゃないわけですよ。

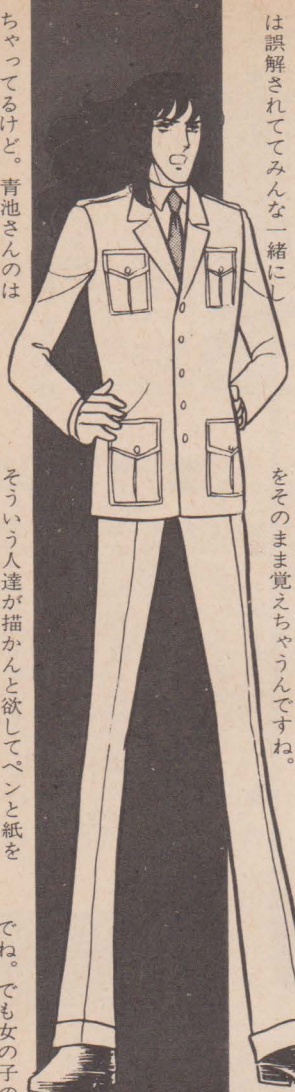
中島 そうですよ。ノーセックスじゃ困る。

青池保子

木原敏江

木原 やはり、らしくないと困ります。

青池 男を描く場合、持つべきものを持っているということよね(爆笑)。

木原 そう。それがなきゃ意味がない。つまり女装愛好者(トランスベスタイト)じゃあないんです。最近は誤解されててみんな一緒にしちゃってるけど。青池さんのは女装してても男が着てるってちゃんとわかるでしょ。でも他の人達が描くのは女か男か全然わかんなくなっちゃう。

中島 それは絶対いいたい、うん。

木原 こういう時代になってきて、あの人も描いてる、この人も描いてる、木原さんも描いてるっていわれるのがつらくてねえ(笑)。ちがうのに。私は一応男を描いてるつもりなのに。何かを持ってる(笑)。

中島 マネキン人形的なのよね。脱がせるとその―ツルッと(笑)何の話しとんじゃ。

青池 ただ男であるっていう設定の上に出てきている女じゃだめなのよ。

木原 単にセビロを着ているにすぎないから。それにね、やさしさの意味をはき違えている人が多いんですよ。

中島 やさしさは女々しさではないよ、ねえ。

木原 一個の人格として、自活して、自立していて、その上でならね(笑)。

中島 男性人格と女性人格というのを全然わからないで描いてるでしょ。根本的に違うのにね。

木原 今の　マンガを読む年代の人って、自分で調べたり、本を読んだりしないで、マンガから間接的に知識を得ちゃう場合が多いでしょ。だから本来の意味じゃないのをそのまま覚えちゃうんですね。そういう人達が描かんと欲してペンと紙を前にしても、ちょっと……

中島 情報文化の犠牲者だね。

青池 ルーツを知ってほしいな。

中島 自分でどうしてそういうのが好きなのかよくわかってない。流行でやってるのはほんと困る。いちばん困るのはそれよ。

青池 ファッションになっちゃってる。

中島 そう。それに、ほら、必ずヒラヒラっての着てるしタイツにサッシュしめてる。

青池 タイツもいいですけどね(笑)タイツらしくないのよ。

中島 青池さんのは、胸毛もちゃんとあるからタイツはいてもいいんだなあ、つまり―もうよそっと(笑)。

青池 最近もみあげも出てきたの(笑)。

中島 その次は髭ね。男は髭よ。ほら、アラビアのロレンスがなぜホモだといわれたかというと、必ず髭をそってたからなのね。アラビアで髭がないのは、女とオカマだけ。

青池 髭は男の象徴なのね。

木原 実はフィリップにもあるんです。原作では髭をはやしてカツラをつけて出てくる。年令も、もうちょっと高い。ものすごくサドでね。でも女の子のマンガにはちょっと使えないのでアレンジしましたけど。

お帰り、坊や――成熟――士道不覚悟――対等

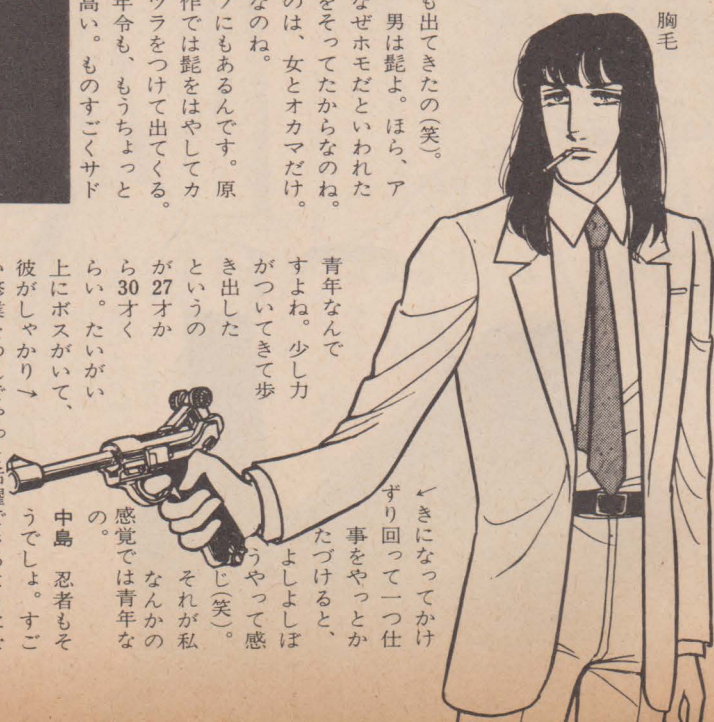
中島 主人公の年令の上限というと?

木原 30才くらいでしょうね。

青池 そうね。でもいいと思うんだけどなあ、もっと上でも。しみじみとして(笑)。

木原 そうよね。27才から30才は、翻訳物のハードボイルドやスパイもの読みますと、青年なんですよね。少し力がついてきて歩き出したというのが27才から30才くらい。たいがい上にボスがいて、彼がしゃかりきになってかけずり回って一つ仕事をやっとかたづけると、よしよしぼうやって感じ(笑)。それが私なんかの感覚では青年なの。

中島 忍者もそうでしょ。すごい修業をつんでやっと活躍できるようになるんでしょ。リアルに考えたら、使いものになるのって30才以後じゃない。少年忍者とかいって14才や15才で出てきたってだめよ。伊賀の影丸っていくつなのかなあ(笑)。

木原 たとえばマクリーン読んでても、敵側は東欧圏やナチスで、むこうの将校さんていうのはやっぱりサドが多いわけね。英国諜報部員ががんばるんだけど、むこうは

40過ぎてる押し出しのいい立派な軍人なわけでしょ。そういう人が、とっつかまったところがとっても好きなわけですよ。そういうと課報部員相手にいじめるわけ。そういうところがとっても好きなわけですよ。いじめ方がね(笑)。

中島 そこで14〜15才の子が出てきてもね。

青池 はい、お帰り坊や、お母さんが呼んでる(笑)。

木原 ここは保育園ではない(笑)。いじめる側もある程度の歯ごたえは期待していじめるわけですよ。

青池 そうなのね。

中島「1984年」読みましたか。ウインストン・スミスって主人公がしょぼくれた中年男なんだけれど、それが共産主義社会の極端なやつみたいなのにつかまりまして、いじめられるわけ。そのいじめるおじさんてのが55〜6才ででっぷりと太っててね。

青池 にこにこいじめるの?

中島 いやいや じわぁーっと(笑)。父親の如く。

木原 それが本当なのよね。

中島 そこで14〜15才の子供が出てきて、この組織をくつがえせ、なんて言ったって、この子アホちゃうか(笑)。

青池 ボーイスカウトに入ろうね、坊や(笑)20年後においで、って感じね。

中島 そう。成熟というのがすべての前提条件でね、それぬきでセックスであろうとSMであろうとしてほしくないわけよ。

青池 話にならないのよね。

木原 明智探偵だって、20面相となのよ。絶対。小林君はダシですよ。20面相は明智さんに会いたいんだけど直接にはいえないから小林君をつかまえておいて彼が来るのを待っている(笑)。

中島 せつないなあ(笑)。

——警察が色どりをそえてる(笑)。

中島 とにかくガキはだめだ!私は男が雄々しくなる一瞬、女々しくなる一瞬をのがしたくない。そういう事なんだけどね、男のよさって。

青池 ガキはしょっちゅう女々しいのね。鍛えればいいのよ。鍛えるのよ(笑)。

——それでは男の理想像といったら?

木原 変になよなよしいのはだめ。あの、りんとしていていただけないと。いざとなったら女房、子供を土方やってでも養っていけるようなのね。

中島 それはたくましい。中上健次さんですな(笑)。

木原 精神的にね、独立していただかないと困りますなあ。どうしても女に頼る男はだめなんですね。けっとばしてやりたくなる。自分の始末を自分でできて、それでロマンチストじゃないと。ロマンチストといっても蝶よ花よのじゃなくてね。

中島 すごくたくましいロマンチストね。

——具体例はありますか。

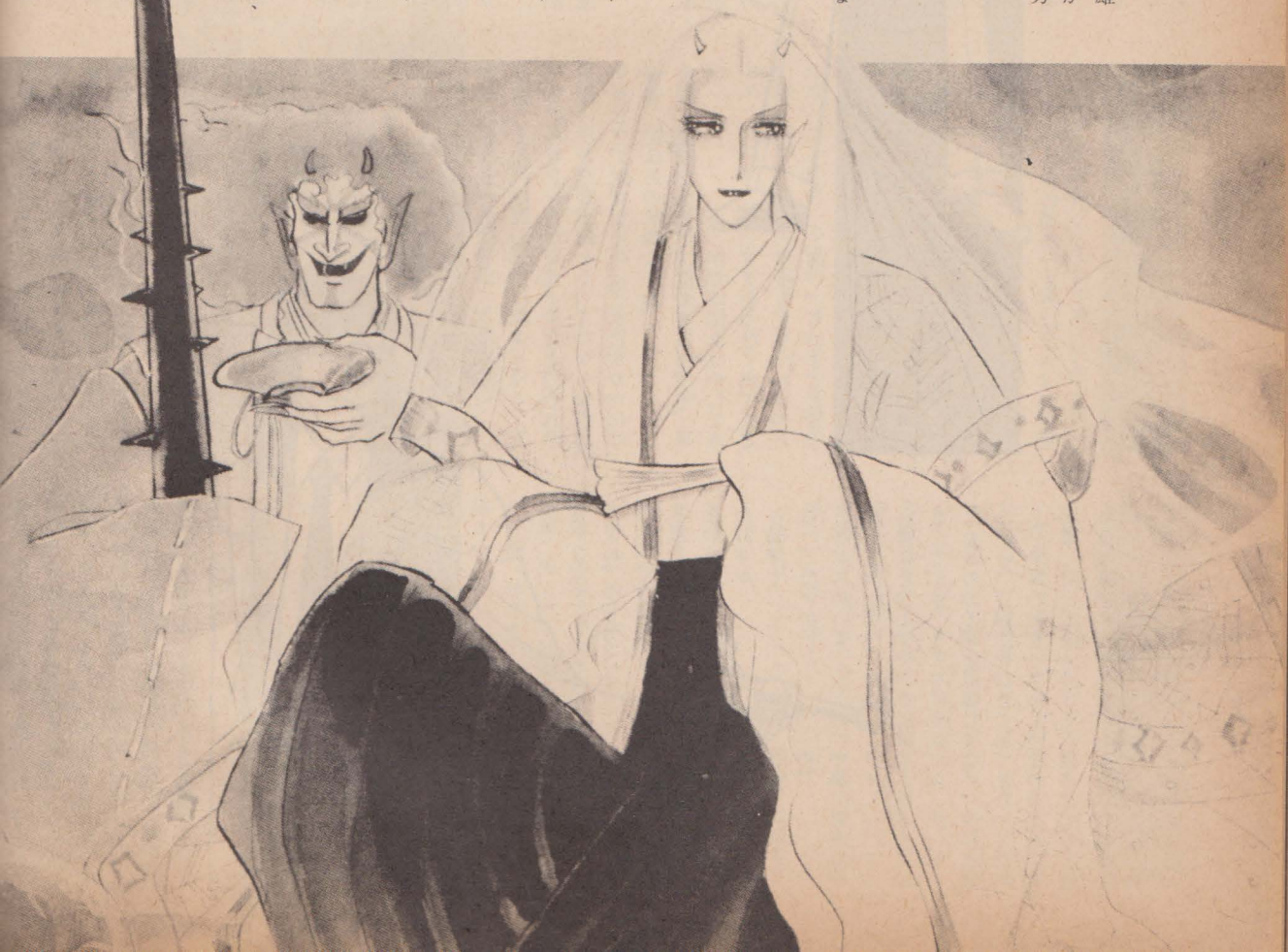
木原 ないのです。いえあーあった!マクリーンの「最後の国境線」にでてくるホワース少佐。

——青池さんはどうですか。

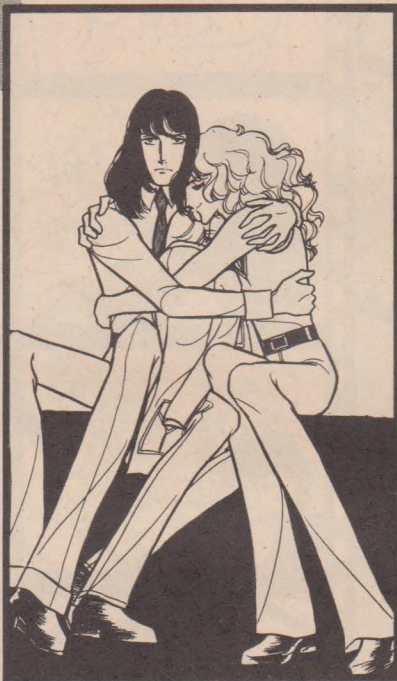
中島 ムキムキマンでしょ(笑)。

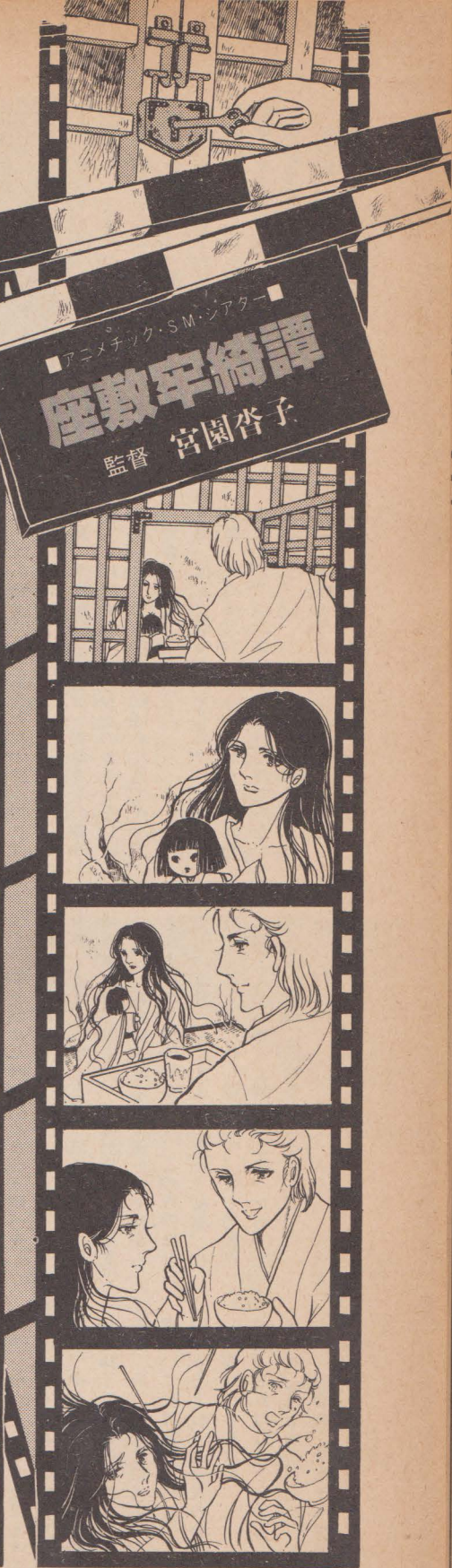
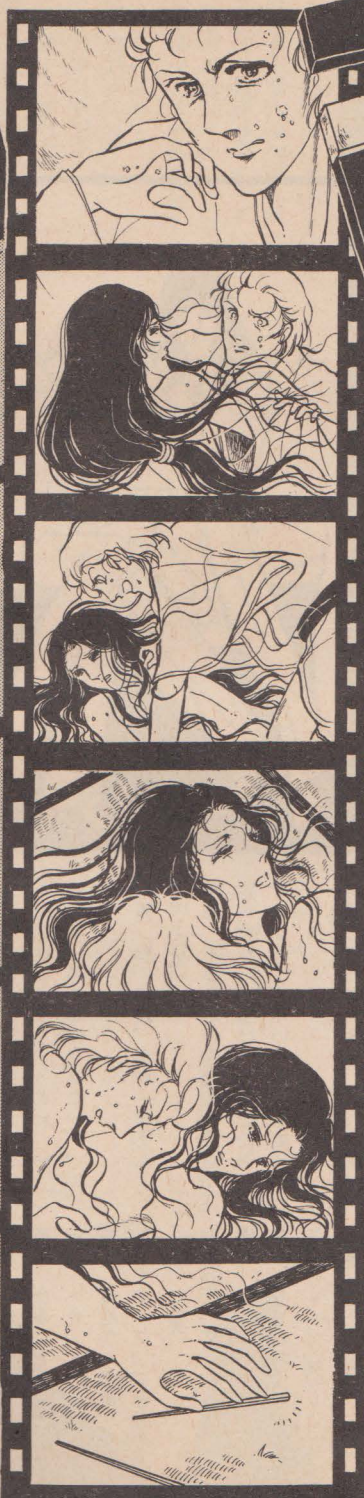
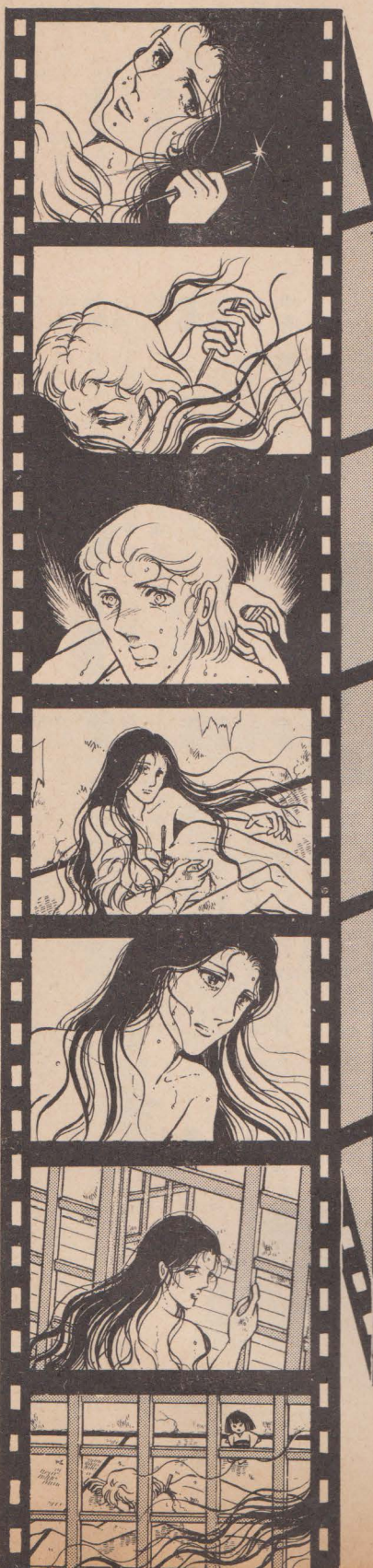
青池 商業上の筋肉はだめよ(笑)。私はね、ロバート・ショー。

中島 しぶいなあ。

青池「バルジ大作戦」の時、すごく良かったのよ。「危機一発」も良くてねえ。ボンドになぜやられたのかわかんない。許せないわ(笑)。

木原 やはり、大人の男ね。大義名分、士道不覚悟で行動するの。
青池 わきまえるっていうところがいいんですよね。男は。
中島 いざとなったら切腹ができる、これですよ。
木原 精神の自立した一個の男が、他のやはり精神的に自立した一個の男に魅かれるというのがとても好きですね。
青池 両方に余程人間的魅力がないとだめね。
木原 片方の立場が弱いというのはだめ。
青池 対等ね。
木原 対等で魅かれ合って、この野郎と思いつつも……というのが好きだわ。それでバカになれる人。大人ならなれるでしょう。
青池 バカになれるというのは余裕があるからなのよね。
木原 でも、ほんとの青年を描いてくれる人がいそうでいないんでつまらないですねぇ。

天衣無縫——淡々 下剋上——ブワァカものぉ

中島 木原さんは時々、ものすごい自然児を描くよね。ほんとの天衣無縫っていう。
木原 私、好きなんです。そういうふうになりたいですね。一番の理想ですね。
中島 それがもう少し思想性をもったのが新吾になってくるんでしょ。
木原 そうですね。ワンパターンの3人トリオです。パカァ(口をあけて)という感じなのね
中島 フィリップもね。
木原 あれもバカァです。青太みたいに空気みたいな子ってほんと好き。ああいう話ならいくらでもできるけど。「ただそれだけ」の話なら。
中島 木原さんのはつねにそういう形ね。こういう話があった、ただそれだけの話です、っていう。これはもう神話よね。
木原 こういうこともありました、ああいうこともありました、なのね。だからあなたどう思った? なんて絶対いわない。
中島 徹底的にアジテートしないわけね。
木原 やんない。淡々と読んでくれて、ああいう話があったなあ、と思ってくれれば一番いいわけ。
中島 天衣無縫といえば 青池さんの番外篇、あれはすごいね。なんのオチもなしにバッと終ってる(笑)。私はあれ見てキャアって喜ぶわけ。
木原 ほんと見るだけでもニヤニヤ。
中島 死ぬほどおかしいの「かくてこの物語はオチのつかないままおわるのである」ってとこ。
青池 きめようと思わなかったんだもん(笑)。いや、終りって。

―― 青池さんのマンガは脇役がいつのまにか主役をとっちゃうでしょう。
青池 私のは下剋上マンガっていわれるんですよ。
中島 そういえばエーベルバッハさんには見事にのっとられた感じね。「エロイカ」シーザーくんかわいそうだなあ。
木原 題変えよう、題。
中島 「エーベルバッハより愛をこめて」(笑)。
―― 「イブ」の5巻だってそう。
中島 無名の秘書にのっとられた。おもしろいのね、勝手に動き出しちゃって。
青池 あれはいたずらに描いただけなのに……結構動き出したら動きにまかせちゃうのね。いいわよ、あんたやりなさい、って。
木原 私のでは、私が一番えらいのよ(笑)。
中島 木原さんの作品の中では総司君が、一番はっきり出たキャラクターみたいな気がするけど。
木原 そうですね。
―― 描き始める時どれくらい下調べをしましたか?
木原 ええと「燃えよ剣」読みまして「新選組血風録」読んで、子母沢寛の「始末記」読んで、森満喜子さんの1冊と、それからもう1冊か2冊読みました。この方のはわたしには甘いんですよね。それで結局、自分のイメージでね、通したの。でも司馬遼太郎さんの「燃えよ剣」はよかったわ。土方さんが最後に名のるところがすごいの、かっこいいの。
中島 すてきだったー。
木原 敗走に敗走を重ねて、五稜郭の決戦の場なのよね。もとの幕府がつぶれちゃってるから松平容保様お預り新選組副長っていえないのよ。ところが彼は、名前はっていわれて、堂々と新選組副長土方歳三って名乗って蜂の巣になってお亡くなりになられるのよ。
青池 すてきねえ。
木原 すごいすてき。エーベルバッハさんみたい。そういう感じよ。やるってとこはてこでもやっちゃうのよ。
中島 エーベルバッハさんはどういうところから出てきたわけ?
青池 あれは分身なのよ、私の。
木原 やることなすことそうなのよね。
中島 へえ。
木原 青池さんの声、なかなかドスがきくんですよ。ブワァカものぉ、なんていうとすごいの(笑)。
中島 やって、やって。
青池 嘘よ、いやよ。
木原 うちのみんなが随喜の涙を流して、ステキーって(笑)。
中島 負けた(笑)。
木原 ゆっくりね、とてもすてきに低い声でいうんですよ、バァカアメー(笑)。それでね、やることなすこと似てるのよ。後ろから椅子けっとばしたりしそうなの(笑)。
中島 あっ髪型も似てるじゃないの。
青池 これは無精なの(笑)。でも、自然に描けるのよね、あの人の場合、すごく共鳴して描いてるの(笑)。
中島 あれはほんとにおもしろいキャラクターね。ずっと見ていたい。いいわあサド目が。
―― あのお、そろそろ少年愛の話に……。
一同 そうそう、忘れてたわ(笑)。

●カットは　エロイカより愛をこめて　秋田書店／RC自選全集　木原敏江　主婦の友社／アンジェリク　秋田書店より

■アニメチック・SM・シアター■
座敷牢綺譚
監督　宮園沓子

飛鳥暮色

それは予感か

……やがて

冬枯れの飛鳥野を

夕紅に染めるのは

有間皇子

お前の命……

幻想の画廊から
女城あさま

幻想の画廊から

高橋祐子

幻想の画廊から
レオ・沢鬼

オーロラを聴く少年
Lounie

幻想の画廊から
まりの・るうにい

幻想の画廊から
吉田光彦
炎上

SPECIAL COLLECTION

ROCK美形専科

サウンドこそがすべてじゃが一
整形しゅるつをうけずとも
顔がい一のが魅力なの
そうだボクらはめんくい一ん
ま一くしていたきっすいの
ＲＯＣＫ界をり一どする
美形のＲＯＣＫば一いたち
知らない人もしるびあん
次から次へとでりんじゃ一
じみ一なペ一じはすちゅあ一と
いぎ一のある人とっどと消えろ
美形カタログＲＯＣＫ版
やったろじゃ一ありませんか!!

狩人派

バーリー・ブラザース

これこそあなた、ビューティー・ペアじゃありません!?

1本格派

クィーン

ありし日の貴公子。今は…。ステージではギンラメホットパンツで決めていて、観客の70%が男性ですってよ！

3まのび派

顔の長い人ってみーんな同じ様に見えるのね。容積の大きい分、皆さん頭も良いとか。この4人をたして4で割ると某ロック雑誌の編集長さんに似てたりなんかして…!!

ジャパン　キャ〜ッ♡（読者さんに代わり発声至しました…）

チープ・トリック

クィーンのフレディが可愛いと言ったとか言わないとか。人なつっこい笑顔がたまりませんわ。でもこれほどコントラストが激しいバンドって他にある？

ストラップス

左が色ッペーので有名なロス・スタッグ。右が「エロイカより愛をこめて」の少佐にそっくりさんのノエル・スコットさんです。

ジョン・メイオール

エンジェル　エンジェル体操やってるかしら。

ベイビーズ　んにょんにょ〜。

2

アレッシィ

4印象派

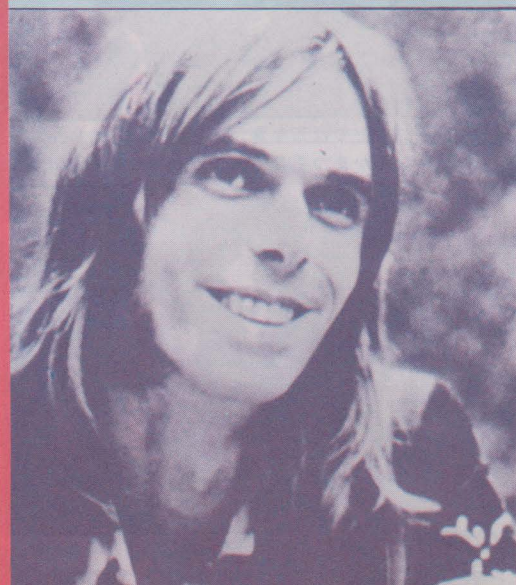
マーク・ボラン

チカチカ、キラキラ。ボランちゃんは本当に星の王子様でした。夢にまで出て来ないで成仏して下さい。

マイケル・デバレス

女性からも男性からも愛された両性類。これはシルバー・ヘッド時代のフォト。

アリス・クーパー

トッド・ラングレン

ニッキー・ホプキンス

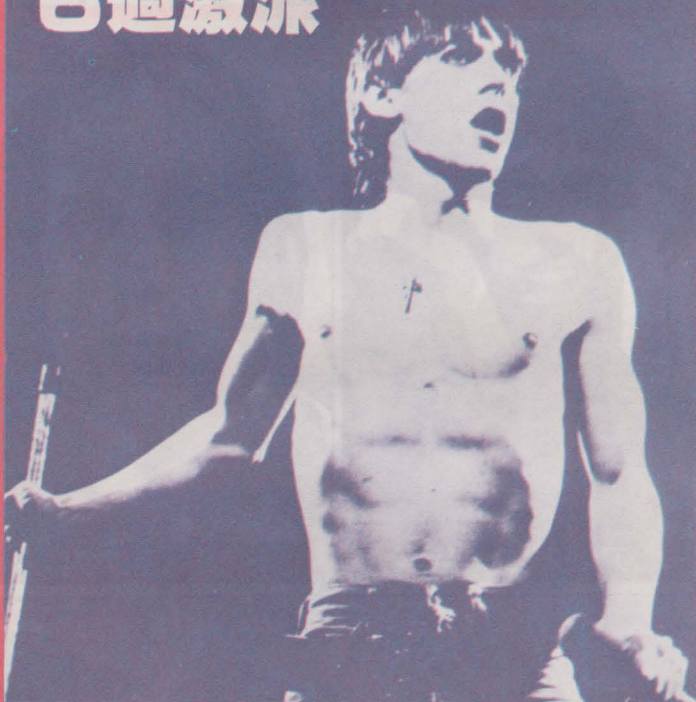
5長寿派

デビッド・ボウイ 前号参照

デリンジャー
ゴレンジャーより強そ〜！

ブライアン・イーノ
長く伸ばした髪とハゲ上った前頭部のロキシー時代は夢のまた夢…

ロキシー・ミュジック
中央がダンディなブライアン・フェリー。左端がエディ・ジョブソン君です。

6過激派

イギー・ポップ
ステージの上では万年夏、ものすごく元気よい人。お眼々なんかまつ毛長くってかわゆいのにね…？

ルー・リード
この爬虫類チックな人、レイチェル君って美男と結婚式をあげたルー・リード。女の子が二人あぶれた計算になるのよね〜。

ニューヨーク・ドールズ
このケバケバしさが最高、さすがニューヨーク。今はもう解散してしまったけどこの手の化粧バンドのハシリじゃないかしら。

キッス
ワ〜、バケモノ!!なんて言ったらファンに石投げられちゃうけど素顔見せない事がミソだったりして、この人達は…。

ロッド・スチュワート

はい、チーズ！

ジョニー・ウィンター
きまってるだろ。これは俺御自慢の美形ギターさ！

レッド・ツェッペリン
ニジンスキーは眉間に縦皺、プラントは顎に縦皺。

8チャーム・リップス派

人呼んで唇三兄弟。またの名をオバQトリオ。トロまぐろのような唇の愛らしさ…。

スティブン・タイラー

フレディ・マーキュリー

ミック・ジャガー

7病的屈折派

可哀そさを一身に背負う病的細さのキース・リチャード。一昔前のセックス・シンボル、故ジム・モリソン（左端）。あちら側の世界を見つめるようになったシド・バレット（もとピンク・フロイド）。

シド・バレット

キース・リチャード

ドアーズ

9健康優良派

ジューダス

この兄ちゃんはジューダス・プリーストの看板です。

ダニー・ワイルド

知らないだろう。クイックのボーカルちゃんです。

クラウス・シュルツ

見よこの美貌!!文句あっか!!

パット・マグリン

肩こりにパット・マグリンじゃなかった、あれはホット・マグレバン。

ショーン・キャシディ

あのショーン・キャシディ。

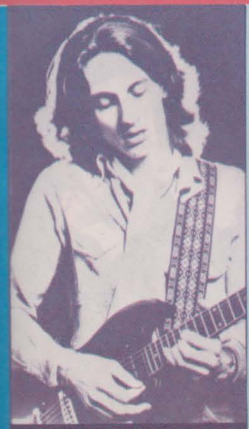
ピーター・フランプトン

この美貌で億万長者。「美貌は金なり。」

ピーター・ガブリエル

今は凄まじい顔だけどこれはジェネシス時代のよ。

ジョン・ウェットン

可愛い笑顔、万年青年のジョン。今はUKにいるの聴いてね。

10新古典派

この四人は知ってるかな?ロリー・ギャラガーは来日もしたから御存知でしょう。M・ニグートシュンクはアシュラというグループのギタリスト。デビット・サーカンプーはパブロフス・ドッグのヴォーカル。少年期に声帯を傷めて変った声なの。一聴の価値アリよ。鯉のようなお口の人はトム・ペティ君です。

マニュエル ニグートシュンク

デビット・サーカンプー

ロリー・ギャラガー

トム・ペティ

ROCK美形専科番外篇／JEFF・BECK

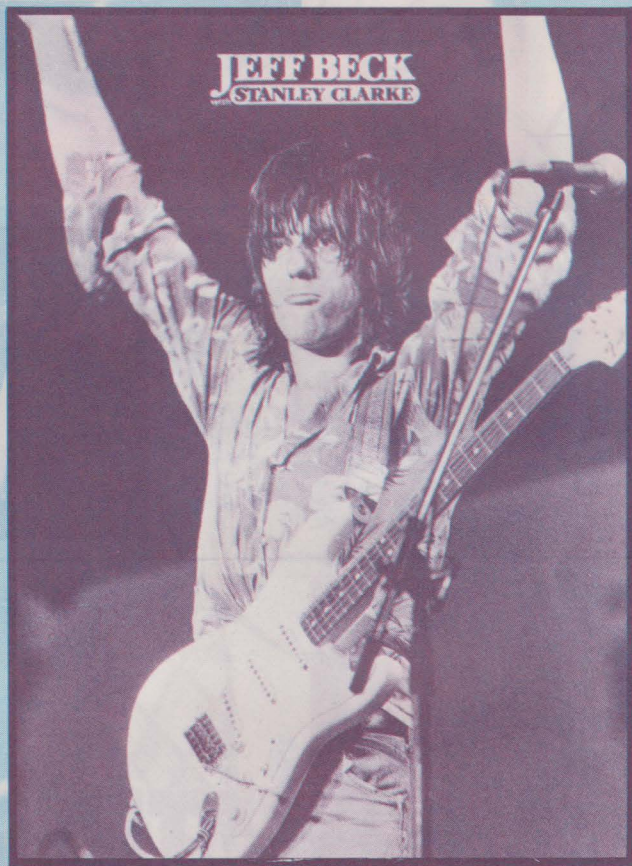
アブラギッシュなのはダメ!!なんといってもベックがサイコーよ♡

今回が三度目の来日の天才美形（？）ギタリスト、ジェフ・ベック。武道館でのコンサートを観たばかりのベック・マニア４人に集まってもらい、その魅力を余すとこなく…とはいかなくて、ごくごく一部を語っていただきました。出席は、ＲＯＣＫの精神が作品に滲み出る、というか溢れ出ている、みかみなち、水星茗、竹田やよい、高光望（漫研ローズ・クロス）の各氏。場所は、おりしもカナダのグループ、マホガニー・ラッシュが滞在中のホテル・ニュー・ジャパン（JAPANが来日したらここに泊るかしらネ）でした。

高光望

竹田やよい

みかみなち

水星茗

水星　シビアな雰囲気はなかったけど、すごくリラックスした感じね。ベースのスタンリー・クラークと二人で、なんか、じゃれついてたし（笑）。
みかみ　スタンリー・クラークはすごかったわね。
水星　ベックはかわいかった（笑）。
みかみ　ほんとに歳とらないのよね、あの人。
高光　足が細かったね。
みかみ　やせたみたいね。
水星　きゃしゃな美少年ってカンジで、しぐさとか声もかわいくなったみたい。今回はよくしゃべってたじゃない、ニコニコしてサ。
外野　ベックって全然しゃべれない男かと思ってた（笑）。
水星　でもサ、×××（編集部注・特に地名を秘す）での公演も観たんだけど、×××って観客がダサイねー。「哀しみの恋人達」で手拍手打つのよ（笑）。私、びっくりしちゃった。ホラ、演歌とかの、あーゆーやつ。こっちが恥かしくなる。
みかみ　アンコールの時に「アンコールウ！」って後ろにアクセントおくのも恥かしいけどサ（笑）。
みかみ　スタンリー・クラークと仲良さそうだったわね。肩組んで舞台のそでに入ってったじゃない。でも、75年のワールドロックフェスティバルの時に少年とからみあってたのは、キモチが…（笑）。
竹田　アランっていう人よ。今度も来てた。
水星　金髪で、なんか幼い感じの人でねー。すごく熱いまなざしを、ずっとベックに送ってたじゃない。
竹田　だって今回なんか、ベックが脱いだ上着をあとからしっかり着てたもの（笑）。
みかみ　ワールドロックでも、自分で脱いでサ、あの子にかけてあげてた。やっぱ、同病相憐むというか…（笑）。
水星　なあに!?それェ（笑）、どういう発想!?
みかみ　まァまァ。ベックが5年前に、ベック・ボガート＆アピスとして来日した時は、すごく〝グループ〟って意識してたね。
竹田　メンバーの一人ってカンジで。
みかみ　わざわざ自分がかくれちゃってサ、アンプのカゲでチンチロリン♪（笑）。そこでまた感激してサ、かわいいわベック（笑）。
竹田　だけど、ベックってホントに音のとり方が変ってるのね。
水星　頭が飛んでるというか、理性がない（笑）。
みかみ　教養がないもの（笑）。
高光　ひどいわァ、それ（笑）
みかみ　これはみんな愛情の裏返しなのヨ（笑）。

MY BOY マイボーイ

♡おひる寝からさめたところを、パチリと。なんとSMの気があるという楽しい男の子です。
練馬区　山口典子　26才

♡この写真は、7〜8年前のウィーン合唱団の少年たちデス。右から2人目がヨハンよ。
静岡県伊東市　O・HARUYA

♡14才のヤンキーボーイ、デヴィット。なんとなく若いころのドロンに似てなぁーい!?
北海道旭川市　藤田嘉子　15才

♡(上)ヨーロッパで撮ったものです。彼らの名前はわからないの、でもカワイイでしょう。背中のカバンにも注目、注目！
高知市　？

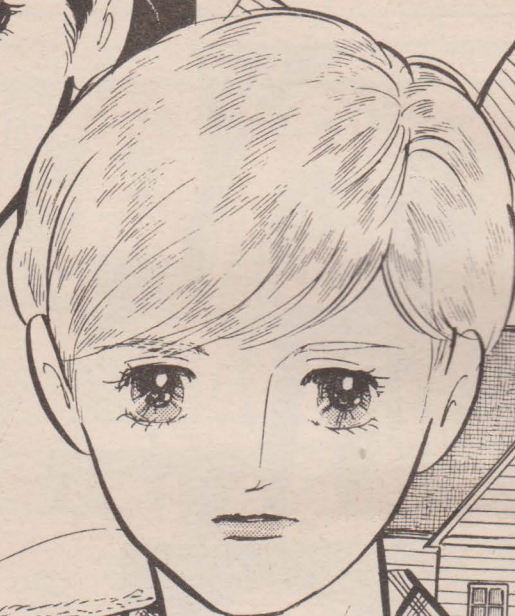
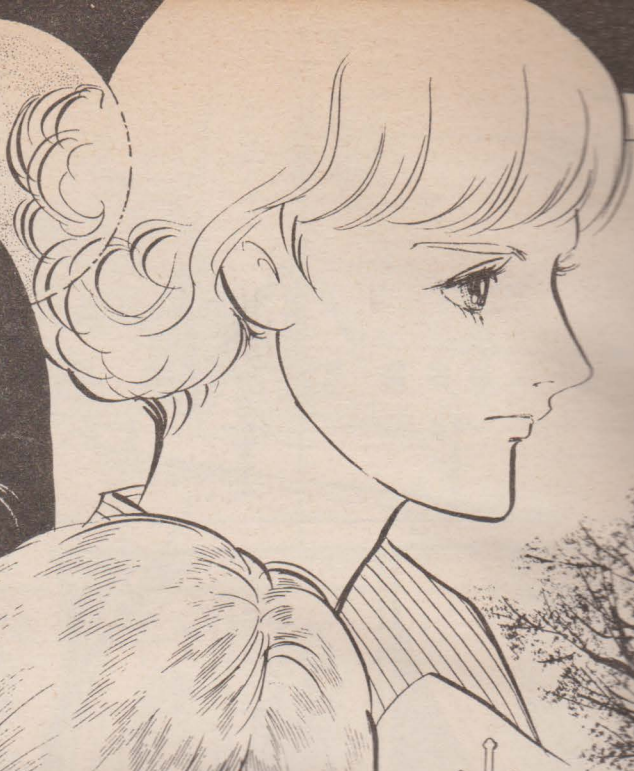
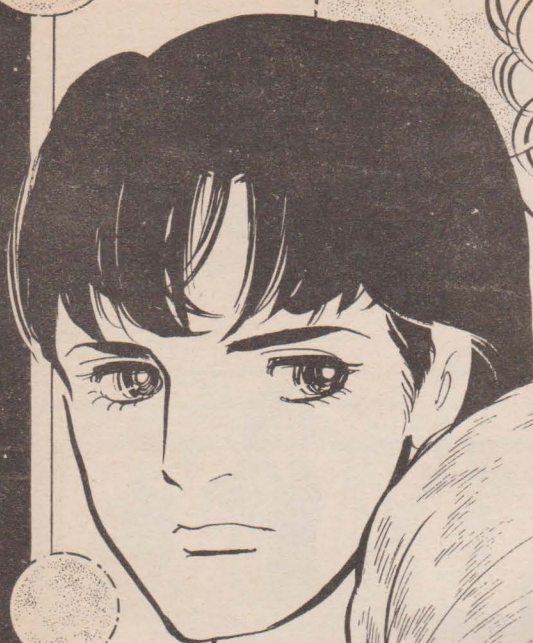
♡浩之くん、2年E組13番。やっぱ実物のほうがずっといいみたい。
長野県上田市　坂口志津枝

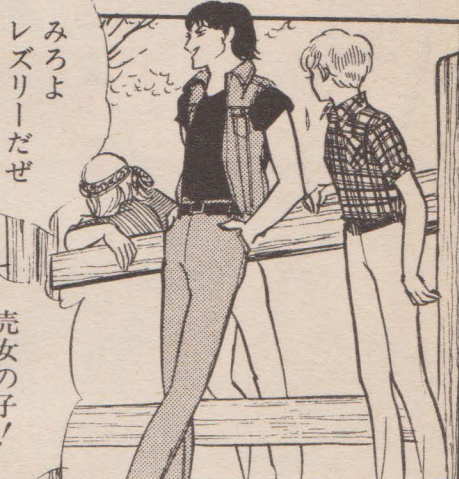
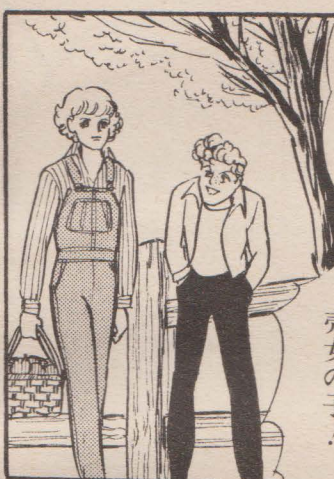
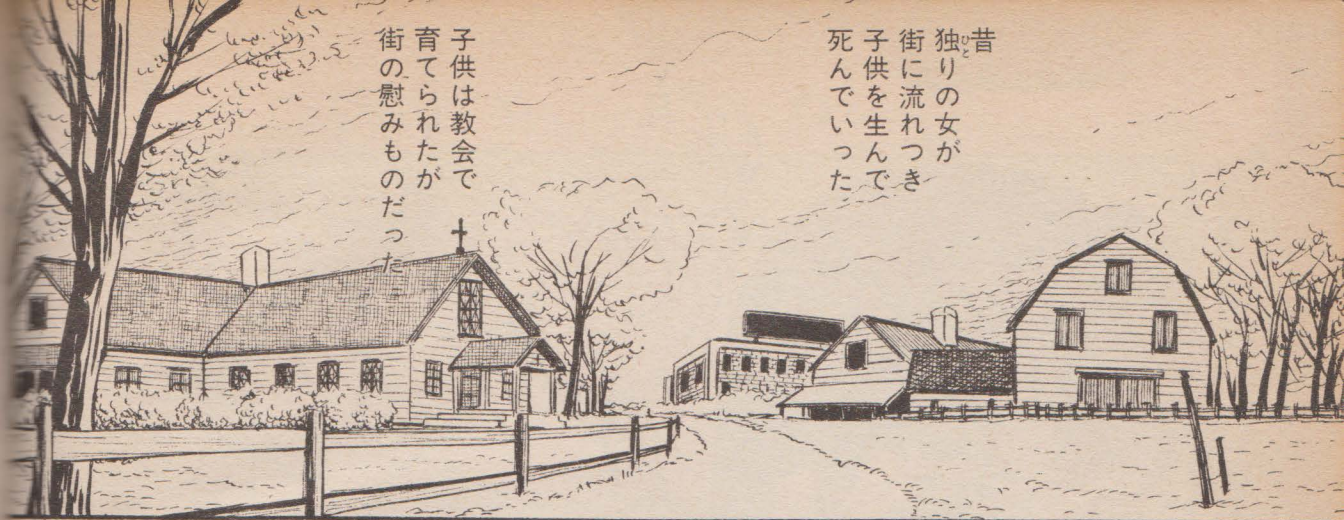
♡アンチック写真館なんちゃって……。
熊本県　岩竹香織

♡フォークソング部であだ名が「おかま」きゃ〜きもちわるう〜。といいつつ70円でこの写真買いました……。
神戸市　岡部正子

♡フランス、ノートルダム寺院少年聖歌隊にはいっている私のペンパル、11才のブノ・ベナシェーン君です。ひっひ実はKISSをしてもらっちゃったのダー！
千葉市　大根ちーく

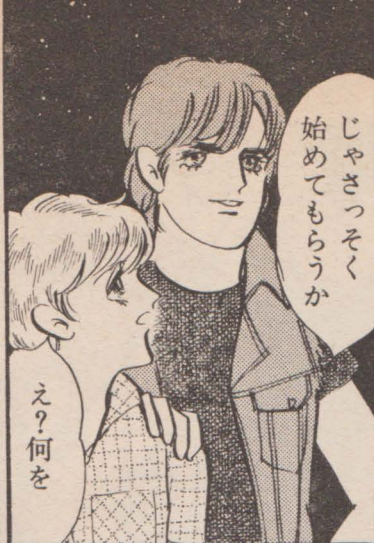
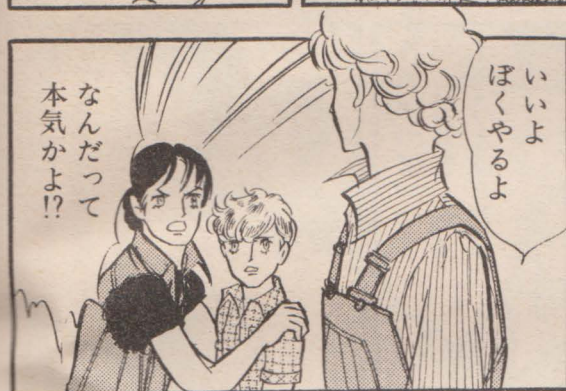
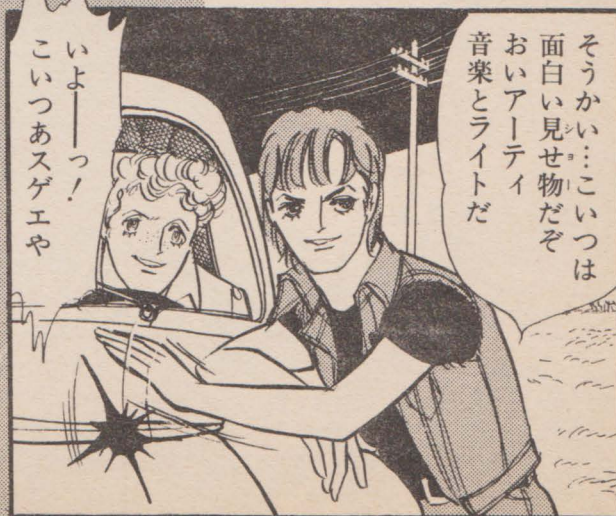
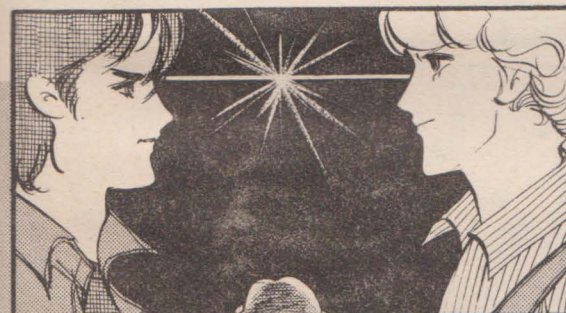
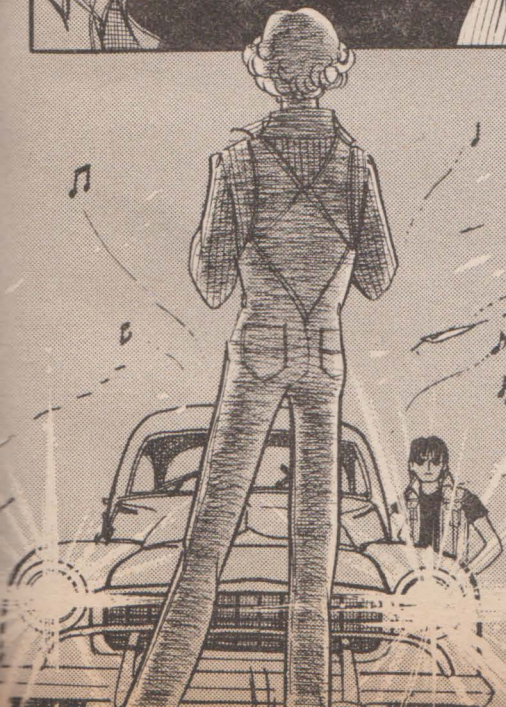
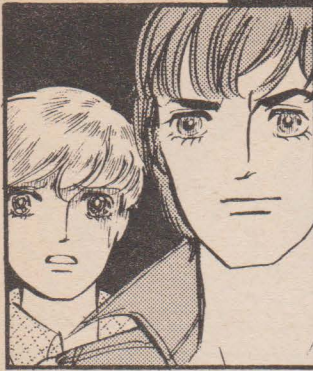
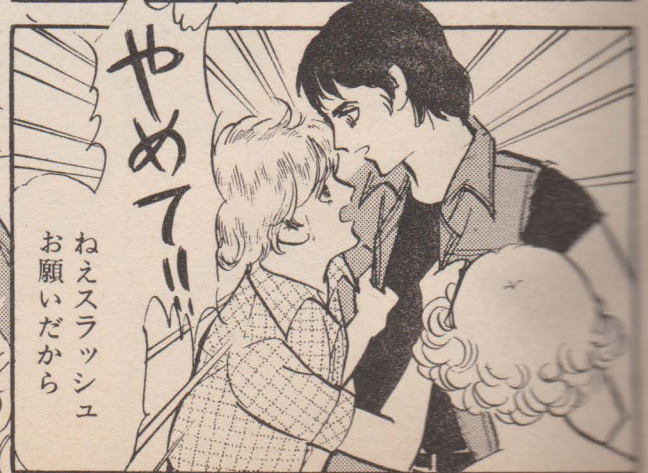
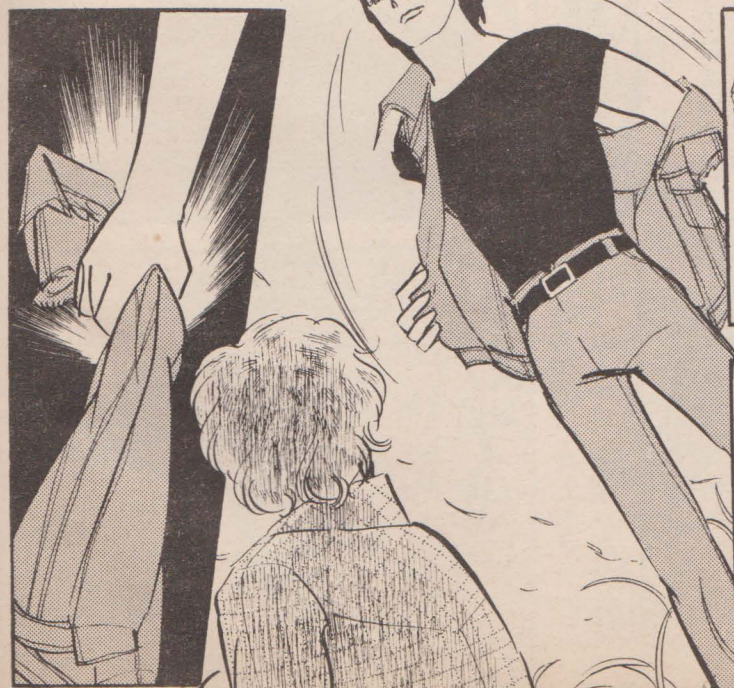
♡岡北弓道部スイセン！麗わしの元々元部長上田耕司くんをみんなでなが…(う？)なめよう。
愛知県岡崎市　久世安寿

兄貴に弟、パパ、いとこ♡友達、先輩、ああ先生♡幼なじみにおとなりさん、通りすがりの男の子♡夫に恋人つばめに情夫！あなたがコッソリ(？)もっている、美少年や美青年、可愛いあのこのお写真を、見せびらかしちゃうコーナーよ♡

GREEN ANGELS
青い天使たち
高崎　良

昔
独りの女が
街に流れつき
子供を生んで
死んでいった
子供は教会で
育てられたが
街の慰みものだった
みろよ
レズリーだぜ
売女の子！
売女の子！
さあ　行こうぜ

手伝うよ…
…ありがとう
おい!ウィル
何してんだ早く来いよ
待って
これあげるよ
ありがと
ああ
スラッシュがよんでる
ぼくもう行かなきゃ
あんなやつ
ほうっとけよ
これくれたよ
そんなもん
捨てちまえよ
でも……
捨てちまえってんだ!

きょうは
これでおしめえだ
…いい息子
さんだ…
いやあ
図体ばっかり
でかくって…
ちえっ！
さんざ
こきつかいやがって…
いやなんたって
男は強くなきゃ…
…まあね
おーいおやじよ
おれちょっと
ビリヤード
やってくるよ
おいアーティ
ウィルは？
Billiards
あんな満足に
玉も突けねえ
やつあ
いいじゃないかよう
それより
早くやろうぜ
ああ…

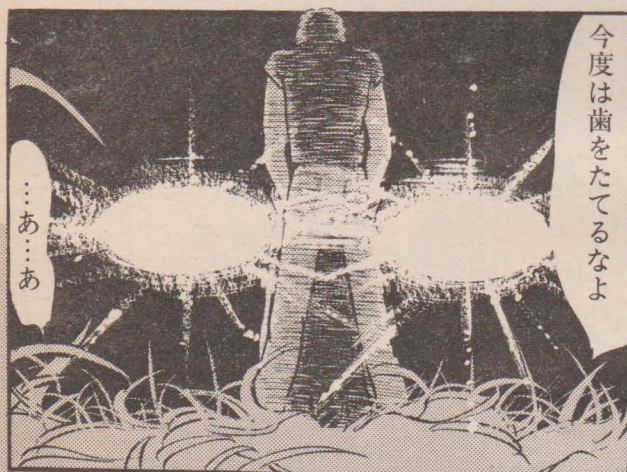
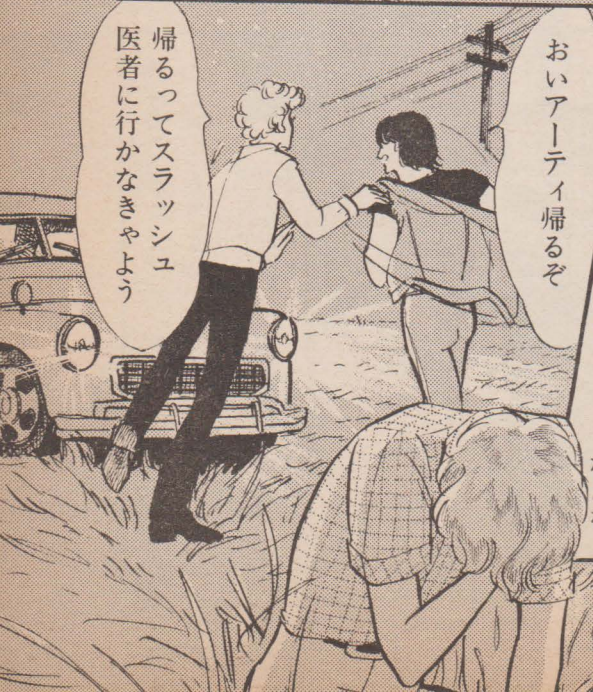
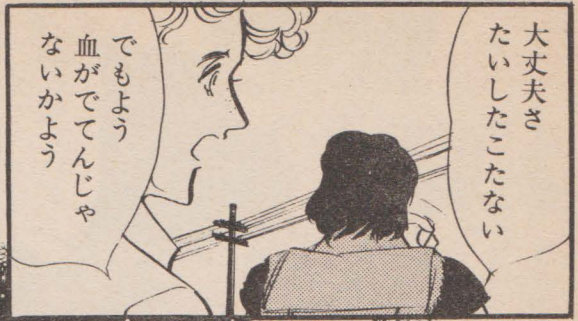
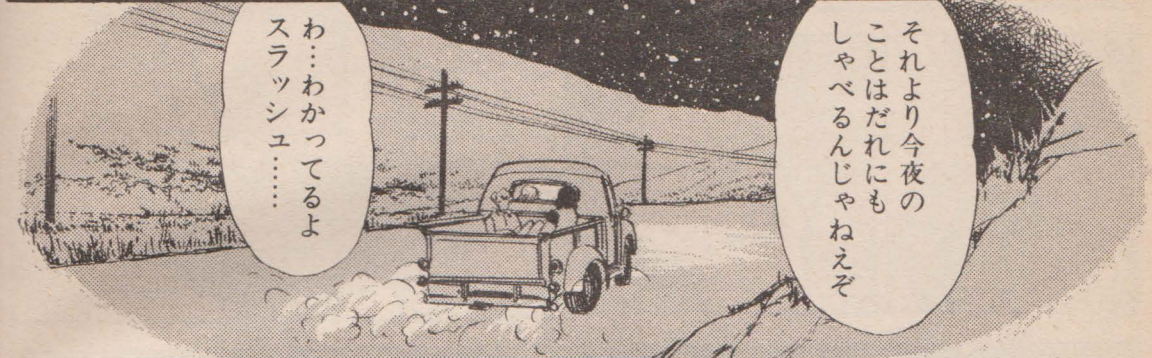
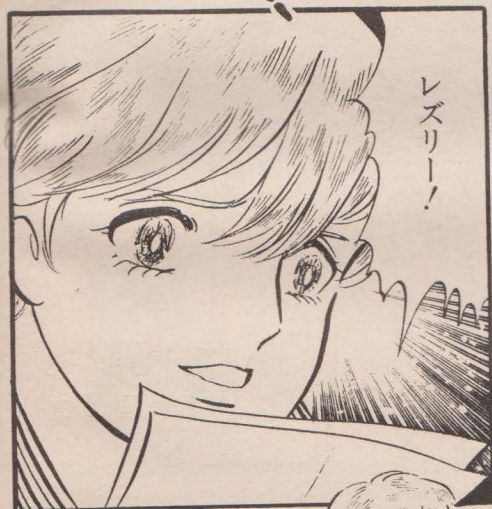
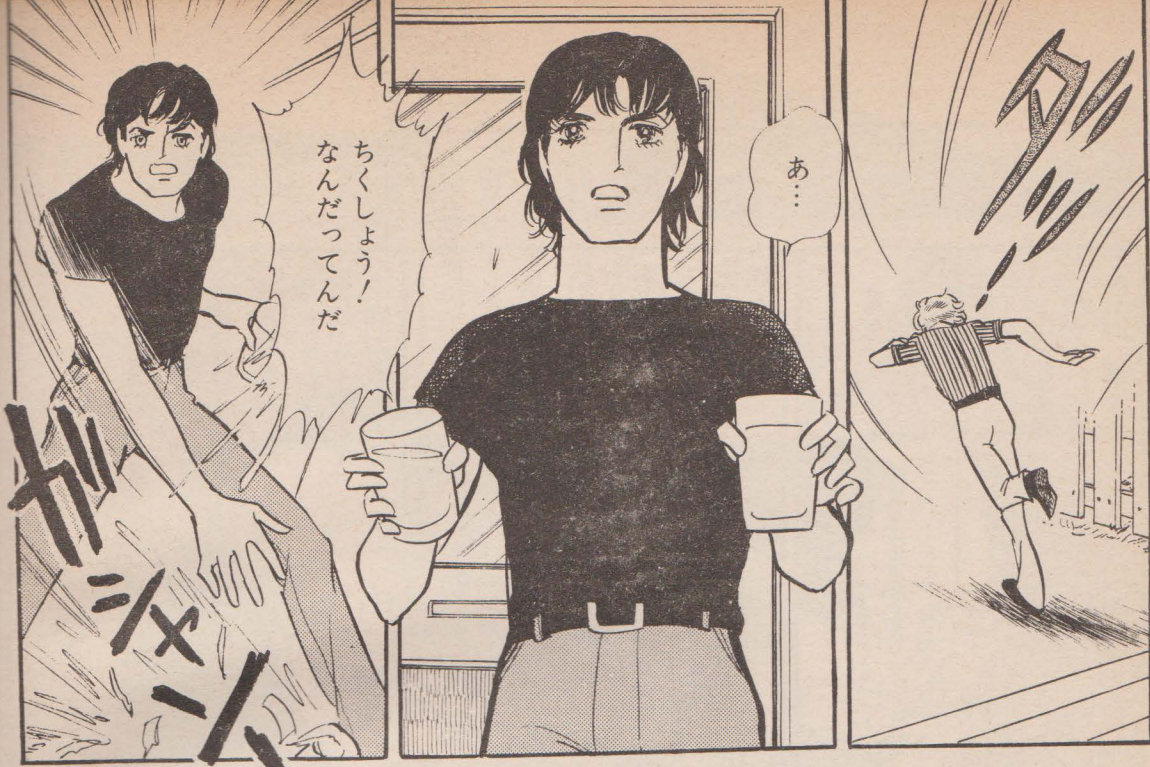
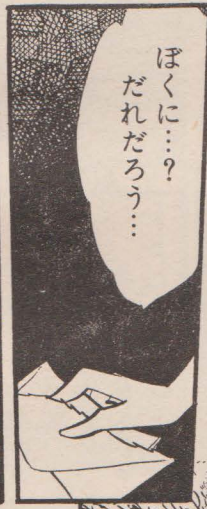
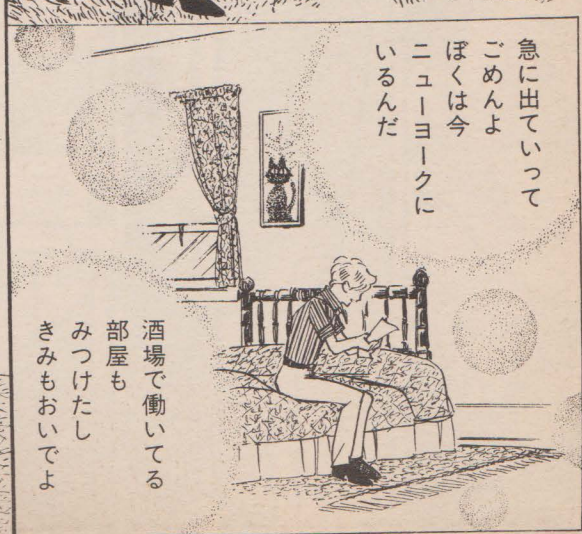
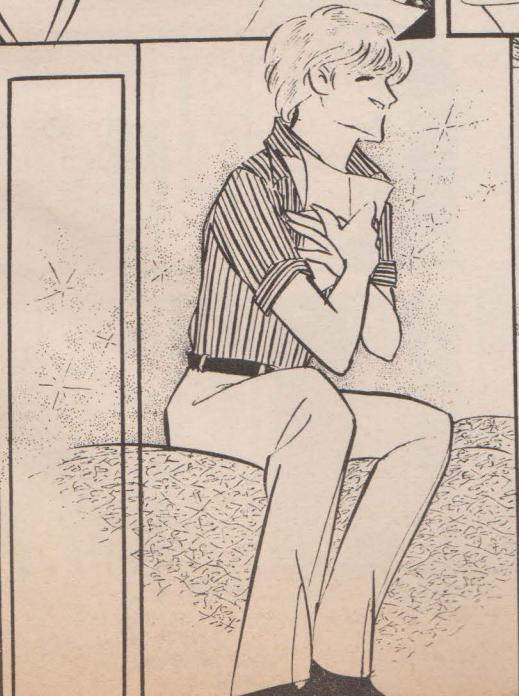
ようウィル
最近おれたちのところに来ないいな
そ…その…
今夜原っぱでパーティすんだもちろん来るだろ?
う…うん
なんならレズリーを連れて来てもいいぜ
ほんと!?
ああ…だから必ず来いよ

遅いじゃないか
ごめんよ…
じゃさっそく始めてもらうか
え？何を
とぼけるなよレズリーの踊りさおまえが言い出したんじゃないか
スラッシュ！ぼくそんなこと…
じゃ代わりにおまえが脱ぐか？
いいよぼくやるよ
なんだって本気かよ⁉
そうかい…こいつは面白い見せ物だぞおいアーティ音楽とライトだ
いよーーっ！こいつあスゲエや

ヒョー！
いいぞ　いいぞ
これで気がすんだろう…
まだおわりじゃない
ひざまずけ
おまえも
おふくろと
同じことを
するんだ…
そんなにこいつが
大事かよ！
やめて!!
ねえスラッシュ
お願いだから

あんなやつはどうでもいい
おれが欲しいのはな
……なあわかるだろう…
……おまえさ
こいつ…かみやがった…
ご……ごめん
スラッシュ…
おい！スラッシュ
それじゃキズがつく

おまえはそんなに
おれのことが嫌いか
どうだウィル！
ゆ…許して…
スラッシュ…

わかればいいさ…
さあ口を開け

今度は歯をたてるなよ
…あ…あ

そうさちゃんと
できるじゃないか
なにもむずかしい
ことはないんだ

おれはほんとは
無理強いしたくは
なかったんだよ…
…わかってくれよな

おいアーティ帰るぞ
帰るってスラッシュ
医者に行かなきゃよう

大丈夫さ たいしたこたない
でもよう 血がでてんじゃ ないかよう
うるせえぞ アーティ だまりやがれ！
それより今夜の ことはだれにも しゃべるんじゃねえぞ
わ…わかってるよ スラッシュ……
大丈夫かい？ウィル
うん…だけどきみも ぼくのせいでさ…
きみは親切に してくれたもの それにこんなことは 初めてじゃないんだ
え…？
だけど…きみは つらかったろうね…
ああ…レズリー…

翌日
明け方近く
レズリーは
街を
出ていった……
神父さん…レズリーは
何かいってませんでしたか?
騒ぎをおこしたく
ないから…と…
彼はよく働いて
くれたのに…
レズリー……
おまえを捨てて
逃げだしたんだよ
なあウィルやつの
ことなんか忘れて
飲もうぜ
親父よ
ミルクくれ
なんだって
いい若いもんが…
酒をやれよ
レズリー…どうしてぼくを置いてったんだ…
いや舌に
しみんだよ
ああ とっ組合いで
切ったって?
おおかた性悪女でも
相手にしたんじゃ
ねえのかい
そ そんなんじゃ
ねえよ
どうしたんだ
内へこいよ

ダッ
あ…
ちくしょう！
なんだってんだ
ガシャーン
ぼくに…？
だれだろう…
レズリー！
急に出ていって
ごめんよ
ぼくは今
ニューヨークに
いるんだ
酒場で働いてる
部屋も
みつけたし
きみもおいでよ

なんでもっと早く来ないんだ
今夜はここのおやじいないんだ
やめて！
いったいどうしたってんだ？
なんだこれは？
あ…それは…
そうかこういうわけか…
いいかウィル逃げようなんて思うなよさもなきゃこいつをバラすからな！
わかったな！

………
忘れないように
こいつはあずかっとく
あ…
さあ服を
脱ぐんだ…
手をつけ
ドカ
う！
足を開け

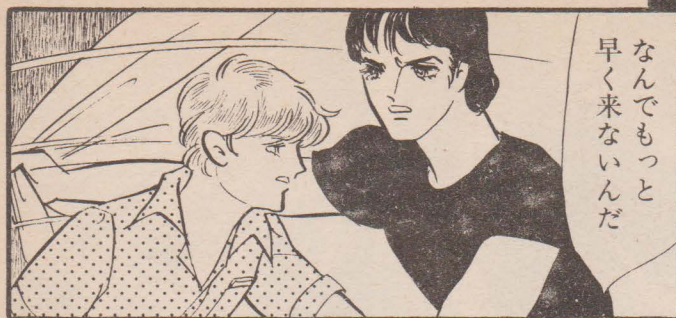
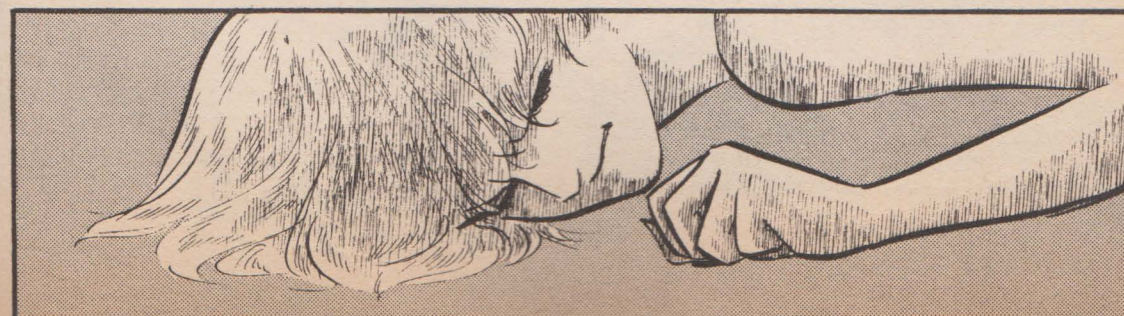
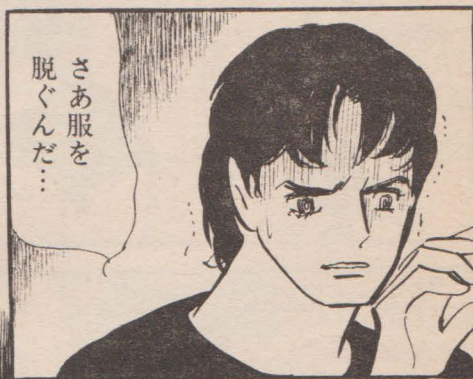
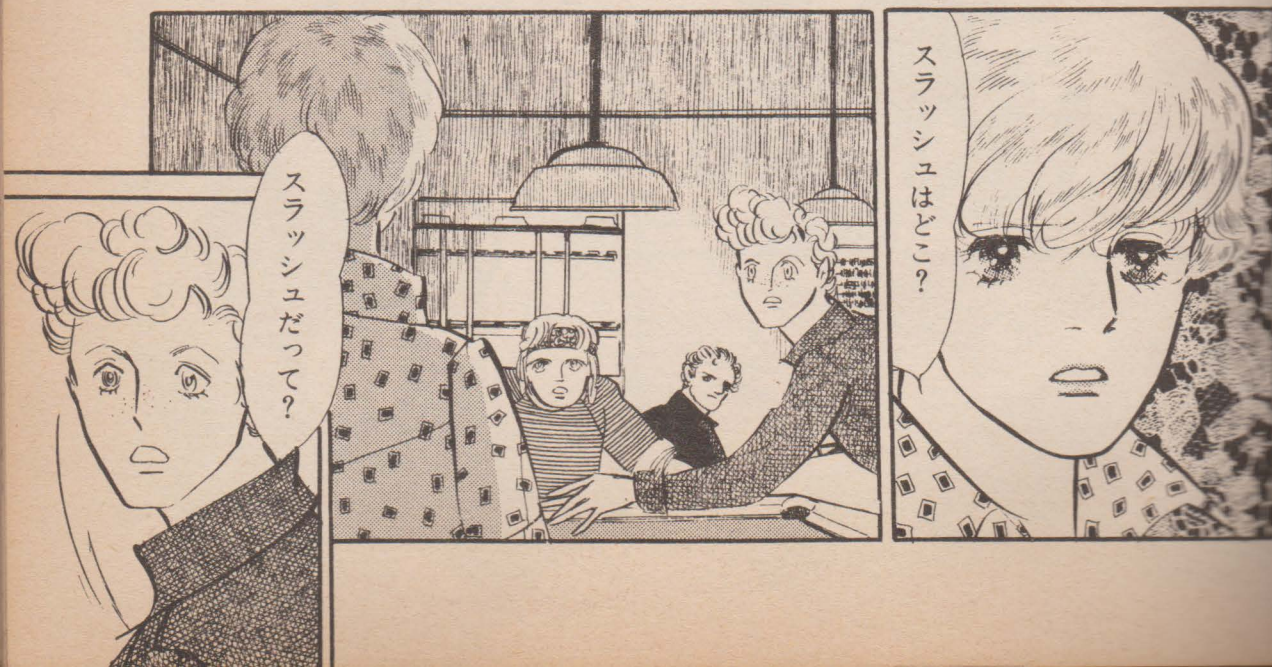
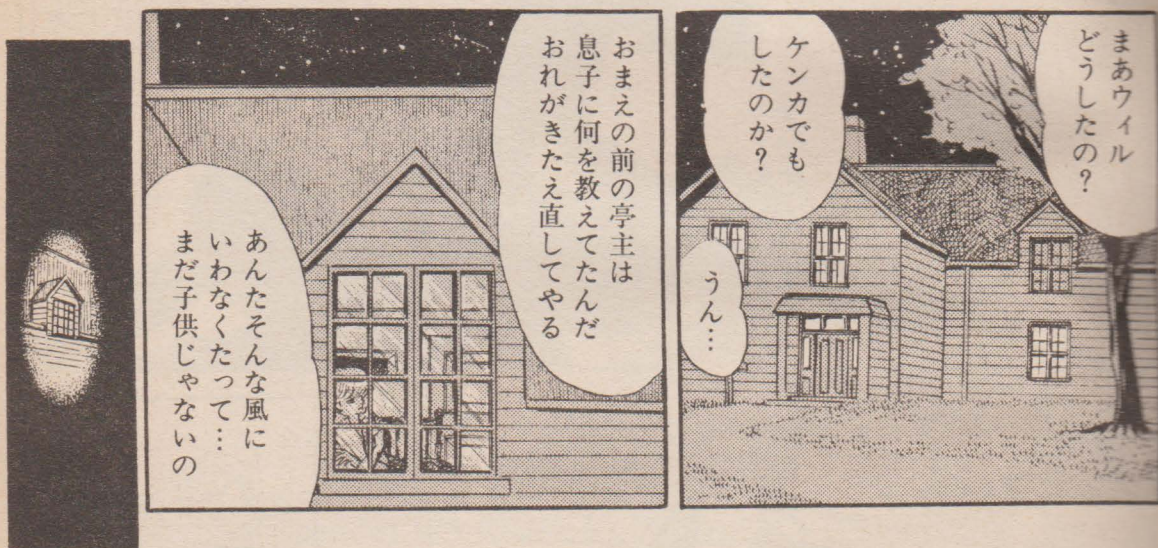
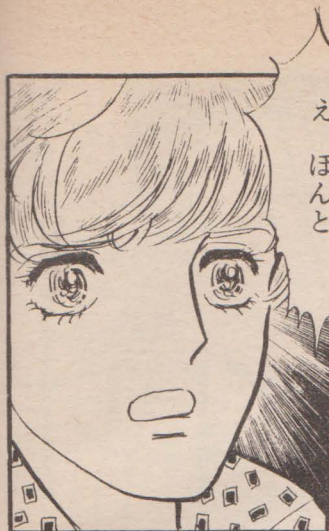
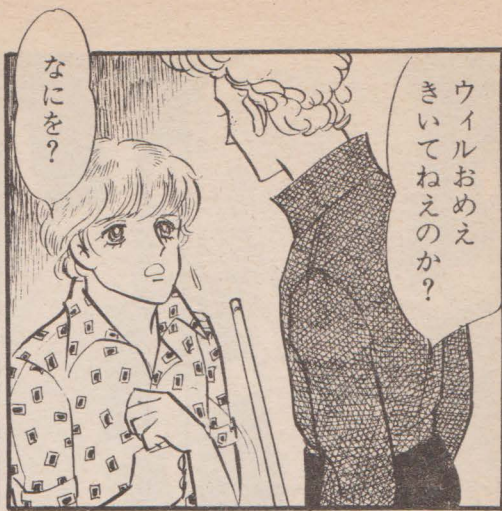
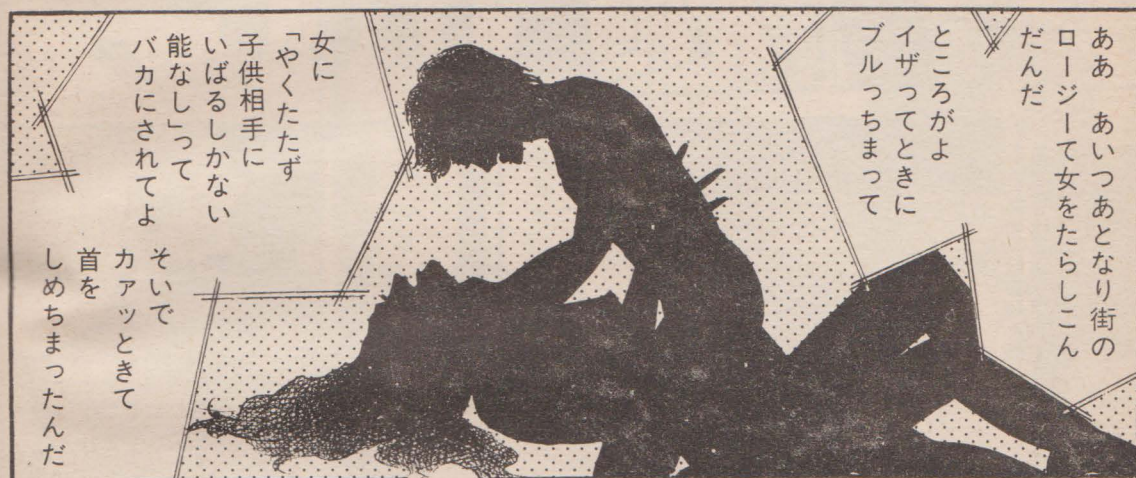
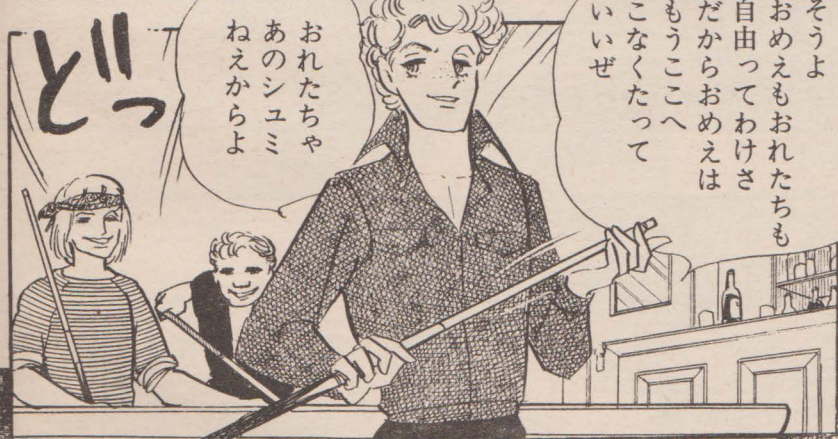
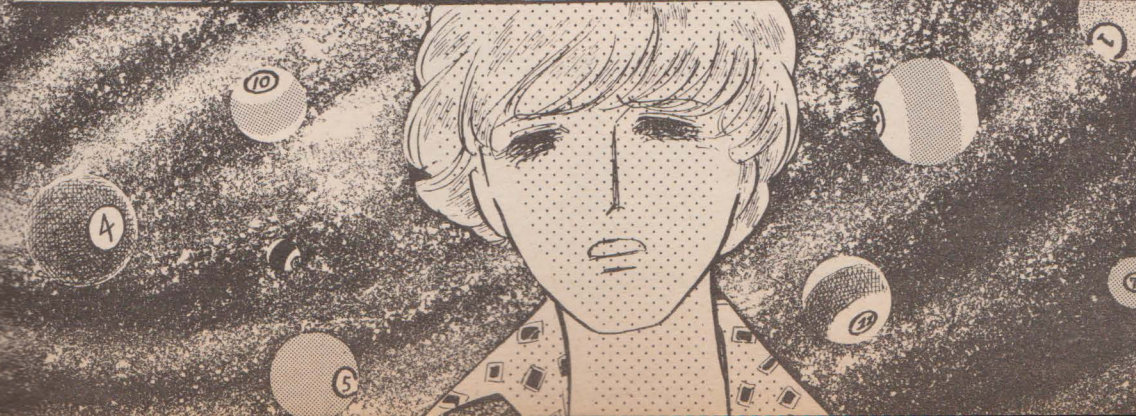
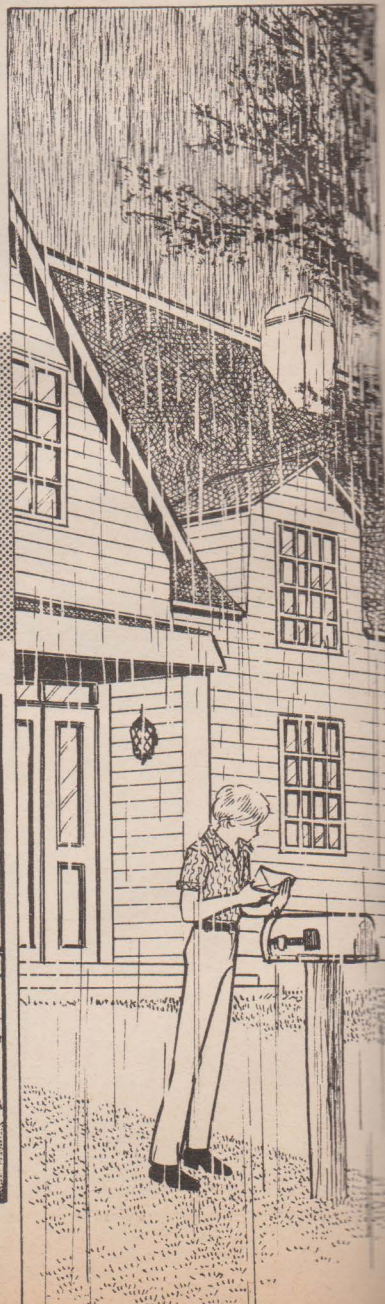
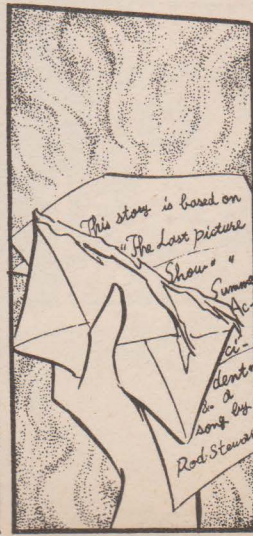
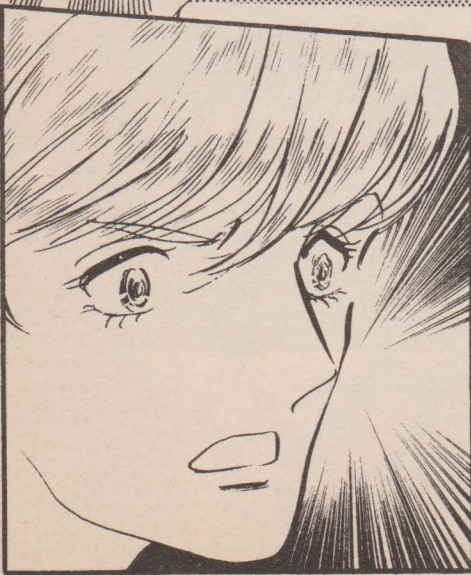
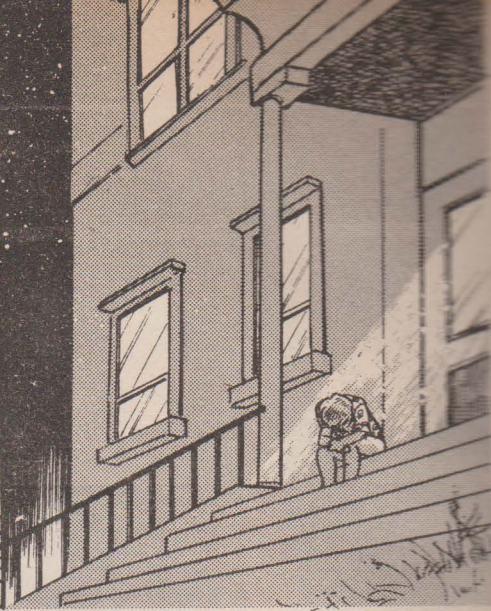
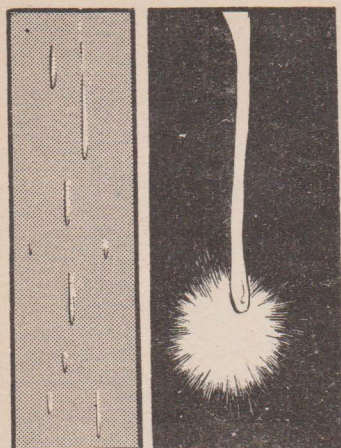
ガクッ

ああ…レズリー
ぼくは
どうしたら
いいんだ…

まあウィル
どうしたの？
ケンカでも
したのか？
うん…

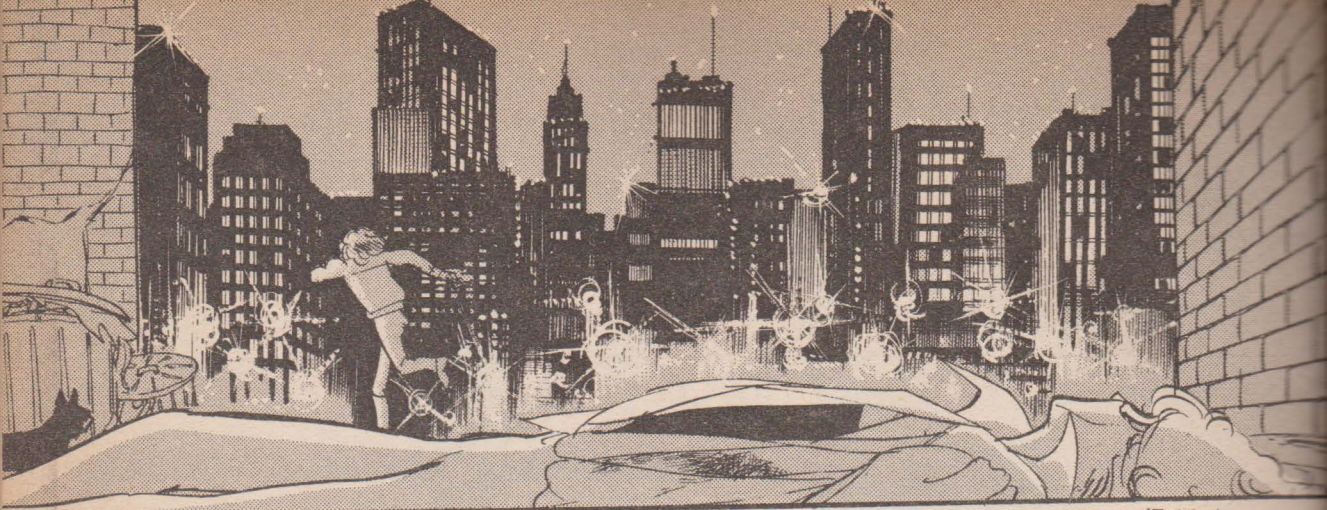
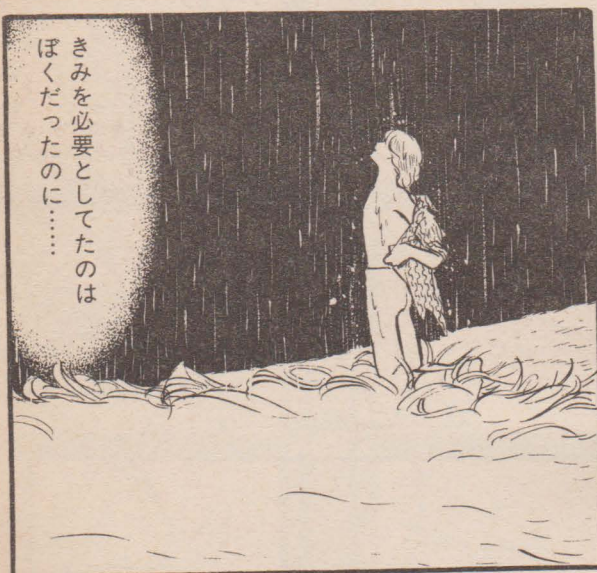
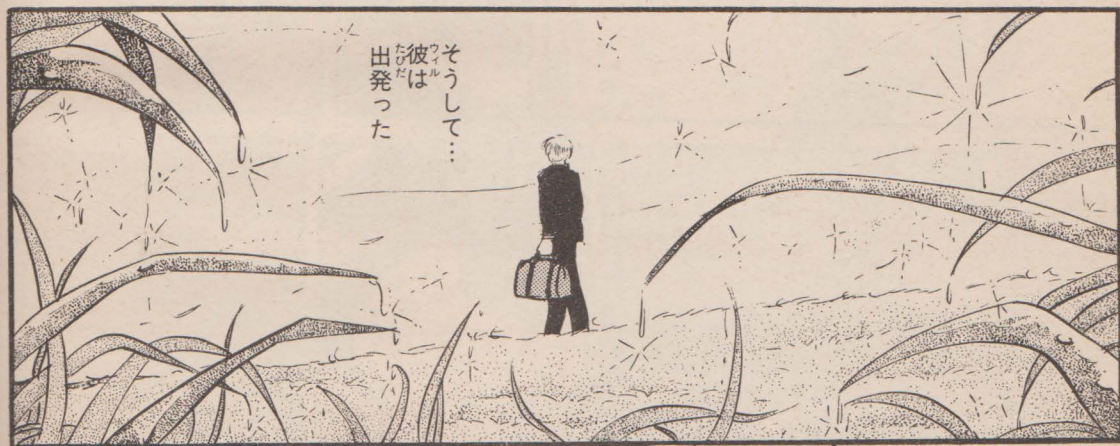
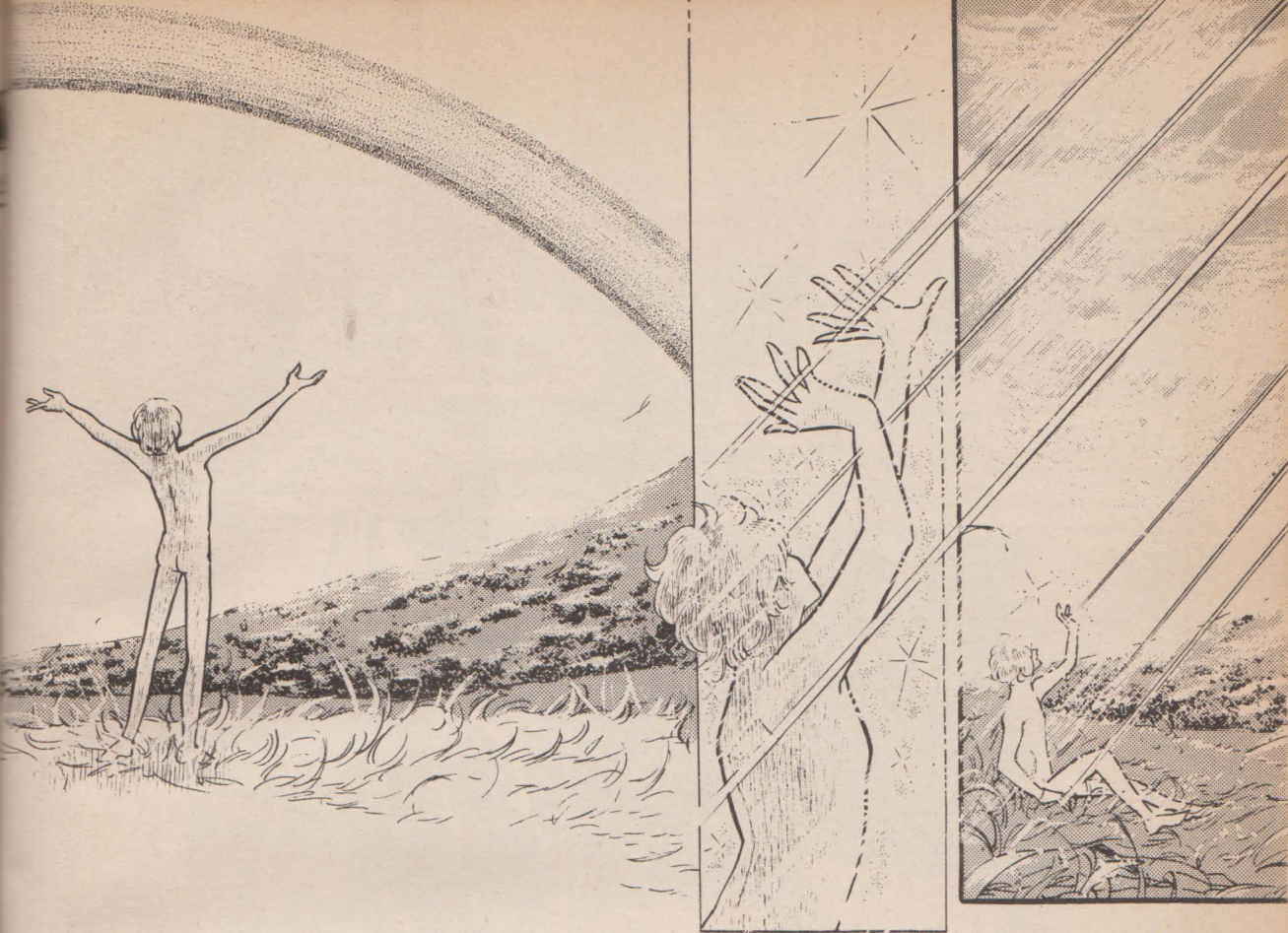
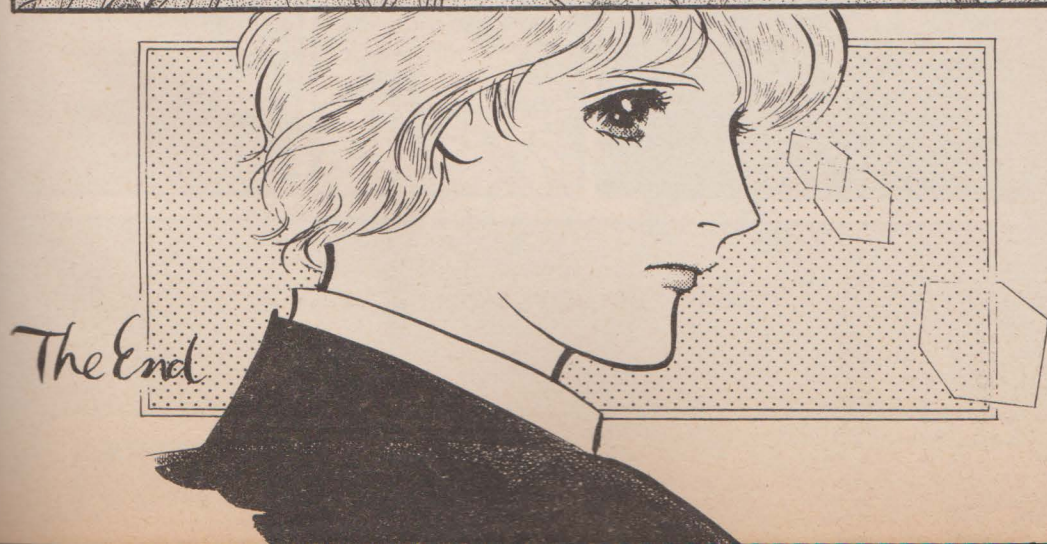
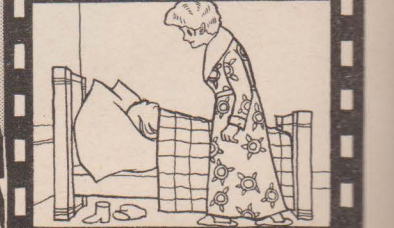
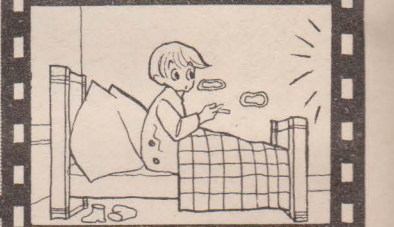
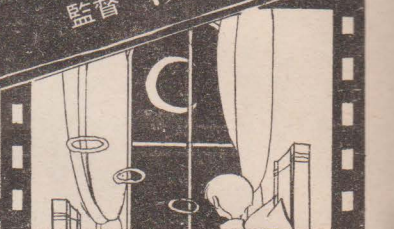
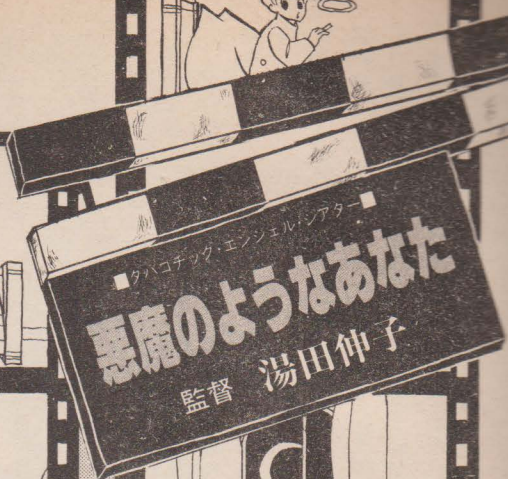
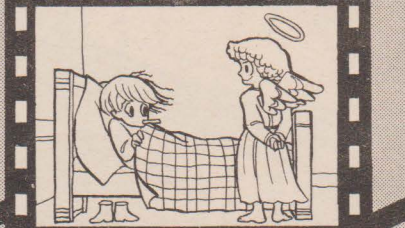
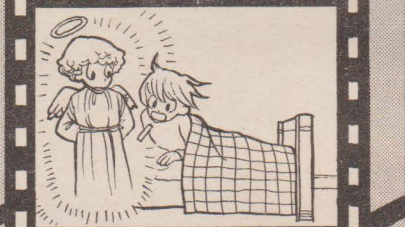
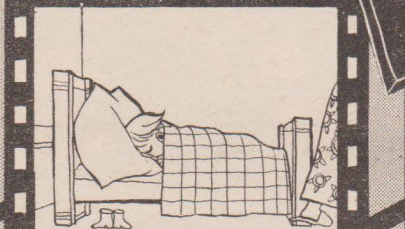
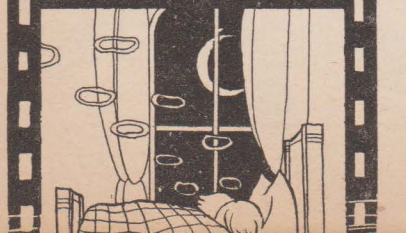
おまえの前の亭主は
息子に何を教えてたんだ
おれがきたえ直してやる
あんたそんな風に
いわなくたって…
まだ子供じゃないの

スラッシュはどこ？

スラッシュだって？

ウィルおめえ
きいてねえのか?
なにを?
やつは昨日少年院におくられたよ
え ほんと
ああ あいつあとなり街のロージーて女をたらしこんだんだ
ところがよ イザってときにブルっちまって
女に「やくたたず 子供相手にいばるしかない能なし」ってバカにされてよ
そいでカアッときて首をしめちまったんだ
なんだって…じゃあ…
そうよ おめえもおれたちも自由ってわけさ だからおめえはもうここへこなくたっていいぜ
おれたちゃあのシュミねえからよ
どっ

ああ…
SPRINGSt.
SOHO NYC
レズリーの字じゃない!
This story is based on
"The Last picture Show"
a song by

レズリーが死んだ!?
彼はお客を楽しませだれからも好かれていた
だが彼の想うのはただ一人…
レズリーはウィルを待っていた…
ある日彼は給料をもらい帰る途中に…
これはだめだ友達をよぶ大切な金なんだ
そんなことおれの知ったことじゃねえ
David Hockney
ウィル…?ああ…ウィル

ああレズリー!
ぼくが早く
行ってあげたらな……
きみを必要としてたのは
ぼくだったのに……
ピピピ..

そうして…
彼(ウィル)は
出発(たびだ)った
The End

■タバコチック・エンジェル・シアター■
悪魔のようなあなた
監督　湯田伸子

棘（とげ）

〈展覧会の絵より〉

神谷敬里

illust 石原豪人

僕はずいぶん長いこと、小野寺さんのことを恐がっていたのだ。

小野寺さんは町の一等良い場所に、広い、古い、陰気な邸を構えている家の長男で、帝大生か、帝大に入るために勉強をしている人かであるらしかった。僕がもっと小さい時は、小野寺さんの家の生垣の穴から入りこみ、泉水と石燈籠のある素晴しく広い庭で、同い年の悪童どもと見つかったらつまみ出されるのを承知の上で遊んだものだが、進伍さんと母さん達の呼んでいた、その一番上の息子が、どこか遠くの方の高校から戻って、いつも家に居るようになってから、母さんは、僕が小野寺さんの邸にもぐりこむのを見つけると、必ずひどいお仕置きをくれるようになっていた。

その理由としては、母さんは、あの家に近づいてはいけないのだ、上の坊ちゃんには決して近づいても、話をしても、まして手をさわったりしては絶対いけない、ときつくいうばかりだったので、僕たちは、進伍さんが実は癩病なのだ、とか、人を殺してきたために気が変になってしまったのだ、などという噂をしあい、そのためにひどく進伍さんを怖がるようになった。

進伍さんの家の、長男が帰ってきてからいっそう暗く、忙しげに、湿っぽくなったようす、ひる日なかから黒い長いマントをきてふらふら出歩いている彼の痩せて異常に青白い顔、などが、いっそうその噂の真実らしさをたかめ、僕たちに彼を怖がらせた。

「――馬鹿云ってらぁ！」

金物屋の倅の吉ちゃんは、しかし、僕たちの、そういう子供っぽい噂をさげすみ、威勢よく足をぶらぶらさせながら、腰かけている用水桶の上で、僕に教えてくれたものだ。

「小野寺の跡取りは、癩病じゃないんだ。まあちゃんにだけ教えてやるけどさ――俺知ってんだから。あいつ、赤マントなんだぞ！」

ちょうどそのころ、学校帰りの中学生や女学生をおそう《赤マント》という怪人物の噂が、野火のように蔓延していた。それは、ひどく刺激的で心をひく話だった――吉ちゃんは僕の耳に汚い口をおしつけて、小野寺の跡取りがいつも着ている、真黒な大きなマントの裏っかたは、表からでは全然わからないが目もさめるほど真赤な「ほんとの赤マント」なのだ、その怖いくらい痩せた帝大生――だか未来の帝大生は、赤マントに化ける衝動にかられると、夜、こっそりと闇にまぎれて忍び出て（僕らが侵入するのにいつも使っていた生垣の穴からだ）誰もおらぬところでそのマントをうらがえし、鮮かに赤マントに変身すると、そのマントの中に目をつけた子供を掠いこんで、家につれかえり、「恐しいこと」をさんざんした上で血を吸って殺してしまうのだ、と力説した。

「だから、お前、小野寺ん家の庭に入っちゃいけねえっておっ母が云うだろう。あれは、お前、あそこにはいーっぱい、死人が埋まってるからだぞう」

僕は吉ちゃんの話をすべて真にうけ、翌日から、進伍さんの姿をみるなりあわてて路地にかくれた。そうしながら、その烏のように不吉に真黒な姿、黒いズボンに朴歯の下駄を鳴らし、手にレクラム文庫をもち、ときどき背をまるめてごほごほと咳込みながら歩いてゆく、彼の姿が、路地の前をこともなく通りすぎて消え去ってしまうまで、両手でおさえつけた胸の中で心臓がいたいほどどくどくと高鳴っているのを感じていた。

もちろん、それは僕がずっと小さい、ほとんど赤ん坊といっていいくらいの年だったころのことだ。だが、そのあともずっと、進伍さんは帝大に入ったのか入らないのか、同じ高校生のなりをして、道を歩いていたし、それをみるたびに僕はやっぱりひどく怖しくなって「赤マント」の話を心によみがえらせた。進伍さんの唇が異様に赤くて、血の気のない青い顔とひどく鮮かな対照をなしているのも、進伍さんの声をきいたことのある人、というのが町内にほとんどいないことも、

僕のひそかな恐怖を根づよくして、僕は母さんにも云えなかったけれどもときどき夜ごとの悪夢のなかで彼が――あざやかな、唇と同じ色の「赤マント」をまとった彼が逃げまどう僕を追いかけまわす恐しさにうなされた。

相変らず母さんは僕に口癖のように、小野寺さんの家に行ってはいけない、と云いつづけていたが、云われなくても、僕がその生垣をくぐることは決してなかっただろう。古びた、昼間でもうすぐらい家と、だんだんいろいろな道具を、売りたてをしたり、伜がきて運び出したりしてがらんとしてゆくその中のようすとは、進伍さんの、しだいに痩せほそってゆく、幽霊めいたようすとともに、じゅうぶん僕の好奇心をかりたてはしたけれども、しかし僕はいつだって良い子で、ほんの少し恐がりだったし、そして、十四歳のれっきとした中学生には、その生垣の穴はほんの少し小さくなりすぎていたからだ。

だが、中学にいくためには、長い坂をまわり道して

ゆくか、それがいやなら、近道だけれども小野寺さんの邸の真正面をとおりぬける、いつもひとけのない通りをとおらなくてはならなかった。ときどき、時間に迫られて、僕は大あわてでおっかなびっくり、近道をかけぬけた。そんなとき、どうしても僕はちらりと、その家の方に怖いもの見たさの目をくれずにはいられなかったが、すると、その古い家の玄関のなかば壊れたガラス戸の中には、古い大きな柱時計がそこだけ白くぼんやりとうかびあがり、そして時として、進伍さんのへやとおぼしい、左手の離れの窓に、白いものがゆっくり動いて、ガラス窓があき、青ざめた唇だけ紅いやせた顔がこちらをむいて、僕はどきりとして逃げ去るはめになるのだった。

僕は今でも覚えている。それは、僕の子供時代、幸福な黄金時代の日々だったのだ。人生の厳粛さにぶつかったとき、人はもう無邪気な子どものままでいることが二度とできなくなる。僕にとって、人生は、ひそかに十四歳の僕が幼い日の名残りのように怖がっていた、進伍さんの姿をとって、まずあらわれてきたのである。――――

「どうしたんだい」

声をかけられて、僕はとびあがった。その日はどうやら、僕には三隣亡にあたっているらしかった。どうしても、当番なので登校しなければならぬ日だったのに、その日に限って、ひどい腹痛がおそってきた。ようやくおさまって、母さんをふりきって、二時限からでもとにかくゆこうとズックの肩掛け鞄をかけ、下駄をつっかけてとびだしたまではよかったが、近道をしようと通った、小野寺さんの邸の丁度前あたりで鼻緒が抜け、駆けていた僕は、勢いよくつんのめってしまったのだ。

石でひどくぶった膝と肩はじいんと痛み、頭はかっと火照っていた。だが、声をかけてくれた親切な人に大丈夫ですとこたえようとふりむいたとたん、僕はきっと真青になっていただろう。

進伍さん――「赤マント」がそこに立って、心配そうにのぞきこんでいた。マントではなく、白っぽい着物の着流しに、兵児帯を低くまきつけた彼は、いつも道で見かけるよりもいっそう血の気がなく、いっそう痩せていた。

僕がきっとあまり怯えたようすをしたからだろう。進伍さんはなだめるように笑ってみせた。だが、僕は笑うどころではなかった。

十時を少しまわったくらいの晩秋の朝は、空気がひんやりして、通りかかる人もない。誰も通らぬ道で彼と二人で向きあっている、と思うことは、古い「赤マント」への恐怖をよみがえらせ、昔の悪夢がやにわによみがえったおののきに、僕の頭の芯からは血が引いていた。

「ぼくは、君を知ってるよ。青江さんのところの坊やだろう。――――」

安心させようとするように、進伍さんは云いかける。僕はいっそう恐しくなり、恐怖が痛みを麻痺させたので何とか立って逃げようとしたが、しかしとたんに、打った膝ではない足のさきの方から、異様な刺すようないたみがつらぬき、あッと声をあげて、こんどこそそこにうずくまってしまった。

「君、大丈夫か？　歩けないの？　怪我したの？」

進伍さんはうろたえたように云いかける。進伍さんの声をきくのははじめてだ、と僕は気がついたが、しかし、足のさきからじんじん、ずきん、ずきん、としだいに大きく熱く脈うついたみは、僕から他のすべて、「赤マント」への恐怖さえも二の次にしてしまっていた。

「こりゃあ、だめだ。手当てしてあげるから、家へお出で。ちょうどそこだから……」

母さんの、小野寺さん家だけは足をふみいれてはいけない、という声がよみがえり、僕は手をふった。しかし、進伍さんの案外にしっかりと力づよい手が、もう、僕の脇にまわり、僕をかかえあげていた。それにあちこちが泣きたいくらい痛かった。僕は抵抗を諦め――気がつくと、僕は、そっと畳の上におろされるところだった。

足がじんじん痛んで他のことが考えられないくらいだったが、それでも僕は興味をひかれた。それは僕がはじめて入る、小野寺さんの家の内部で――進伍さんの離室の中で、そしてはじめて見る、大学生のへやだった。そこには、昔吉ちゃんと僕が想像していたような、子供を切り刻んだり火であぶったりする道具や血を絞りとる器械、大きな包丁と鋸なんかまるで見当らなかった。ただそこには万年床が敷き放しになり、

埃とかびくさい湿気の古家特有の匂いが、古い本のたくさんあるむしろ快い匂いと混りあい——そして、本、本、本、とにかくそれはなんというたくさんな本だったろう。

その大半は、僕には難しくて何のことかわかりもせぬ、独逸語や英語の厚い本で、それに僕の見たこともないような、「法学」とか「哲学原論」とかいう金文字の背表紙に見える分厚い本だった。赤マントは、これをみんな読んだのだろうか、と僕は思い、少し彼を尊敬する気持になった。

彼の細い、強い手がしっかり僕の裸足のつまさきをつかんでいた。

「こりゃひどい」

彼は云い、眉をしかめ、もう一方の手で垂れてくる前髪をかきあげた。

「大きな棘が刺っちまってる。ちょっと我慢できるかい、痛いけど抜いてしまわないと、どんどん這入っちゃうから」

彼はかきあげてもまた垂れてくる前髪のあいだから、案外なほど澄んだ、美しい目で僕をみて、そうしてかすかに笑った。

「我慢できるよな。男の子だから」

僕は何も云わなかった。どっちみち、云えるような気分ではなかったのだ。だがすぐに僕は彼が抽出しからとりだしたものをみてすくみあがり、小さな悲鳴をあげた。——よくよくとぎすまされた、ぎらぎら光る切り出しナイフ。

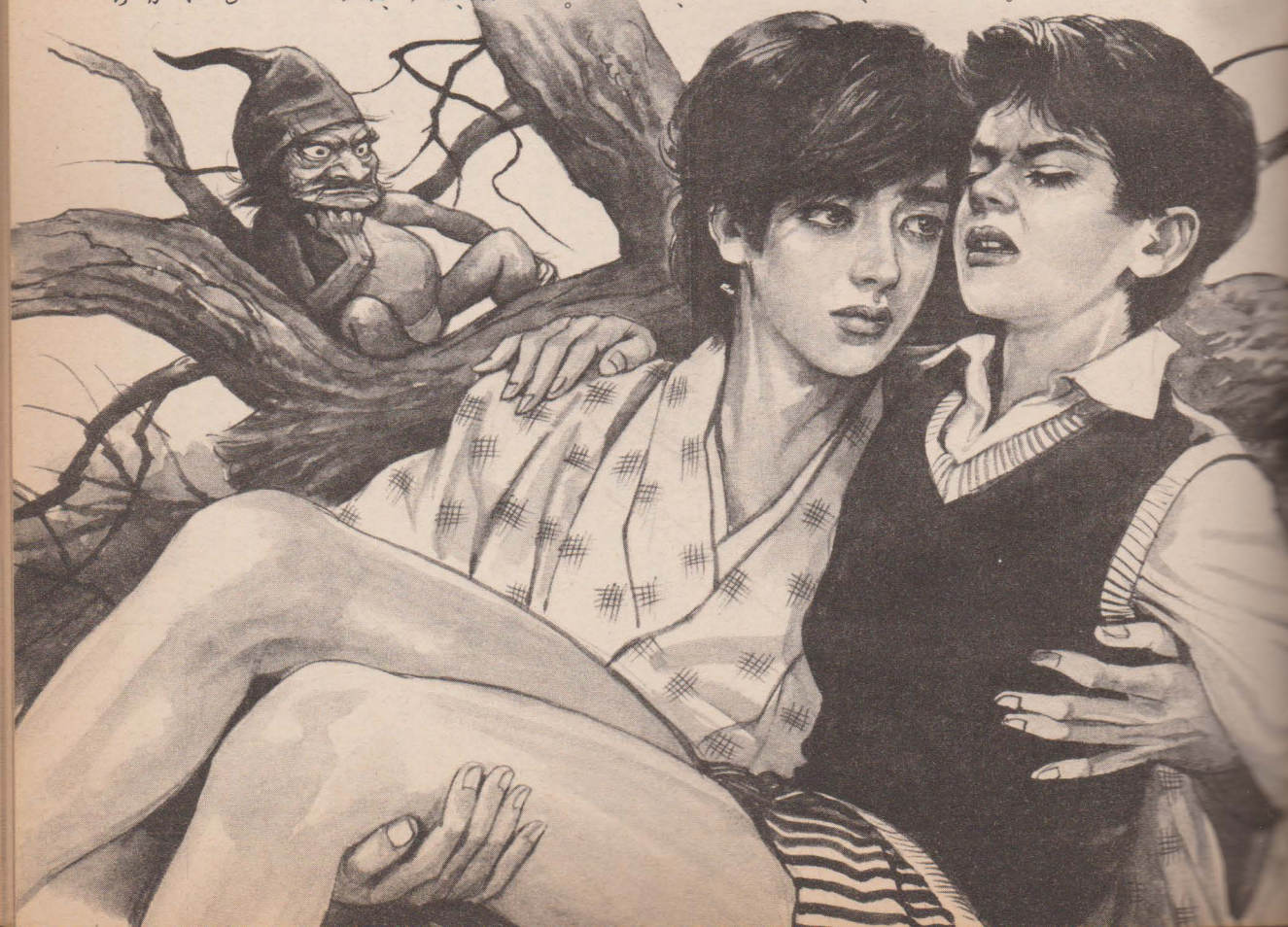
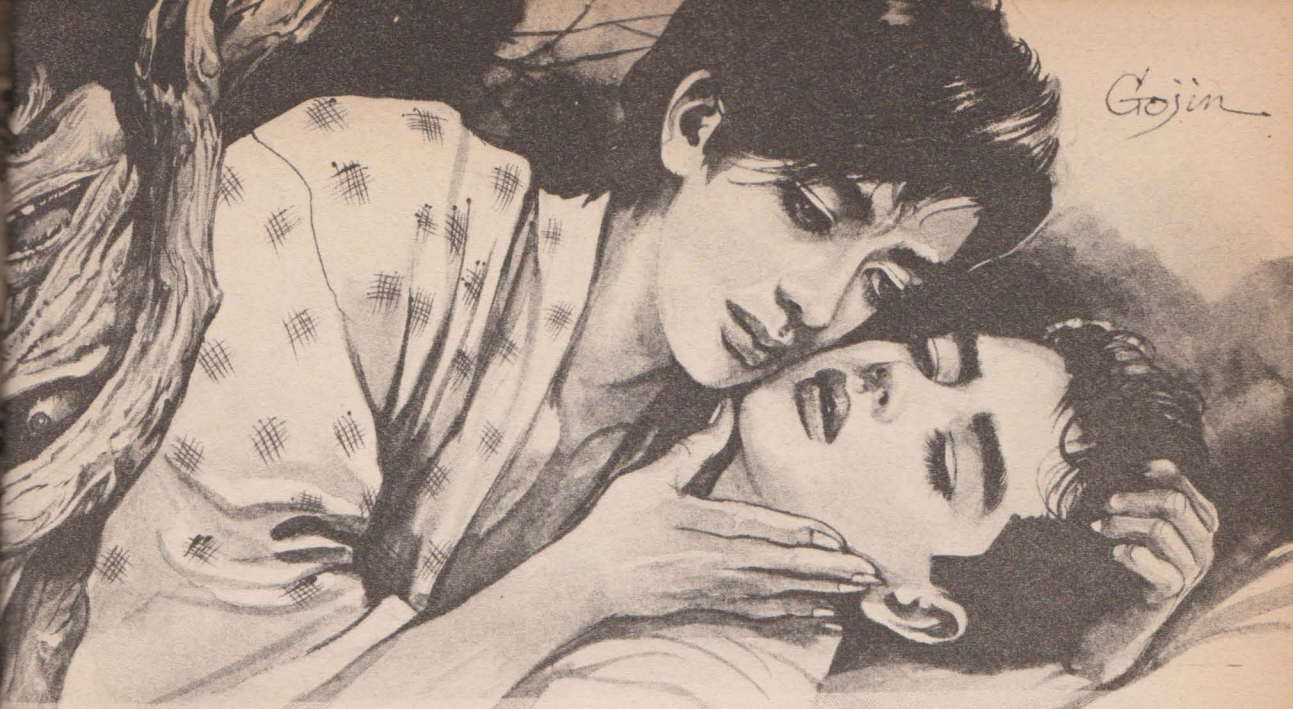
やっぱり赤マントだったんだ——その思いに僕の頭はしびれた。僕は赤マントにつかまってしまった。赤マントは、中学生を家につれこむと、いろんな「恐しいこと」をした上で、血を吸って殺してしまう。と吉ちゃんは云っていなかったか？「恐しいこと」という意味は、彼のほのめかす半分も、僕にはわかりはしなかったが、そのナイフをみていれば——僕は「やめて！」と悲鳴をあげ、しかししんと静まった母屋の方から、こちらに誰ひとりやってくる気配もなかった。

「我慢するんだ。すぐおわるから」

赤マントは叱りつけるように云い、僕の足をつかみ、しっかり押えつけた。

灼けるような痛み——そして、もぎはなそうとする僕の踠きを封じている、彼のつよい手の力——だが、真の驚きは、そのあとに待っていた。彼は、僕の足を切りさいたナイフをすてた。足のうらから、血が流れはじめていた。彼はそれを目をすがめて見つめていたが、いきなり僕の足を両掌にすくいあげると、その傷口に、口をつけて激しく吸ったのだ。

（血を吸われる！）

僕は大声をたてようとした。だが、僕の脳に、ふいに痺れたようなもやがかかり、そしてそれは僕のから

だと頭から、すべての力をぬけ出させてしまったかのようだった。足の、じんじんとうずいていた傷が、ふいにそのはれぼったいいたみを失って、すっと楽になった――だが、彼は、唇を、僕の足指から、はなそうとしなかった。彼はそれに口をつけたまま顔をあげ、僕を見た。その目が、かすみがかったようにうるみぼやけていた。僕を襲ったこのわけのわからぬもやと、同じもやが彼にとりつき、彼の目をかすませていたのだ。まるで、自分を何とかしておさえようとするように、彼は首をふり、僕の足指から、口をはなそうとした。

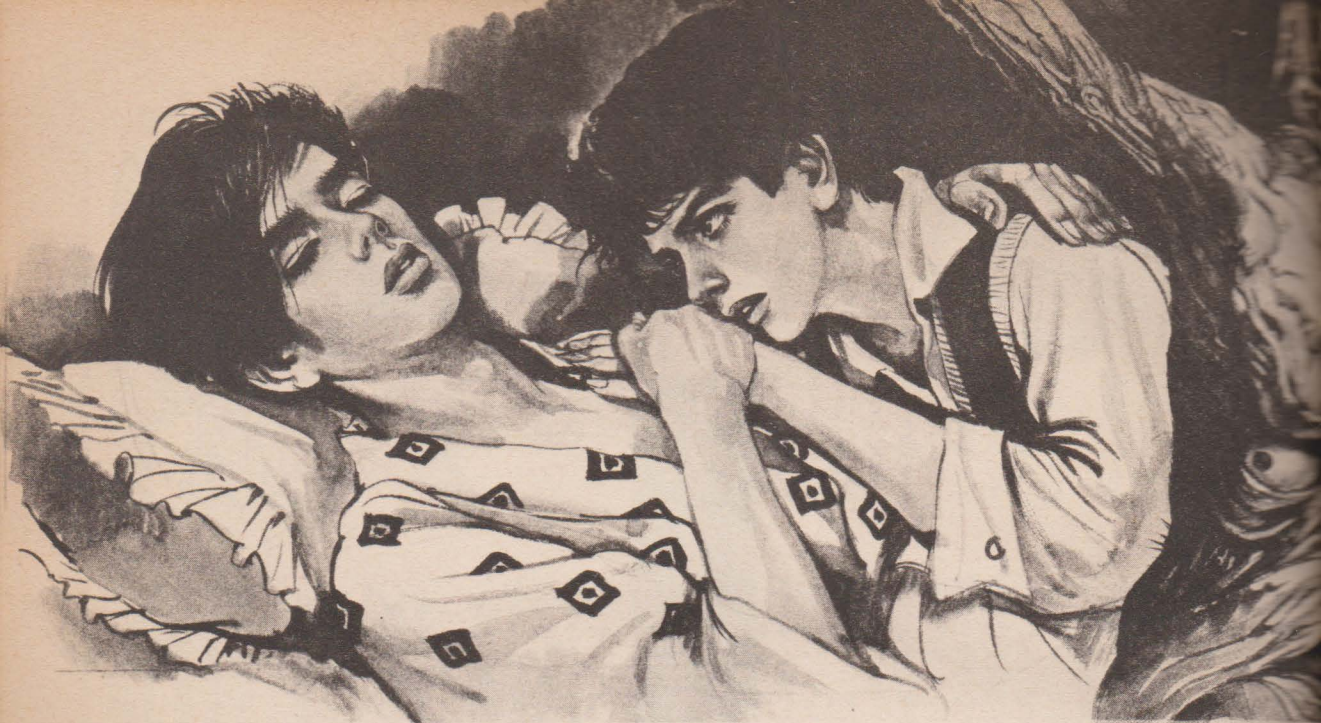
　だが、できなかった。彼の舌が、僕の指の股をとらえ、さぐり、ねぶりまわした。僕の唇からかすれた声が洩れた。彼はまた激しく首をふった。ふいに、僕と彼とは、もつれあうようにして畳の上に倒れ込んでいた。

　彼の上体が僕を巻き込んで床の上におおいかぶさったのだ。僕はふかいふかい夢の中にいるような非現実的な気持になった。ふしぎに、彼の熱い舌を柔かな足の裏に感じたとたんから、恐怖心は僕を去っていた。だが、彼の手が、僕の学生服のボタンをはずし、我武者羅に服をはぎとってゆこうとするのを感じて、僕は抗った。水の底のようなもどかしい抵抗を、焦れて彼はつよい腕で押えつけ、僕の両腕を膝の下に敷きこみ、そして――

　僕は、ふいに、彼の下に敷き込まれたまま、顔をのけぞらして苦痛の悲鳴をあげた。そして、また悲鳴をあげた。だが彼は容赦しなかった。僕の声がとうとう激痛を訴える泣き声にたかまった。彼の唇がおりてきて僕の口をふさいだ。時は僕の上で動きをとめていた。僕は何ももうわからなくなっていた。ただ、自分のからだを頭から、すべての力を……

僕を貫き――そうして、ふいにそれは、貫いたときと同じように急に僕を解放した。僕の身体の上で、進伍さんは身を二つに折り、手を口にあてて、狂ったように――止まりかけた息を呼びもどしたい、とでもいうような激しさで咳込んでいた。咳はいつまでもいつまでも続き、ふいにはりさけるような勢いにたかまったとき――僕は、彼の口をおさえた指のあいだからあふれ出、こぼれおちる、異様なくらいに真紅な濃い液体を見た。それは、僕の、むき出された白いやわらかな腹、まだ何の翳にも汚されていない胸や腋や腹にしたたりおちて、そして僕の白い肌をあざやかな緋の色でふちどった。それは美しかった――そうだ。それは、目を吸いつけるほど、美しくくっきりとしたいろどりをなして僕の身体を汚していた。進伍さんは僕の上につっぷした。その顔は苦痛の涙と――そうして血とにみるもむざんに汚れていた。

　僕のからだはいたみ、奥深いところで熱っぽくうずいていた。しかし、その荒々しいうちのためのいたみよりも、もっと深い、もっと痛切な悲哀に似たものが僕をとらえていた。――たぶんそれが、僕がやすらかで汚れないまどろみ、子供時代の夢に、二度と戻れなくなった、惨酷な別れの一瞬であったのだ。――僕は手をのばして、僕の腹の上で啜り泣いている進伍さんの頭をかかえよせた。そうして、静かに彼の髪をなでた。僕のからだの上で、血は、ゆっくりとかわき、冷たく黒ずみはじめていた。

　進伍さんが手拭を絞って来て、僕のからだをきれいに拭ってくれた。服は荒々しくひきはがされて、少し破れていたが、それはいつものことだったから、どうにでも弁明することができただろう。

は服をきせてくれ、足の傷に薬をぬり、包帯をまいた。女のように、こまやかな、ゆきとどいたしぐさだった。

「済まなかった――でも、許してくれ……僕は、もうじき死ぬんだから。結核だよ。うつしたらどうしよう――帰ったら、よくうがいしておいてくれないか。――僕はどっちみちあと一年とは生きてないから……ひどいことをした、悪い奴だと思っても、それで我慢してくれよ。そんなつもりじゃなかった――ただいつも窓からきみの通るのをみていて……きみはいつもきれいで、バラ色の頬をしていて、とても生き生きしていたから――きみと話してみたかった。友達になりたかった。だのに……」

「いいんです」

僕は云った。

「口をきかないで。疲れるから」

ひどい喀血のあとで進伍さんの顔はいっそう青ざめ、口をきくたびに弱々しく咳いた。僕は彼の背をさすり、布団をかけた。何かしてやりたかったのだ。彼はまもなく死んでしまう。二十歳をいくつも出ない若さで――人は死ぬのだ。だがふつうは、人が死んでもそのひとのしたことは残る。だが、進伍さんは――彼の生きたあかしといっては、ただ僕のからだにいっとき残っているこのいたみ、奥深い傷と僕のからだの上に散った鮮血の色の記憶、ただそれだけでしかないだろう。

「有難う――済まない」

彼は僕の手をつかんだ。「赤マント」の、僕をいつも怖れさせていたよく光る目は、その光をほとんど失ってとじられかけていた。

「こんな詩を――知っているかい。げに君は夜とならざるたそがれの美しきとどこほり――げに君は、酒とならざる麦の穂の青き豪奢。――げに君は夜とならざる――このことばを思うたびに――いつも君のことを思いうかべていた。これできみのことを……たったみたいだと――僕は……」

僕は、彼をひとりのこして、そっと手をはなし、離室をしのび出た。うしろ手に戸をしめようとするとき、ふりかえってみると、彼は寝かせてやった床に仰臥したまま、とじた瞼のあいだから、静かに声もなく、涙を流しつづけているのだった。僕は戸をしめ、そうして外へ――明るい午の光の中へ出た。ようやく時刻はひるをまわり、まだほんの二時間ほどしかたっていなかったが、しかし、その間に、世界は僕にとって、まったくちがったものになってしまっていた。からだの芯にわだかまるいたみもあった――だがそれより、彼のかさねたくちびるから流れこんだものが、僕の胸に彼の病いを静かに注ぎこみでもしたかのようだった。僕は気づいてしまった――世界にひそんでいる《死》に、僕は気づいてしまったのだ。こんな明るい光の中にもそれはいて、人びとを待っていた。僕はもう二度と戻れない。僕の目はやさしい子供にも、愛する人の上にも、その暗いしるしの刻印をみてとってしまうだろう。のろのろと歩きながら、いつか、僕の頬も、流れ出る涙にあつくぬれていた。

進伍さんはそれから一年たたずに死んだ。喀血だった。それからまもなく長男を失った旧家は家をたたんでどこかへひっこしてゆき、そしてまもなく戦火が訪れてすべてを同じあの《死》の色に染めあげていってしまった。

してみると、僕にとっても、「赤マント」のあの暗いやさしい瞳こそ、与えられた、ただひとつの恋の記憶だったのかもしれないのだ。

黄昏詞華館

藤原月彦

一粒の向日葵の種まきしのみに
荒野をわれの処女地と呼びき

桃いれし籠に頬髭おしつけて
チエホフの日の電車に揺らる

昭和二九年、「チエホフ祭」と題された一束の歌稿をかかえて、青森県から上京して来た一人の少年があった。黒い大きな瞳と美しくしなやかな髪を持ったこの少年は、その美貌にも増してあやしく美しい言葉をあやつり、たぐいまれな詩を紡ぎ出す豊かな才能に恵まれていた。

少年の名は寺山修司、御存知『天井棧敷』の主催者で、また数々のスキャンダラスなイベントの仕掛人としてしられる詩人の若き日の姿である。

寺山修司が定型詩に魅せられるようになったのは、まだ十代になるかならぬかの本当の少年時代のことだったというが、すでにその初期歌篇の中に、年上の男性への恋愛以前のほのかな慕情をうたいこんだいくつかの作品が存在していることはたいへんに興味深い。

胸病みて小鳥のごとき恋を欲る
理科学生とこの頃したし

煙草くさき国語教師がいうときに
明日という語は最もかなし

決して化学式のように理詰めでは解きえない不可思議な女心にとまどいながらも、なお「小鳥のごとき恋」にあこがれやまぬ肺病病みの大学生ウェルテルに、この早熟な美少年はおそらく、数学の宿題を教えてほしいというような口実で、言葉たくみに近づいたのだろう。もちろん、少年は、この大学生の恋が、ついに実を結ばぬ不毛の夢花であることを知りすぎるほど知っている。あるいは大学生のたっての願いで、恋文のなかだちくらいはつとめてやったことがあるにしても、キューピットならぬ堕天使候補生たる少年の漆黒の瞳は、ピストル自殺ほども劇的でなく何のへんてつもない縊死で終るはずの哀しい恋の結末を、確かに思い描いているにちがいない。いや、もしかすると、少年が白昼の夢の中で創りあげた未遂の殺意が、妄想に先行して現実の演出をしてしまった故なのかもしれない。

北国の田舎町をひとしきりにぎわした椿事の翌日、少年は大学生の遺品であるチエホフの文庫本を学生服のポケットにいれ東京行きの汽車に乗る。まだ見ぬ都会のまだ見ぬ数々の悪徳とまみえるために——

麻薬中毒重婚浮浪不法所持サイコ
ロ賭博われのブルース

しかし、美貌の悪徳少年寺山修司と短歌形式との蜜月は決して永くは続かなかった。

昭和三〇年、若冠二十歳にして早稲田大学を中退した寺山修司は、短歌ばかりにとどまらず、詩、エッセイ、戯曲、小説、シナリオ、映画、ミュージカル、放送作品等、およそありとあらゆる表現ジャンルを駆けめぐり、おしげもなく才能の乱舞をくりひろげる。そして少年愛という主題もまた、このマイダスの指さきから産みだされる黄金の果実に、悪徳というかけがえのない芳香を授ける呪文として、さまざまに意匠を変えながら封じこめられることになる。「田園に死す」のヒーローの白塗りの童貞少年も、「中国の不思議な役人」のヒロインの少女娼婦も、未分化の、否、むしろ分化することを拒んだ性のカオスの中で、確かにありえなかったかも知れない未来の、そして、ありうべきはずもない過去の存在証明にほかならない。

サ・セ・パリも悲歌に数えん酔いどれ
の少年と一つのマントのなかに

わが内の少年かえらざる夜を秋菜
煮ており頬をよごして

わけもなく海を厭える少年と実験
室にいるをさびしむ

ねむりてもわが内に棲む森番の
少年と古きレコード一枚

木菟の声きこゆる小さき図書館に
耳きよらなる少年を待つ

歌集「空には本」に収められた〝少年〟と題する一連である。

ここには、ささやかな罪を語ることによって、たとえば、祖国、たとえば、党といった強圧的な情動から懸命に身をかわそうとしている傷つきやすい魂の叫びが確かに在る。そしてこの魂はしたたかな仮面の下で実は誰よりも世界と個人にとっての誠実さを貫いているのである。

「もしも友情か国家かどっちかを裏切らなければいけないときが来たら、私は国家を裏切るだろう」

フォスターの言葉をエピグラフにした、寺山修司最後の歌集「テーブルの上の荒野」には、男と男の間の永遠の罰にも似た友情を歌った次の一首がひっそりと置かれている。

中年の男同志の「友情論」毛ごと
煮られてゐる鳥料理

カット/ひさうち・みちお

世界JUNE文学全集

日本篇

監修／あかぎはるな

前回の「JUNE文学リスト・世界編」に関しては、たくさんの方からいろいろなお便りやご指摘をいただいた。どうも有難う。ただし、念のために申しあげておくと、これはあくまでも不完全リストであってJUNE文学のすべてを網羅したつもりははじめからない。当然見おとしたもの、抜けおちているものがあるはずである。読者の方にもそのつもりでこれをベースにしてそれぞれの「完全リスト」を作成していただきたい。

今回の日本編の作成にあたっても、時代的な限界をどこにおくかはずいぶん迷った。世界編でプラトンやペトロニウスを入れているので、本当は古典が入っていてもおかしくないのだが、しかし、ここに「万葉集」や「雨月物語」が入ってくるのは、少しとりとめがなさすぎるような気もする。そこで、今回は編集部と相談の上、文語体のものは、明治を境界として一切カット、西鶴や秋成や今様についてはいずれあらためて「古典編」をもうけて解説する、という原則をたてることにした。

あと、「第二書房」の扱いにも少々困った。いただいたお便りの中で、第二書房のホモ文学全集などは除外してくれ、というものと、まだこれがある、という指摘がちょうど半々ぐらいだったからである。ことに日本編にはそれが大きいと思う。しかし、これも検討の結果、例によって「E」ランクをつけてのせておくので、そういうものはJUNE文学ではない、とお考えの方はあらかじめ頭の中でそこだけぬりつぶしてからお読みいただきたい。（本当にベタをぬ

日本JUNE文学全集

＊　＊

A～Eまでのランクづけは例によって同じ。さて、日本編であるが、さすがに「必読」のAランクが多くて感動する。

稲垣足穂、森茉莉、三島由紀夫、赤江瀑、このあたりには説明など不要。「少年愛の美学」も「枯葉の寝床」も知らぬ人間なら「コミックJUNE」を読む必要もないしましてJUNE文学リストなんか何のことだかわかるまい。

むしろこのへんで面白いのは思いもかけない人が森茉莉の愛読者であったりすること。「紫の履歴書」が特Aお勧め品の美輪明宏が「枯葉の寝床」を西武劇場でやったり、結婚式は森茉莉さんの小説のように——などと云っているのは当然、というものだが、11月25日づけの「クロワッサン」で、昨今「JUNE」の近辺で何かと噂になるプロデューサー、久世光彦が「美少年の秋」というエッセイを書き、その中に森茉莉の小説が出てくるのにはあッという。久世光彦という人は驚くべき人で、石原信一「ザ・スター沢田研二」という本の中では沢田研二に

対して熱烈なラブ・レターをよせているのだ。

テレビ人間、というのは、ホモに興味をもつ、という何か因果関係があるのだろうか。もと12チャンネルのプロデューサーだった田原総一朗も「テレビ・ディレクター」という本の中で一行だけ、あまり関係のないところに物凄い少年院のホモの話をいきなり書いていて何だと思っていたら、「第三の性」などでは大々的にそのへんをルポしている。もっともこれはまるっきりJUNE的でなく、もっとドロドロしているからBにした。美少年にチンチンがあるなんて耐えられない、という人は卒倒するような、オッサン同士の話だから読まないこと。

中井英夫「虚無への供物」。死ぬほど長いが、いきなり、美少年がサロメに扮して踊っているシーンからはじまる。日本のいわゆる「変格」探偵小説はJUNEの宝庫だ。乱歩なら、全編JUNE的ムードにおおわれ、二人でとじこめられた洞屈の中で年上の、主人公に横恋慕していた美青年がやにわに主人公の少年におそいかかってくるシーンまである「孤島の鬼」、明智小五郎が犯人の美青年に恋をしてしまう「暗黒星」、何とはなしにいやらしげな「闇に蠢く」などなど。

正史はご存知「真珠郎」「仮面劇場」「犬神家の一族」。ただし正史は美少年は出てくるが　シーンは趣味じゃないらしい。「真珠郎」を女がやってしまうあの発想（テレビの）、あれは許せない。乱歩が八歳年下の正史に本当に恋していて、「岩つつじ」と署名して色紙を送ってきた、という話、すでにご存知だろう。「探偵小説昔話」に「乱歩

二作「花影の家」。ホモを正面から扱い、あまりに陰惨だったのでまったく売れなかったとか。去年の乱歩賞の梶龍雄「透明な季節」も、配属将校が生徒の少年に恋する話。今年の乱歩賞の栗本薫が「幻影城」に連載中の「絃の聖域」が二人の美少年のそ、う、い、う話であるのは、栗本薫=中島梓、であることを考えればむしろ当たり前。菊村到「誰かが見つめている」ゲイボーイ殺人事件だがあまりJUNE文学とは云えない。

五木寛之がいい。「戒厳令の夜」には熊本弁の大男のオカマ、「にっぽん退屈党」にもゲイボーイが出てくる。「わが憎しみのイカロス」は必読。永六輔、小沢昭一、このあたりは少なからず興味をもってはいるのだが、その興味のもちかたが「うすぎたないオカマ」の方へ行くので困る。しかし「私は河原乞食・考」ぐらいは読もう。「極道まんだら」の「男千人切りの・曽我廼家桃蝶サン」の章はすさまじい。この人は実は「芸に生き、愛に生き」という自伝を出しているそうで読みたいのだが手に入らない。

宇能鴻一郎も、「あたし、感じるんです」で女好き小説の代名詞になってしまったが、ひと昔前には「魔楽」「切腹願望」など、迫力のある美少年小説を書いていた。「切腹願望」がベスト。切腹というのは特有のファン層を(!)持っていて、中康弘道のような「切腹評論家」が白虎隊の切腹なんかを微に入り細をうがって書く。興味のある向きはどうぞ。

阿久悠。何も関係ないのに、突然、ゲイボーイが出て来て男に犯されるシーンがある。なぜ? 西村寿行には大笑いする。この人は女でも「うしろから」でないと面白くないんだそうで、ついに「帰らざる復讐者」では男まで犯されてしまった。アナル・フェティシストなのだ。

大江健三郎は稲垣足穂にいわせると「知的ゲイや。裏門あけっぱなし」だそう。「遅れて来た青年」「人間の羊」など、……のがしてはなるまい。

都筑道夫もおかしな人だ。「なめくじ長屋捕物さわぎ」には、オヤマというオカマが出てくるし、「神州魔法陣」にはなんと弁天小僧菊之助が登場。

清純な読者のためにもっと清純な話をしよう。堀辰雄「燃ゆる頬」、福永武彦「草の花」、北杜夫「幽霊」知的ゲイだのアナル・フェティシズムのあとでこのへんにくると本当にほっとしたりして。香り高くういういしい、心に残るJUNE文学の名作。

しかし、さすが、というべきか。水上勉「男色」になると、出てくるのはゲイバーづとめのプロ・オカマだが、しかしふしぎにイヤらしい感じはちっともなく、しみじみと心に残る。塚本邦雄も本格好みの香り高い作品を書く。レオナルド・ダ・ヴィンチを主人公にした「獅子流離譚」から入るのがよかろう。

評論、研究の類にいこう。「少年愛の美学」をはじめとする稲垣足穂の評論集はいうまでもないが、見逃せないのが研究者・岩田準一。南方

Ⓐ 入手がたやすく比較的ポピュラーで読みやすいもの。

仮面の告白　三島由紀夫(新潮社)
禁色　三島由紀夫(新潮社)
妨・殉教　三島由紀夫(新潮社)
枯葉の寝床　森茉莉(新潮文庫)
恋人たちの森　森茉莉　(新潮文庫)
星殺し　小松左京(早川書房)
五代将軍南篠範夫(毎日新聞社)
城下の少年　南篠範夫(中央公論社)
元禄色子　池波正太郎(朝日新聞社)
孤島の鬼　江戸川乱歩(高志書房)
少年愛の美学　稲垣足穂(角川文庫)
切腹願望　宇能鴻一郎(徳間書店)
魔楽　宇能鴻一郎(講談社)
オイディプスの刃　赤江瀑(角川書店)
ニジンスキーの手　赤江瀑(角川文庫)
絃の望域　栗本薫(幻影城)
極道まんだら　永六輔(文芸春秋)
わが憎しみのイカロス　五木寛之(文芸春秋)
われら旗本愚連隊　柴田錬三郎(集英社)
男色　水上勉(角川文庫)
紫の履歴書美輪明宏(大光社)
真夜中のマリア　野坂昭如(新潮文庫)
草の花　福永武彦(新潮社)
真珠郎　横溝正史(角川書店)
雪之丞変化　三上於免吉(向楽社)
男を飼う　梶山季之(集英社)
獅子流離譚　塚本邦雄(集英社)
生首河を渡る　早乙女貢(　　　)

Ⓑ Ⓐをすべて読みつくしてしまったマニア向きのハードなJUNE文学

遅れてきた青年　大江健三郎(新潮社)
人間の羊　大江健三郎(講談社)
飼育　大江健三郎(新潮社)
本朝男色考　岩田準一、鳥羽、岩田貞雄(限定版)
男色演劇史　堂本正樹(薔薇十字社)
弥勒　稲垣足穂(現代思潮社)
少年読本　稲垣足穂(潮出版社)
桃色のハンカチ　稲垣足穂(現代思潮社)
匣の中の失楽　竹本健治(幻影城)
切腹　中康弘道(久保書店)
第三の性　森崎和江(三一書房)
私は河原乞食考　小沢昭一(文芸春秋)
虚無への供物　中井英夫(講談社)
なめくじ長屋捕物さわぎ　都筑道夫(桃源社)
美の遍歴　高橋睦郎(新潮社)
聖三角形　高橋睦郎(新潮社)
男たちのかいた絵　筒井康隆(徳間書店)
わが友ヒトラー　三島由紀夫(新潮社)
あんりとぱうろ　伊東杏里(新書館)
彼女と彼　伊東杏里(新書館)
仮面劇場　横溝正史(角川書店)
神変稲妻車　横溝正史(産報出版)
闇に蠢く「一寸法師」所収　江戸川乱歩(角川文庫)
毛皮のマリー(戯曲)　寺山修司(角川)
超革命的中学生集団　平井和正(ハヤカワ文庫)
苦い旋律　梶山季之(集英社)
遊女の歴史　滝川政次郎(至文堂)
奉教人の死　芥川龍之介(新潮社)
異常愛秘奥　實吉達郎(日輪閣)
三島由紀夫における男色と天皇制　山崎正夫(海燕書房)
神州魔法陣　都筑道夫(桃源社)
夏至遺文　塚本邦雄(湯川書房)

いが、見逃せないのが研究者・岩田準一。南方熊楠と岩田準一の往復書簡集も熊楠全集に入っている。少し難しいが内容はきわめて豊かだ。三島由紀夫「小説家の休暇」の中にも突然ホモの分類などがとび出してきて、やっぱり、などと思わせる。山崎正夫「三島由紀夫における男色と天皇制」はその三島由紀夫をとりあつかった、だいぶいかがわしげな評論だ。

日本には古来の衆道の伝統もあることで、そうした文献、資料の類は探せばいくらでもあるだろうと思う。個人の収集家も、江戸川乱歩、岩田準一を筆頭として数多い。とてもこのコーナーだけでは紹介しきれないが、短篇や文学として形のととのっていないもの（早い話が「さぶ」にのっているような投稿小説もそうだ）まで含めたら莫大なコレクションになるはずだ。

その中でこのリストにのせるにふさわしいと思われるもので、抜けおちているものは、どんどん指摘してほしいけれども、「沖田総司はホモだった」とかいった類のきわものは、なるべくなら読むのをやめよう。文章もひどいし、内容もいやらしい。ワイセツ、いかがわしい、ヒワイ、ではなくていやらしいので、これはよくないと思う。「紫の薔薇」も内容的にはごく低い。

変わったところではSFにあらわれたJUNE文学。小松左京の短篇集「星殺し（スターキラー）」のタイトル作「星殺し」。筒井康隆「わが良き狼（ウルフ）」におさめられている「若衆胸算用」、「革命のふたつの夜」の中の「コレラ」、ヤクザもの連作の「男たちのかいた絵」などなど。時代小説は、これはもう宝庫ともいうべきだが、ことに南條範夫がすばらしい。「城下の少年」は高杉晋作の少年期を主人公に美少年への思慕を美しく描きあげ、「五代将軍」は元禄時代を背景に柳沢吉保や権力者の手から手へ売られる美童を描いた。これはのちに平田弘史が「美童記」というタイトルで劇画化している。

「新選組血風録」中の「前髪の惣三郎」などは、いまさらここに書くまでもあるまい。柴田錬三郎「われら旗本愚連隊」もいい。このへんはぜひ一読をおすすめする。

なお、ご指摘をいただいた分のJUNE文学リストは、いずれ補完リストとして改めてのせようと思うのでお楽しみに。

（あかぎはるな）

三原色（戯曲）　三島由紀夫（新潮社）
小説家の休暇　三島由紀夫（新潮社）
光のアダム　中井英夫（新潮社）
恋する男たち　今野雄二（八曜社）
新言数笑　塚本邦雄（読売新聞社）
家畜人ヤプー　沼正三（角川文庫）

C　JUNEシーンは出てくるだけで少ししかない。

奔馬　三島由紀夫（新潮社）
海の見える町　三島由紀夫（新潮社）
天魔　池波正太郎（新潮社）
新選組血風録　司馬遼太郎（角川文庫）
天と地と　海音寺潮五郎（角川文庫）
暗黒星　江戸川乱歩（角川文庫）
若手歌舞伎俳優論　和角仁（新読書社）
分離の時間　松本清張（新潮社）
アポロン達の午餐　赤江瀑（文芸春秋）
限りなく透明に近いブルー　村上龍（講談社）
テレビ・ディレクター　田原総一郎（合同出版）
戒厳令の夜　五木寛之（新潮社）
にっぽん退屈党　五木寛之（文芸春秋）
海をみていたジョニー　五木寛之（講談社）
帰らざる復讐者　西村寿行（角川文庫）
ゴリラの首の懸賞金　阿久悠（スポニチ出版）
小説稲垣足穂　山岡明（東洋出版）
青年は荒野をめざす　五木寛之（文芸春秋）
幽霊　北杜夫（新潮社）

花ざかりの森　三島由紀夫（新潮社）
束の間の午後　萩原葉子（中央公論）
風太郎忍法帖　山田風太郎（講談社）
座蟻の刑　宇能鴻一郎
禁色　村岡圭三（幻影城）
死霊狩り　平井和正（角川文庫）
透明な季節　梶龍雄（講談社）
髑髏検校　横溝正史（角川文庫）
佐々木小次郎　村上元三（新潮文庫）
ザ・スター沢田研二　石原信一（スポニチ）

D　入手困難

沈黙の家　新章文子
タレント帝国　竹中労
芸に生き愛に生き　曽我廼家桃蝶（六芸書房）
美しかりし我等がヘレン　高橋睦郎（大和書房）
菊と刀　堂本正樹（思潮社）

E　その他。純然たるホモ・ポルノあるいはかなり程度が低いものでよくよく好きな人でないとおすすめできない。

沖田総司はホモだった　山地民夫（産心社）
紫の薔薇　早坂友二（第二書房）

あがいても
無駄な事
じゃよ
おまえには
血が必要じゃ
わしの血が
このビン詰めのな
他の誰の血
を求めても
ヨーロッパの
因習は容赦すまい
うさんくさい
のをしめ出す
となれば
官憲も
喜んで
手を貸す

今時
吸血鬼なんぞ
ひとひねりじゃよ

■パースペクティブキッド■

心　中

ひさうちみちお

これではどうにもならん
まして私はただの風紀係だ

男爵だってもうあんたに期待などしてないさ
キッドは俺がつかまえて男爵にわたすあんたは俺に協力すればいいんだ

警察の職員が怪しげに興信所に協力するのか……
まそれも良かろう

やつに連れはいるか？

うむ恋人のようなものなら時々変わるが……
………

あんた知らんか？

大時代な恰好で両上の八重歯がやけにとがって死人のように青白い男だ

クックックッ
私より神学者にでも聞いてみるんだな十字架とニンニクふりかざして探してくるだろうよ

冗談を言ってるんじゃないこれ見ろ、そいつがやりやがったんだ

念の入った話だ
その男がキッドをかっさらったのかね？
知ってるんだろうその男を、ええ素直に吐けよ
知らんな
男爵をだしぬこうなんて考えない事だ
どういう意味かね私は男爵の命令でキッドを追ってるんだよ
とぼけるなよ知らないと思ってるのか男爵の袖の下だけじゃ飽き足りなくて裏で男爵夫人ともコソコソしてる事だ
キッドに色狂いの男爵の醜聞に我慢のならない夫人があんたにキッドを殺せと命じたくらいとうに調べはついてるさ
おっもうこんな時刻か署に帰らなければ
よく考えろ夫人の言いなりになって危ない橋わたっても得はないぞ
失礼するよ

奴を見張れ
眼を離すんじゃないぞ
はい

おまえが愛せば
愛するほどキッド
は死に近づく
おまえの性愛を
ささえているのは
破壊本能じゃよ

じいさん
ひさしぶり
だね

風紀係の
えらいさんが
死体安置所
の下働きに
何の用かね

近頃死体の血
をネコババしなく
なったね

あんたの
可愛い悪魔
を寝取られた
んだろう
何の用かと
聞いとるん
じゃ

とり返して
やるよ
その男の
ヤサを
教えた
まえ

どういうつもり
か知らんが
そんな必要
はない

彼は
帰ってくる
ホー…?

彼に愛された
者は一月も
生きられまい
彼は
そういう
愛し方しか
出来んのじゃよ

……………
なるほど

おまえが
欲しい
最後の
一滴まで…

うっ
うう

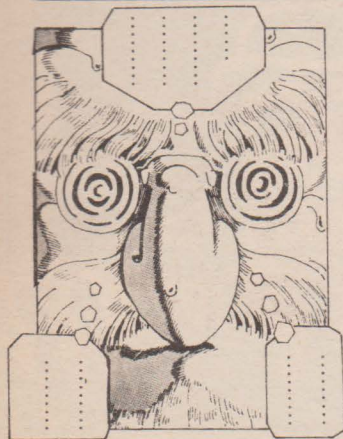
街の女
謎の死
……
無傷の
出血多量
か……

この淫売も
あいつに…
……
血………

…………

例の風紀係が死体屋の家に行ったと言ってたな
いつの事だ
ボスがここで奴と会った日の晩です

そうか
あの後
か……

じいさん
新聞
見たかい
淫売殺ったのは奴だね
んん?
殺すほど
血を吸ったと
いう事は今まで
キッドの血は吸っていなかったと
いう事だ
キッドが死なんとあんたの可愛い
悪魔は帰って
来ないんだろ
わけを
教えるんだ
これ以上事が
明るみに出ん
内に連れ戻してやるよ
何故だ
何故彼の
居所を
知りたがる
キッドに用があるんだ
あんたの大事な玩具に
手出しは
せん
……
……
……
……
……
……
S通りの
はずれの長屋
の三軒目に…
そうか…
S通り…
行ってみよう
……

ゴ
すまんなじいさん
いずれ殺人課の
連中や例の
片眼が嗅ぎ
つけてくる
ヘラヘラ
しゃべられては
こまるんだ
ゴキ!
!
やられた
くっそ
このじいさん
まだ息が
ありますよ
ウワゴトを
言ってる
オオ
三軒目
はずれ
S
通り

!
まだ街を出てはいないようだな……
キッド
あ
弱ってる
やっぱり血を……
このまま奴に殺させるか
これ以上私が手を汚さずとも………

誰だ
あんた

誰でもよい
それより早く
この男をつれて
街を出るんだ

男爵の手先
やら殺人課の
デカやらそれに
善良な中産
階級やらとにかく
街中が君達
を追ってる

かまうものか
どうにでも
するがいい

死ぬのは
こわくないか
しかし
キッドとは
離れられ
ない

ならせめて
二人で死にたい
と思わんか
いいや
思ったはずだ
あ、あんた
何だ
何の用で
………

思えばこそ
キッドの血を
吸った

こんな街に
なんの未練がある
それともどうでも
ひきさかれて
さらしものに
なりたいか

しっぽを
出したな
風紀係
!
キッドは
もらって
行く
きさまの背信
を男爵に報告
するのが楽しみだ
立て
チンピラ
見て
解らんのか
立てるような
状態じゃない
チッ
しかた
ない
かつぎ
出せ
はい
ギャッ
さわるなあっ
ガキめそっち
がその気なら
こっちも前の
礼をさせて
もらうぜ
DOWN

あんたら
仕合わせだ
そんなもんで
この世の一切を
おしまいに
出来るんだ
から
ガタガタ
……
何をしてる
奴等が眼を
さまさん内
に早く
逃げる
んだ
sss

おい辻馬車
おい

へい
どちら?

駅までだ

あては
あるのか

キャッスルコーム
の奥に…
昔一族の
住んでいた
廃屋が…

キャッスルコーム
……
良い所だ
静かで何も
なくて
……
そら
これで
一等に
乗ると良い

……
あんた
……
あんた何故
……

恩にきる
事はない
私には
私の得る
所がある

おい
やってくれ
へい

疲れた
このまま
こうして おまえを抱いて 眠ったまま
そのまま
眼が さめなければ いい

Communication June

第3号

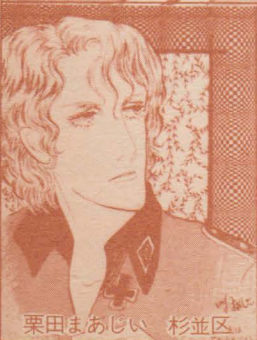
SWAPPING ROOM

あなたと★ 作家と★ 編集部

1979 2 No.3

illust: U.KAMOZAWA

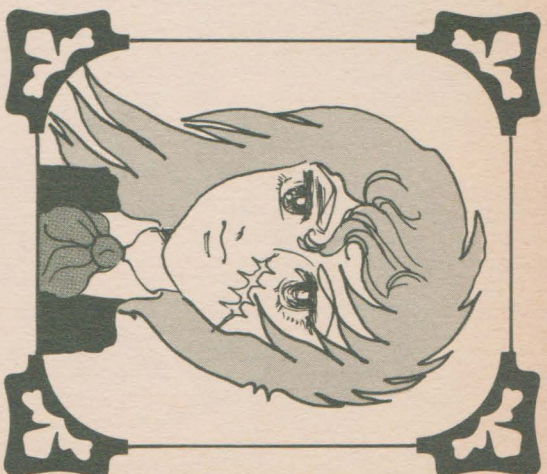
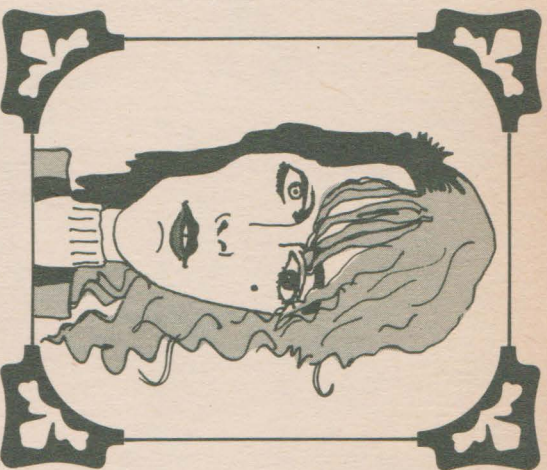
学生賞
ロード賞
SM賞
あきらK　府中市
犬飼森美　葛飾区
うおなじみのこのページ。今回は勝手に賞なんか
けちゃって、絵につけちゃいました。ちょっとアソビが
ぎたかな?描いた人、ゴメンね♡それから♂による
の理想の美少年」もはいっています。どれでしょう?
理想の美少年
華麗
妖艶
自閉賞
赤面賞
今夜は俺のもんだぜ
細身だけが美少年じゃねぇ
こーゆーのは抱き心地がいいんだぜ
SOLD
沢昌美　京都市
三橋輝世　川崎市
朝霧麗　伊丹市
平井恭子　横浜市
河合益巳　豊橋市
霜林
神奈川県川崎市　中沢早苗／千葉県印旛郡　石毛映子／広島市　中村直子／東京都荒川区　増渕律子／北九州市小倉区　辻諒子／神戸市　小野伸子／東京都練馬区　今井敏春　高槻市　吉田園子／札幌市　柴田明子／山口県下関市　阪本裕美／埼玉県飯能市　近藤優子／広島市　石丸真樹／高松市　吉村恭子／千葉県柏市　宮本智栄里／大阪府堺市　西尾初美
水野澄香　大和高田市
川井マキ　練馬区
とみい　三重県

ファッション賞
不眠賞
フケ賞
河村衿　大阪市
樹音　広島県
聖砂王　岩手県
神奈川県藤沢市　藍沢尚子／栃木県足利市　田口かほる／大阪府高槻市　吉岡美紀／神井県　荒木淳一郎／埼玉県所沢市　村田暗理子／長崎市竿の浦　浜田洋子／羽生市　保泉純子／千葉県　保呈くん／群馬県富岡市　堀越郁江／青森市長島　藤田好信／杉並区高円寺　細結花梨／大阪府豊中市　聖羅／横須賀市池田　高木紀代子／栃木県足利市　浜田佳江
篠崎麗緒　江東区
鷲見尚子　岐阜県
FLESH　川崎市
私の描いた
松枝美穂　静岡県
思ひきり美しい惡瑞々と少年にして裡に棘もつ
無蘭める　長野県
松沢恵子　所沢市
ロラン
安松美和　北九州市
柴山森丸　中野区
汐崎まこと
(Robert Plant + David Silvian + Robin Zander + Jon Anderson + Mark Bollan + Mike (Corby)) ÷ 6 = I like this!!
God save the T.R.B
Long live LED ZEPPELIN!
栗田まあじい　杉並区
森本明　宮城県
AC×DCの女の子
南部昌子　高知県
篠原薫

ビョンドレ・タマボウイ

デビッド・ジュルビアン

ジルベエド・ガーロック

世紀末的美形ベストテン

スター・タレント

1	ビョルンアンドレセン	302票
2	板東玉三郎	244票
3	デビッドボウイ	162票
4	沢田研二	96票
5	ジミーペイジ	58票
5	ロジャーテイラー	58票

シンガー

1	デビッドボウイ	370票
2	沢田研二	239票
3	デヴィッドシルヴィアン	183票
4	世良公則	115票
5	フレディマーキュリー	103票
6	郷ひろみ	98票

アニメ&マンガ

1	ジルベール	316票
2	エドガー・ポーツネル	228票
3	ハーロック	104票
4	オーギュストボウ	74票
5	トリトン	67票
6	プリンスハイネル	62票

♥メンクイの貴女がお父さんお母さんにナイショで

8 アランドロン		51票
9 草刈正雄		47票
9 郷ひろみ		47票

○D・シルヴィアン　46票○竹宮恵子　44票○山口百恵　41票○イアン・ミッチェル　40票○桃井かおり　33票○マーク・レスター　30票○スティーブ・ジャンセン　27票○フレディ・マーキュリー　23票○アレッサンドロ・コッコ　23票○世良正則　23票○中村研一　22票○ピーター　22票○田村正和　20票○天知茂　20票○沖雅也　17票○渋谷陽一　17票○ヘルムート・バーガー　16票○西城秀樹　16票○佐々木功　15票○カルロス　13票○大原麗子　12票○ポール・スタンレイ　12票○三浦友和　12票○ブライアン・メ　10票

7 ロビンザンダー		79票
9 ロバートプラント		71票
10 山口百恵		69票

○原田真二　52票○P・フランプトン　46票○さだまさし　43票○西城秀樹　37票○スティーブ・ジャンセン　30票○あいざき進也　28票○T・ピーターソン　26票○イアン・ミッチェル　25票○J・ペイジ　21票○P・スタンレイ　20票○川崎麻世　19票○リューベン　18票○スティーブン・タイラー　18票○M・ジャガー　18票○桃井かおり　17票○松山千春　17票○オリビア・N　15票○美輪明宏　14票○甲斐よしひろ　13票○三善英二　13票○M・ボラン　11票○アグネス・チャン　9票○エース・フューレー　9票

8 フィリップ		52票
9 コンドルのジョー		51票
10 トニーハーケン		49票

○セルジュ　47票○オスカー・ライザー　45票○ひびき洸　41票○森蘭丸　40票○ティリアン・パーシモン　40票○スネフェル　30票○バージル・ワード　28票○009・ジョー　26票○カムイ　25票○デスラー総統　25票○鷹塔摩利　25票○古代進　24票○ミッシェル・デュトワ　21票○スターシア　21票○アトム　20票○ヒース・イアソン　20票○サリオキス　20票○矢吹丈　19票○イヴ・ラクロワ　19票○エドワルド・ソルティ　18票○オスカル　18票○リヒテル提督　18票○伊集院忍　17票○ラフィエル　16票○ウォルフ　16票

モンタージュ●南伸宏

エーベルバッハ少佐　極悪非道にして、冷酷無比、サディスティックなセリフとやさしいサド目で迫る黒髪、知性と気品を持ち、時には色キチガイとも噂される両刀使いの海軍大佐。ホントは伯爵と少佐・ニジンスキーも入れたいの、でもあの3作の中ではやはり、このオヒトが一番美しいのではないかと考えに考えた末、決定！　茨城県　黒貴族

★

竹宮恵子様　我が理想の姿。地上におりた最後の天使、永遠の恋人メイワクかな～？　島根県の古代人　林真智子

★

坂東玉三郎　玉三郎さんのうるわしいお写真が、我が家の茶の間にかざってあるのです。おかあちゃんがファンなの　長野県須坂市　熊川和美　14才

★

沢田研二　信じられない美しさ!!ホンモノみたことある～?私やっとさわったのだ　だきしめられたい～　横須賀市　6月の悪魔

★

ピーター　昔気色ワルイと思っていたのに今では美しいと思う私、Junのせいだ　静岡県清水市　村田伊津美

★

世良公則　あのベースマンにせまるあのヒワイさと男を感じるあの肉体、あの野性、あのセックス・アピール!!　栃木県　栗原一代・大屋和子

★

イアン・ミッチェル　が一等賞!!彼の写真を見ると私の胸は熱くなって動悸が激しくなって、いつもリュウカク散を飲まなければいけないの　三重県伊勢市　竹内明子　16才

★

ロジャー・テイラー・あの目で見られると服をぬぎたくなるの／**フレディーマーキュリー**・あの歯でかまれるとトマトジュースが飲みたくなるの／**ジルベールコクトー**・あの手で愛撫されるとセルジュになった気分になるの　大阪府南河内群　否

★

クラウス・シュルツ　オトメチック・ロック・クリエイターの最高峰として（音をきけば乙女性がわかるッ！）今どき女たちの中には見いだすことの不可能な「深窓のユングフラウ」的ニュアンスを持った人　滋賀県野洲群　矢野泉

★

ブラックジャック　彼は顔に傷跡が残っているが十分美しい。ピノコがうらやましい　世田谷区　稲本茉莉子

★

プリンス・ハイネル　この投票に不満な奴は、一度「ボルテスV」の最終回を見ろ！炎にのまれたハイネルのあの、悲壮美……うう、たまらん　大阪府堺市　小野もゆる

★

そりゃーもう、**フィリップ**に決まってるでしょーが　クールな雰囲気、美髪、彼はあまりにも美しすぎる。　名古屋市　外山みどり

短足族の上位進出許すまじ！

3位じゃ脚は見せられねーな

1位になったらひろみの全身裸像を描きますわん。

金子銀子

要項美形ベスト10応募要項美形ベスト10応募要項美形ベスト10応募要項美形ベスト

SEXLESSLOVE

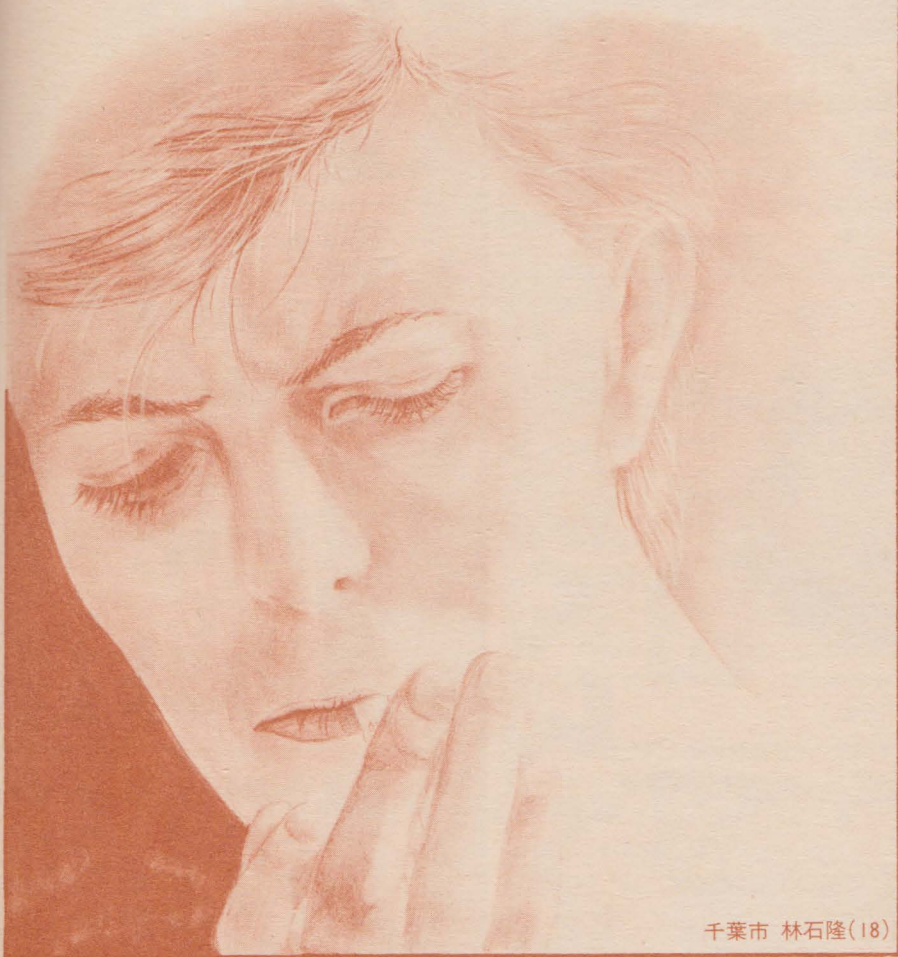
Love for humanity
Love for her children
Alas・・・・
Love of God?

None of your stuff!
Love of this kind
Is suffocate me
None of your stuff!

I spark to your heart
Sot! Pervert!
And superheterodyne!

Your syphilitic sperm
Is inserting love
Into my bloody bloom

Lick up blood stained sphincter
And spank me!
Take me to heaven

It's the very love
All I want

千葉市 林石隆(18)

まずはオワビから。前号で、J・ペイジとフィリップさんの集計ミスがありまして(ゴメンなさ〜い!——まり)票が分散してしまいました。修正して今回の分を足すと…わ〜、二人とも上位なんだわア♡ベスト3には、シンガー部門でD・シルヴィアンが進出!スティーブもなかなか。JAPANバンザーイ!ジュリーも強いなア。ボウイとジルベールは不動かしら。一注・森蘭丸と天知茂は、各々、一人の人がハッスルしたの。

それから、無差別級(歴史上の人物、小説の登場人物など)を設けてというリクエストがありますが、それはみんなスター・タレント部門の方にお願いします(ク、クルシイナ〜)。次号も今回同様。三部門に一人ずつ、コメントもつけて、ハガキ、絵葉書、封書、小包(?)等で投票してね。〒102 東京都千代田区麴町3—3 可児ベルモードビル内 サン出版 COMIC JUNE編集部まで。

投票して下さった方の中から抽選で　名様に　を差しあげます…未定なのよね、実は。何か欲しい?オネダリしてみて♡期待に応えるようがんばりますわん♡

星からのメッセージ

HARAHARA SCOPE

★ハラハラスコープ★

山羊座の支配星はサターン。夜が長く昼が短い季節もっとも暗く、沈黙忍耐の期間を支配。

天王星、土星の影響が強い時、水瓶座、山羊座、両座の人は特にハプニングが多い時になるかも。

牡羊座

★3月21日から ★4月19日生まれ

守護星マースは突進の星。シンボルマークの牡羊の角型はその向こう見ずで一本気なあなたの性格をバッチリ表現していると言う訳。あなたのラヴは今年も波乱含みだけど、少々軽率なところが心配なあなた、くれぐれも、コブ付き中年には注意して！

牡牛座

★4月20日から ★5月20日まで

牡牛座の守護星は金星。言わずと知れた美の女神ヴィーナス、だから芸術的センスは飛んでいるはず？今年は、今まで以上に美意識を強化する年に！たとえばひっかける男は美小学生からはじまり、美中学生、美高校生美大生（ん？）たゞし、年下にかぎる事。

双子座

★5月21日から ★6月21日まで

少々、サティステツクな部分を持つあなた、守護星は水星。そしてそのシンボルマークは二重性を表現。今年は大きく飛躍せよと出ているので、その辺を強調してみるのはいカガ。つまり女性版ジキルとハイド。たとえば、「ミスターグットバー」探してみるとカ。

蟹座

★6月22日から ★7月22日まで

女神の象徴である月が守護星。それだけに母性本能はあふれんばかり。教育ママ予備軍の素質十分。余談はさておき、なんと今年は肥満に注意せよと出た。良く食べるのは良い事だけど、それに見合う運動をせねば……。なんでもいいけど、団体種目が特に吉。

獅子座

★7月23日から ★8月23日まで

シンボルマークはライオンの尾を表わしていて、守護星は万物の帝王、太陽。どうしても気位、格調が高くなってしまうのは仕方のない事だし、けして悪い事じゃない。たゞし今年は、それが原因となっての三角関係が生じやすい。でもがんばろう。

乙女座

★8月24日から ★9月23日まで

見かけ（？）は、弱々しげな乙女座生まれ。シンボルマークは清らかな乙女の美しい髪をデザインしたもの。今年は心配、取残し苦労有りと出てある。それも異性関係なら、まだ良いものを。地震、その他の天変地異についてなんだから……。開き直りの必要がある。

天秤座

★9月24日から ★10月23日まで

シンボルマークは正義と調和を象徴する天秤ばかり。守護星は金星で牡牛座と同じだけれど、天秤座のあなたの方はやさしさが優先する。今年はラヴにしてもその他の公な部分にしても身分不相応な事との出合いが相次ぐ。ひるまず、自信を持って突進。

蠍座

★10月24日から ★11月22日まで

あなたのシンボルマークは、なんと、毒針で獲物をねらう蠍の形を表わしているのじゃ。あなおそろし。今年は彼氏がいるのに、「他にもいいのがいないかな」と常に新しきを求めるあなたにとって、残念ながら、モグラの年。現在のボーイフレンドを大切に！

射手座

★11月23日から ★12月21日まで

守護星の木星は最高神ジュピター。マークは飛ぶ矢を表現。今年もあなたは、大きな宇宙空間をさまよう気まゝな旅人。（ちょっとオーバーかな）それ程、目立った動きがなかった去年に比べて、いろいろある年。たゞしあんまり自己中心的にならぬ様。

山羊座

★12月22日から ★1月19日まで

あなたの守護星、土星は陰性の星。内面に熱い闘志が燃えて……。たゞし、それが相手に伝わるには時間がかかる。今年はその辺に要注意。そうでないと長くなりすぎた恋人を友人に取られてしまう暗示が出ているよ。シンボルマークは牧神。英断が必要と言う事。

水瓶座

★1月20日から ★2月18日まで

なんと言ってもシンボルマークは流れる知性を波の型にデザインしたもの。常に新鮮なコミニュケーションの世界を保ちたいあなたには、ズバリ、理想の年。たゞし、何事もやりすぎはイヤ味に取られがち。くれぐれもしつこくならぬ様。いくら相手が理想の美型でもネ。

魚座

★2月19日から ★3月20日まで

シンボルマークは2匹の魚が1つに結ばれている型。1つにと言っても、夢々、ヤーラシイ想像はせぬ様。肉体と精神の二元性を表しておるのだ。つまり、理性と別のところで感性が働くと言う事。頭では振り切ったつもりのユーワクに、事実上は負けてしまうと言うコワイ暗示。

★★★'79年 1 月10日から 2 月10日迄の貴女(あなた)★★★ by chicoいぷせん

カット／高橋祐子

★Chico・いぷせん★ 15才の時から占いを始め、タロット、トランプ、インスピレーション占いを実践。ハラハラスコープより恋の幸せ占いをしたいとか。年令不詳。

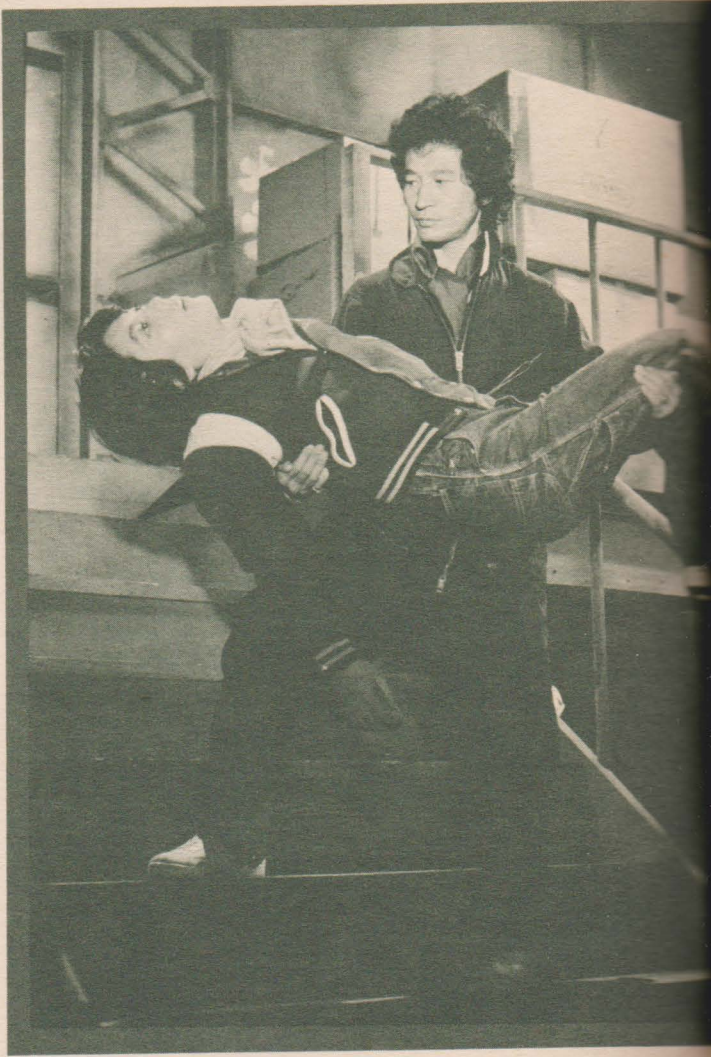
悪徳の栄え

「哀しきチェイサー」始末記

栗本　薫

　栄光ある「JUN」の読者ならすでにご存じかと思うが、先日、ぼくはTVドラマ「七人の刑事」の脚本などを書いてしまった。
　脚本そのものは十一月はじめに苦難のすえ脱稿したのだが、録りの方はそれから本読み、立ち稽古、そしてスタジオとなる。滅多にこんなチャンスはないとわかっていたから、本読みと録画には、用もないのにのこのこ出かけて立ち会わせてもらった。
　この雑誌が出るころには、すでにON AIRもすみ、忘却の彼方なのかもしれないが、この脚本は「哀しきチェイサー」と題して、内田裕也君と沢田研二君がいかがわしい男の友情を演じ、さいごには二人とも惨殺（脚本家によって）されてしまう。
　こんなシーンを生身の沢田研二君が演じるとなったら、これを見逃しては首くくりものである。TVでなくナマを見られるのも書いた人間の特権である。
　本読み室でもすでに、裕也さんが照れに照れたり、A・D（アシスタント・ディレクター）のお兄さんが沢田君のセリフを代役やらされて、「どこにも行っちゃイヤだよ。そばにいてね」などとイヤーな顔しながら読んでいたり、いろいろと腹の皮のよじれるようなことがあったんだが、枚数の関係でそこはふっとばす。録画の方は十一月の五日、六日に行なわれ、五日のほうで沢田君が死んでしまうので、シリーズ・ドラマには稀有のことだというくらい、新聞週刊誌芸能誌の記者さん、カメラさんがもぐりこんで、スタジオは大混乱を呈した。
　その中で、裕也さんは黒のブカブカのつなぎ、沢田君はド紫のジャンパーにジーパン、グレーのマフラーという自前のコスチュームで登場。「君をのせて」かなんか流しながら、裕也さんと道行き。風に吹かれながら、仲良く一個のリンゴをかじりっこして、すでにもうぼくはなかば目をおおって指のあいだからこっそりのぞく心境。うっいかがわしい。こ、こんなワイセツなものを自分が書いてしまったのか。
　ランスルー、沢田君が三人の男に襲われる。路地に追いつめられ、ドラムカンの上にひき倒され、裕也さんの名を絶叫しながらナイフを突き通される。い、いやらしー！　また沢田さんってメタクソに照れないのね。「助けてえ！　痛えよお！　イヤだあッ！」って絶叫すんの。ぼくどうしょうかと思った。
　裕也さんが助けに来て、「お前、大丈夫か、もういいんだ、オレがここにいるぞ、大丈夫だよ、こわくないよ……」やさしく頬をパチパチ叩く。報道陣死にもの狂いで写真とりまくる。
　そして沢田君は裕也の膝に抱

●「ぼくらの時代」で乱歩賞を受賞して以来、探偵小説専門誌、ＳＦ小説専門誌、中間小説専門誌(?)に次々と佳作を発表。ＴＶの脚本の後にはロック・オペラの脚本を執筆。小説家としてだけでもすごいのに…これに中島梓としての活動が加わるのよォ!

かれて死んでしまいます。髪をなで、タバコをくわえさせてやる裕也さん。なにせ演出がご存じ「悪魔のようなあいつ」(森川久美さんも見てたって、嬉しいなあ)の久世光彦さんですからもう大変なのだ。
「サービス、サービス。三十秒だけだよ」久世ディレクターが怒鳴り、裕也はセットの階段の上にすくっと立って、いきなり沢田君を両腕にかかえあげた。わあっ、「風と共に去りぬ」ポーズや。一勢にフラッシュ。しかしやはりジュリーって軽いのだね。裕也君、たくましく両腕に抱きかかえてよろめきもしなかった。ぼくは思わずうちふるえて胸の中でつぶやいたのである。(このシーンを見られただけでもホンを書いた甲斐があった)もっとも残念なことに翌日の新聞はひとつもこの「風と共に去りぬ」ポーズの写真はのせなかった。明るいところでよくよく見て、やっぱり天下の公器にはあまりにいかがわしいと判断したようだ。そのかわり、ごらんのとおり、沢田君が三人の男に襲われるシーンなど平気でのせてしまって、やっぱりマスコミというのはわかってるのか、わかってないのか全然わからない。ねえ、並のヒワイ画どころじゃないイヤらしさではありませんか。
「殺される役」ときいたとたん、二つ返事でひきうけたという沢田君に、いかがわしくナイフを突き刺した大男は沢田君の知りあいの俳優さんで、最初、なにせ沢田研二にケガでもさせてはというんで少々迫力がなかった。そしたら彼、「ホンキで刺さなあかんやないか!」凄い勢いで怒ったのだ。よっしゃ、といって、やり直したら、ナイフがすべって、お腹へ本当に刃先が入っちゃった。久世さんのいうには「あいつ、えらく嬉しそうだったよ」――(マゾ!)
しかしその久世さんだって、沢田さんが刺された瞬間に、サブ調整室で大声で叫んだんだそうです。「痛え!」――この話はあとで阿久悠さんからききました。ああ、世の中って、まったくなんといかがわしいのだろう。
ところで、放送を見て下さった方のうちで何人が気がつかれただろうか。あの中に二ヶ所、探偵社のシーンとバーのシーンに、伊東愛子さんと、竹宮恵子さんのイラストを三点、パネルにひきのばしてバックに使っております。
これは、久世さんの方から、背景に少女マンガを使いたいのだが、と申し入れがあったのです。
久世光彦――やっぱりこの人は、おどろくべき人物だ、とぼくはそのとき思ったものである。

ミーハー派、欲求不満解消派、面白半分冗談派…簡単そうでムズカシイのが同人誌。あなた何派？各サークルと、ファースト・コンタクトする時は、返信用50円切手を同封するのを忘れずに。

■故「緑のカーネーション社」
故「緑のカーネーション社」の美少年マガジン「魔狼」の3号が若干在庫あります。写真・小説・マンガetc。少年愛誌の老舗です。ぜひ御一読を。¥600（〒共）を現金為替で。
〒168 杉並区久我山1—12—13 松尾節子

売り切れの2号グラビアより

■薔薇の館
ヘンタイも普通の人も大カンゲイ！二ヶ月に一度B5サイズの会誌発行。
〒047 小樽市緑2—2—3湯田方 松崎優

■METRO
本売りたし。オフセットB5、一〇〇P、¥500、送料込み。短いストーリーまんが、まんが論等。
〒064 札幌市中央区南10西23 漆沢久代

■ADOLESCENT・SEX
常時怪員募集中。変態性による耽美学を追求するミーハーの為のミーハーによるROCK&マンガサークルです。会誌30～50P、B5オフ、会員60数名。
〒544 大阪市生野区巽北3—12—6松本方 ADOLESCENT・SEX

■ROCKサークルH・ME
ホモ・SM・マジメ論・ROCKあり。中高校生諸君！案内書希望の方は50円切手同封して下さいネ。
〒703 岡山市中井1—46—5 北波淳子

■騎士（ナイト）
中学生以上なら年令をとわない！月一回の会誌年三回のストーリー誌発行。
〒064 札幌市中央区南9条西7丁目日の出荘1—2号室 吉村美恵子

■エル・アルコン
まだ未公認だけど青池センセーを心から支援し楽しい会にしたいの。会費2ケ月350円。
〒983 仙台市高松3—6—48 島田知佳

■HRK
ホモ・レズ研究 同性愛に興味のある方でなるべく14～16才までの人。
〒227 横浜市緑区恩田町1—2—3—1—1 森谷加代子

■ルネッサンス
会誌内容は向上発展躍進的。一緒に恥かいてくれる人はいってみない？
〒850 長崎市竿の浦町1—27 浜田洋子

■RANKLE
ロックホモコミックファンの為のアブノーマルサークルです。会誌「ランクル」「アビニス」ペーパー「オレンジ・オブログ」毎月いずれかを発行。
〒166 杉並区阿佐谷北4—25—4蜂須賀方 高木ジン

■BEELZEBUL
マンガを愛し、ロックを愛し……詳しくは連絡を！
〒983 仙台市木ノ下5丁目4—7 高橋秀明まで

■ジェームズ・プライヴェート・リサーチ
青池先生の「エロイカ…」の影の主役（?）ジェームズ君のファン・クラブです。ZEPも好きならなおよいゾー。楽しくやりましょう。
編集部気付 金第一行助

■閑古鳥
マンガ・小説・詩・メルヘン等々かける人求めます。
〒547 大阪市平野区平野宮町2—9—7北村方 〝閑古鳥〟まで

■ジュリアン
ジュリーを熱愛してやまない方へ一緒に彼を応援しませんか？ 50円切手2枚同封して下さい。案内書をお送りします。
〒498 愛知県海部郡弥富町平島新田北勘助2の5石川尚子方 ジュリアンへ

■リンデンバーム
たのしく、美しく、そしてヤラシクをモットーにすてきな会誌を一緒につくろう！ 入会希望者はカット同封して。
〒852 長崎市川平町1—347—29 小堺京子

■A・M・T・P
一応健全（?）なマン研です。でも趣味にはしる方もいて……会員数30余名。入会希望者はカット2枚同封してネ。
〒322 鹿沼市上野町232—18 小林寿子

■マークボランFC
マーク・ボランの美貌その終末に向うような性格バイセクシュアルetc。全て好みだと思いますわ。会費6ケ月¥一〇〇〇（入会金含む）。
〒874 別府市北浜3—1—27 白川順

■あぼがどろ
めざせオフセット、めざせ一〇〇人、めざせVOL4となっとります。まんが・あにめ・小説の研究会です。
〒857 佐世保市万徳町8—26 山村美南子

■沙羅双樹
とにかく漫画が好きとゆー㊍ばかりです。会員は30名ほど。個性重視ですので、傾向はさまざまです。オフセット誌3ケ月に2度発行。また一ケ月あるいは一ケ月半に一度会誌発行。
〒146 大田区久が原4—36—4 伊藤理子（TEL）754—4103

■詩研〝雪煙〟
詩・小説・イラストの研究会、現在約80名。往復ハガキで本部まで

研究派、親睦派、後援会派、アマチュア派、マニア派、

御連絡を。
〒582 大阪府柏原市本郷2の1の4 青木さとみ

■プラスチックポップ
朝鮮ピンクラメ・トルコブルーラメ・キン・キラ・キラ銀のラメ、ポップ感覚豊かなあなた！まってます！ 会誌12P・100P（B5オフセ）2冊分会費500円を無記名の為替で送って。
〒154 世田谷区下馬2―1―7ハイム下馬1B 藤井幸子（SALAD）

■グループcore
マンガならなんでもOK！ 会誌は2ケ月ごとに一回（B5オフ）3〜4ケ月に一回ストーリー集（B5オフ）年一回特別号。
〒018―06 秋田県由利郡西日

MANKEN A LA KARUTE
新入会員or購読会員募集中！
カット 高野文子

町出戸字浜山3―145 小林博明

■響
アニメ・SF・マンガに興味のある方入らない？ 16才以上ならどなたでも大かんげい。カット2枚同封のこと。
〒664 伊丹市山本字西畑5―34 阿部ゆかり

■グループYOM（ヨム）
会員の貯金と努力のたまものでやっと念願のオフ誌創刊号発行！ 定価400円で発売中！ 200P。
〒228 神奈川県相模原市大野台1―24―7 島田美聡

■三月うさぎのお茶会
ただもう理由なんかなくってホモを愛し、倒錯の愛に生きる少女たちがおしゃべりしたり、互いの意見を交換し合ったり、ホモを論じたり…する会。「ラ・ローズレー（薔薇園）」ごなる会誌を作っています。
〒606 京都市左京区松ケ崎泉川町20―2井上方 「三月うさぎのお茶会」本部

■サークルJAPAN
アンダーグラウンド志向のマンガサークルです。
〒187 小平市鈴木町1―336原田方 サークルJAPANまで

■フーミン・クラブ
ケン吉こと柴門ふみ先生のファン・クラブ。会誌年6回発行、集う会年2回、現在会員165名、入会希望者は左記まで。年会費500円（切手可）同封の上連絡を。TEL・0425―52―0596
〒190―12 西多摩郡瑞穂町石畑769ジャパマーハイツ310「フーミン・クラブ」

☆PAIDIKA
先号、エコヒイキで紹介するつもりで今号にまわして、また都合で次号に詳しくとりあげることにしましたの。とりあえず写真だけ。（編集部）

PAIDIKA「赤坂女装の夜」より

■Napoleon
漫画に興味のある人、これから漫画を描く人を、私たちは必要としています。ご連絡下さい。
〒192 八王子市中野山王1―25―1大塚方 雅朱鷺

ミニコミ
情報誌的ロック雑誌に飽き足りない知的悪女（?）の貴女にお勧めする美形グラビア付キパログレッシブマガジン。第5号が発売中 .00円+送料200円。
〒144 大田区東六郷1〜21〜18 橘幸一 Tel03（734）3828

■ESTEEM
アニメ&マンガ研究会。マンガの描ける描けないは問いません。
〒662 兵庫県西宮市前浜町1―31―4―404 小川淳子

■THE SAVOY（あげます）
創刊号SAVOY（竹宮恵子論・テープトリック論）無料（ただし50円切手は同封して）。
〒664 伊丹市西台4―2―15田井方 "The Savoy"

■THE・ANIME・ACTOR
塩尾翼・神谷明・森功至・井上真樹夫・富山敬氏のFCです。
〒106 港区麻布永坂町1BS社宅3―1山田方 神森敬

おしらせ
R・C・II（薔薇十字団II）イラスト展「幻想の彼方へ」2月15日（木）〜20日（火）渋谷西武A館中2階アップルハウスにて。
水星茗、みかみなち、竹田やよい他十数名のメンバーによる幻想への誘い。
●前号掲載の「WLC」、「佐々木功NEWF・C野良犬」は、現在会員募集を中止しているそうですので御了承下さい。

JUNEお料理教室

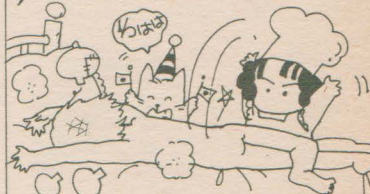
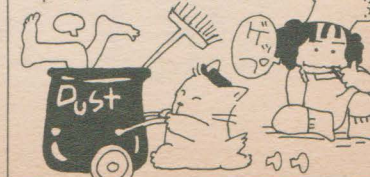
美少年のおいしい召し上がり方

カット／さべあのま

実演お料理講座その1

1 まずせっぷんで味見して

5 最後に残ったも一脱がした
皮体はゴミ箱へポイ!
ゲップ
DUST

●栃木県足利市　鶴田洋美(?)

●料理の土居先生にきけ!!

中奈良県北葛城郡　池田ときこ　19才

●もちろんさし身です。肉をうす切りにして、青白い陶磁器の皿のまわりに並べ、まん中に××をかざります。うす口しょうゆか、レモン、玉ねぎをかけてたべるとおいしいでしょう。

中神奈川県中郡　菊地葉子　18才

●私、料理は苦手です。「アンデスの聖饗」という映画をみましょう。

中豊島区　中山紀美子

●私はやはり美少年はあまり好きじゃない。召し上がりたいとは思わない。女の方が好きだし、肉嫌いだし…。

中札幌市中央区　市村美子

熱い紅茶(コーヒー)に入れて飲むのもいいの
バラ香油よりきくわよ

●茨城県水戸市　吉田美菜子　16才

●赤い月の満ちた境界線午前三時十五分多義的エロスとシュールに従い、緘黙された十字架の下、致死性花粉群的薔薇の花とベラドンナの麻酔で貴男が最高の時に七色の銀色ナイフで左の胸を刺す。

中岡山県津山市　岩月由子　21才

●まず、一昼夜寒風にさらし、身がしまったところで生け花のケンザンで、からだをこすり血をしたたらせた状態で、ぐらぐらにえる湯の中へ、ちゃぽん!

中島根県浜田市　岡本州人

●いらない皮はむき、よく洗い、反抗するくらい新鮮なのをじっくりと時間をかけていただきまーす。

中長野県諏訪市　宇宙戦艦ヤマト

紋文のはんぺんにはさんで揚げちゃおう
紋文
ペンペンされてしまった

●世田谷区　川口亮子　20才

●食事の時、美少年を前に置いて自分だけ食事をする(消化がよくなるだろう)。

中東京都東大和市　岩崎佳子　15才

●飲みこまずいつまでも口の中でコロコロ遊ばせてしゃぶっている。

中中野区　藤井順子　21才

●チョコフレークと一緒に牛乳をかけて食べる。

中岩手県釜石市　T・S　17才

●まず、その美しいお肌をひっぺがしてからあげ、なんてどうでしょう。私って鳥のからあげの皮のとこがこりこりしてとっても好きなの。

中広島市　佐々木潮理　19才

●〝黒焼き〟がよいと思います。これはおいしいというよりも栄養のあるものです。

✝紫野冴

●こまかくきざんで、ピラフの具にします。✝八王子市　エミール・エド・ミレイ　21才

●寒い季節ゆえあったかい鍋物の釜ゆでも良いけれどやはりおいしくいただくには、油ののった美青年をからめたムチ炉め（痛め）が最高ですわん。ムフフ♡私、いいおくさんになれるでしょうか…？

✝秋田市　竹内正子　16才

●千切りにして、いためものにして、てごめにします。

とらじゃ

●生にきまってるじゃないの!!手を加えたら味そこねるワイ!!

✝早仁合酢女　17才

●愛情料理読本

聡明な女ほど美少年料理がうまい

✿調味料

ムード派向き

サディスト向き

MILK　WINE　はちみつ　JAM　砂糖　バニラ　ホイップクリーム

マスタード　食塩　TABASCO　こしょう　酢　ラー油

たっぷり全身にすりこんでからしばらく風にさらすのがコツ

✿保存法

新鮮さをそこなわない冷凍がやっぱりいいんじゃないかしら

✿材料

そりゃ新鮮で美味しいものにこしたコトはないけど…

水でもどして5分　ふえる美少年

素材カンヅメ

最近はこーゆーものも出まわっているので買いおきしとくと便利なの

✿盛りつけ

美しく!!

煮ても焼いても喰えない材料はさけましょう

●一言♡ふらんくふると!!

✝和歌山市　塩路かほる　16才

●まず、私めがめいっぱい楽しむ。そして友だちにまわしてあげる。一週間くらいたってボロボロになって帰ってきたのをお湯でもどしてまた楽しむのです♡

✝群馬県多野郡　萩原真澄　15才

●食べられる男の立場からいうと、女性に少し乱暴に食べられたいのであります。ハイ、だれかぼくを食べてくれ!!

✝神奈川県川崎市　棚橋茂　18才

●35ぐらいの牛乳プロに入れます。それも1時間くらい、（ここでよく美少年のダシをとる）そして、その牛乳に玉子とお砂糖を入れて……プリンを作りましょう！おいしいわよ。私、経験者?。

✝大阪市住ノ江区　山下知佳　15才

●ミルク状にしてお砂糖一つ入れ温める（これが本当のホモ牛乳）。この時バナナも一緒に食べるとおいしいよ。

✝横浜市　坂東玉子　19才

●ばかものめ！美しいものが少ない世の中なのよ。せっかくの美少年を食べちゃったら、もう目の保養はさせてくれないわよ！

✝千葉県松戸市　雅梨愛　21才

冬はやっぱり湯豆腐とかてっちり鍋なんか最高！程良くダシも出てあったまるぅ

毒はないから安心よ！

●大阪市住吉区　泉谷勝　20才

●京都市東山区　石井真由美　15才

実演お料理講座その2

1まずバラをちりばめたバスで入浴させ

2程よく肌がピンク色に染まったら生クリームを全身くまなくぬりぬりして

3その上からシュガーをまぶしてバニラエッセンスをふりかけて

4おいしくめし上がります。バラとバニラの香りがたまらない。

SUGAR　Bath

●練馬区　深野由美　18才

EXCENTRIC INFORMATION BOX

だれのものでもないチェレ

遠く遙かに広がる空の下、一人の裸の少女（男の子のよう）が牛を追って野原を行くすばらしいシーンからこの映画は始まります。しかし、その少女チェレ（ジュージャ・チヌコツィ）達みなし児は、労働力として富農に酷使され、衣服すら与えられていなかったのでした。飢えや寒さや、真っ赤に焼けた石炭を握らされたりの虐待に、ついにチェレは逃げ出しますが、第二の養い親たちもまた酷薄でした。クリスマスの夜、チェレは神に祈るのですが…。
　三十年代はじめ、独裁政権下の貧しいハンガリー農村を舞台に、純真なチェレの目を通して、不正な現実への憤りと、自由を失うことの悲しみを描いた感動の傑作です。

監督　ラースロー・ラノーディー
原作　ジグモント・モーリツ「みなしご」
カルロヴィ・ヴァリ映画監督賞受賞

写真上　「だれのものでもないチェレ」より
写真下　「夜叉ヶ池」製作発表会

BOOKS

片山健画集　迷子の独楽（こま）。

一枚一枚見ていくと、子供の頃、あんな夢を見たことが、いや、実際にあったような気分になってくる。透明で、不安で、秘密めいていて、猥褻で、どこか犯罪の匂いがして…　物音ひとつ聞こえない、白昼の淫夢のようだ。
（発行・北宋社　発売・仮縫室　TEL03　268　2426　定価　2800円

片山健画集
迷子の独楽

TV

11月18日のNHK土曜ドラマ「優しい時代・男らしく」に出演していた中村研一君について教えて！役柄のせいもあったのかもしれないけど、なまめかしい色気があって、顔だちといったら、そりゃあもうキレイで繊細だったの♡　練馬区　荒井一恵さん　愛知県　柴山久美子さん他のクエスチョン

♥

　編集部秘密諜報室第二課美少年探偵団の独自の調査によると（なんのことはない、NHKに行って聞いてきたんだけど）、彼は昭和36年7月8日生、千葉出身、身長171センチ、体重54キロ、血液型O型、愛称ケン　趣味・写真、サッカー。好きな色はベージュに白に茶、好きな学科が数学で、嫌いな学科が英語に世界史なんだって。それから先は教えませんわん♡（ジャニーズ事務所所属）

NEWS

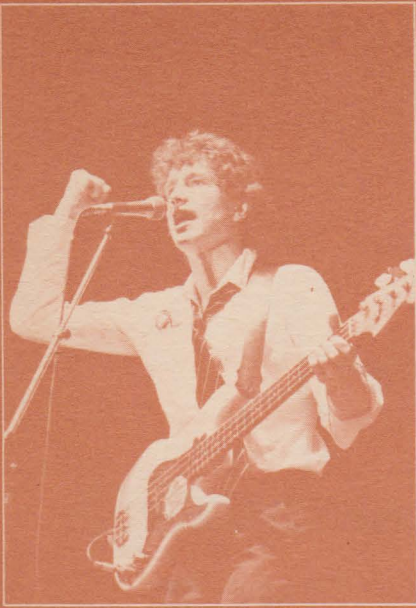
「人民寺院」の集団自殺で、また脚光（?）を浴びてしまったカリフォルニア。その州議会に「同性愛の教師を追放しよう」という（6号）提案が出されたの
州の小、中、高あわせて七千の公立校にいる22万人の教師のうち、推定一割（三割という説も！）が同性愛者なんだそうで、ホモの教師は子供に悪影響を与えるからというのが提案推進派。それに対して人権擁護の立ち場から反対運動が起きた。ジェーン・フォンダ、アンソニー・パーキンス、ラクウェル・ウェルチなどスター達も、提案反対の資金調達パーティーに参加　バート・ランカスターは、その席で「私は6号提案に反対である。なぜなら私もしょっちゅうやってるから」というジョーク（?）を発表。あるホモの男性教師の意見としては「人間の性意識は多くの要因で決定され就学以前に形成されることが証明されており、教師が

先月号で紹介した「家族の肖像」を上映中の（1月下旬まで）、岩波ホール（03―262―5252）で3月下旬よりロード・ショー。地方の人も東京に来る機会があったら時間をさいて見てね。

MOVIE

夜叉ヶ池

豪華写真集「板東玉三郎」（篠山紀信撮影・講談社 12000円）も、先頃発売された、あの梨園の名花玉三郎が、ついに映画に初出演！しかも主演女優として、となると、これはもうJUNE読者必見♡原作・泉鏡花、監督・篠田正浩の松竹映画「夜叉ヶ池」だ。越前、三国獄の山麓の竜神を封じ込めたという夜叉ヶ池を舞台にくりひろげられる幻想と妖美の世界。鐘楼守の役に加藤剛、その妻百合と、池の主白雪姫の二役を玉三郎が演じるのです！公開される夏が待ち遠しいことですわん♡

ゲイであることを公然と宣言し、世の中のあらゆる偏見を取り除こうと演奏活動を行なっているトム・ロビンソン。現在、来日中。

MUSIC

メンバーはともかく、そのサウンドの〝美しさ〟では定評のあるロック・グループ、キャメルが来日するのです♡最良のアルバム「ブレスレス」を発表した後でもあり、キー・ボードの音の変化を大きなヴィデオ・スクリーンに色彩化できるカラー・シンセサイザーという新兵器を使用するらしいし、ひょっとしたら、レーザー光線を使った先日のジェネシスのコンサートをしのぐ、すばらしいステージになるかも…

来日スケジュール

1月16日 渋谷公会堂
17日 大阪厚生年金会館
19日 名古屋市公会堂
22・23日 東京厚生年金会館

手遅れ情報

全国のマンガ、アニメ、ロックの同人誌が一堂に会するのが、今度で10回目をむかえたコミック・マーケット。終わっちゃったのよねー、それが。今度の時にくわしく紹介しますねー

同性愛であるかどうかは影響がない」親の立場からは「教室でトラブルさえなければ…」男の子たちとしては「先生がホモなんて、僕たち気持悪いなー」女の子にとっては「男の子に影響あるからよくないわ 男の子がホモになったら私たちとつきあわなくなるもん」だって 結局、提案は否決されて、めでたしめでたし 日本でも、そろそろこういう議論が出てくるかな
テレビ朝日「ワールド'78」より

●

そのカリフォルニアの〝同性愛者の主都〟とも呼ばれるサンフランシスコでは、十一人いる（！）市議会議員中、ただ一人の〝反ホモ派〟で、「同性愛者の権利拡大法案」に反対していたホワイト前議員が、「ゲイ・フォー・ゲイ（同性愛者の代表には同性愛者を）」をスローガンに、サンフランシスコ市民七十万人のうち、約六分の一を占めるゲイの支持をうけて当選していた〝ゲイ・リベラル派〟のミルク市議会議員と、モスコーニ市長を射殺するという事件も起きていた（11月27日）。日本でも、そろそろ…まだだろうな
（11月28日 読売新聞より）

●

一方、かの大英帝国も「世紀のスキャンダル」のソープ事件で大騒ぎ 前自由党党首で現下院議員のジェレミー・ソープ議員（49）が殺し屋を雇って、元モデルのノーマン・スコット（37）との愛人関係を清算しようとしていたんだって ソープは殺人共同謀議も同性愛関係も否定してるけど、スコットの証言によるとこんなふう「'61年ごろ、私がソープ氏の母親の家に誘われて泊まった夜、ソープが本を手に寝室に入って来た。渡された本は男性同志の愛を描いたジェームス・ボールドウィンの「ジョバンニの部屋」というものだった。やがてソープはパジャマ姿で戻って来ると、私にキスをし、セックスをした。私はソープの母親に気づかれないように盛んに気を遣った。ソープはその後私のために、ロンドン市内のアパートを借りてくれたが、そこへもよく泊まりに来た。ラブレターも寄こし〝わがバニー〟と呼んだ」（12月4日 夕刊読売）同じく英国労働党の下院議員モーリン・コルクホールさん（50）は〝レズ〟であることを公表したそうだし、去年の暮はホモホモ・ニュースでいっぱいでした。さて'79年はどーなるんでしょうね!?

★★

READERS' WRITERS' & EDITORS' BEDROOM

読者と 作家と 編集部の ムフフ

超過密投稿者天国濃縮お手紙集

カット／さべあのま・さわだたく・高野文子・高橋祐子

♡あけましておめでとうございます
★昨年中はいろいろおせわになりました
♡今年もどうぞよろしくおねがいします
★今回もたくさんのお手紙が届きました
♡むりやりつめこんでみましたの、ムゴイ！

こーゆー本はほかにないもんね

松崎せんせ愛してるぅ♥女城あさまさんのイラストの男の子もかわゆい♥久掛彦見さんの「夜来香」いかったよ！なんだか知らないけど私ものすごく気に入ってしまった。ほのかに香る程度のHOMO度っていうのに魅力を感じちゃうんだなー私ってサ

◆ 宮城県石巻市　富塚恵美子

耽美写真館を田に見せましたところ「奇麗だけど男みたいね」ですって。私は訂正せず「ほんと男みたいね」と合わしておきました。クックッ…。そして得したと思った事は、JUN文学リスト、あの中の¼ぐらいしか読んだことはなく、ああこれで捜しまわることなく愛読書が増えるでしょう「ありがとうございました」おれい。今度はその手の映画の作品の紹介などして下さい。欲をいえばそのシーン（場面）も載せていただけると嬉しいんですが。

◆ 世田谷区　稲本茉莉子

おもしろいというよりうれしくて涙の雨におおわれたのは、なんといっても折りこみピンナップのBOWIEはん♡あ～私彼さまに「ホ」の字（つ…つい古い話を…おばんじみてしまって）でんねんわ。う、美しいほっそりしなやかな彼の体。おー♡よ、よだれが…。女城あさませんせの絵とってもかわいくて美少年のもつ純情な姿の中で影をみているような姿がとてもきれいですてきでしたわ。ストーリーかいて下さいな。ヒワイ画コンテストもえかったぜよう！前回とちょっとちがったくみあわせだけど12月号の方がよかったよ。特に武生茉莉はんの絵はもう……本屋で買ってそくこのページを見る。いつもの私は10分ほどこの絵にみとれてしまって（ム…ムチの傷あとがなんともいえん）よい、よい（あ…私はSMの気があんのか、こっ…こわっ）。おもしろくなかったってゆうページはおせじでもなんでもなくて、ありまへん。すみからすみまでたのしんでよみました。

◆ 大阪府東大阪市　阪本美由紀　15才

そう！共感したのが、竹宮さん、中島さん、ささやさんなんかの不確実性座談会。（中島さんの講座も創刊号よりくだけていてわかり易かった。これからも庶民に通じる言葉で書いてもらいたいと思う。むつかしい言葉には注釈などほしいと思うのは私ばかりでせうか？）少年マンガのキャラクターや、好きな男の子が2人組だとか、ワイセツの定義だとかースゴク、共感する部分があって、あれえというか、やっぱり……というか、ただただ感激のひとこと。

◆ 世田谷区　前嶋紕紗

今月号は、もーもーはじめのBOWIEのピンナップを見ただけですぐに買ってしまった。よくみたら真ん中にも出ていて、もーうれしさのあまり、道を歩いている途中も思わず顔がくずれてしまい大変でした。ホント、BOWIEってなんて美しいのでしょ、ただ、ただため息がでるばかり…。それにしてもJUNはよい本だなー！こーゆー本はほかにないもんね。

◆ 新潟県三条市　佐藤いずみ

No.2の中でよかったのは、なんといっても松崎せんせの〃デミアン〃のピンナップ！エミールの方もかわゆいけど私の最愛のマックスをあんなにステキに描いてくれるなんて、

「ドミニック」なんといってもハイライト！さし絵も良い、良い。妖艶で……文が涙がこぼれるほど良かった。

「鳥のように」ううう私こーゆー話だあい

ボウイさんの次は、もちろんジュリーの特集ですよね！ジュリーの色っぽい写真をたくさんお願いします。TVドラマ「悪魔のようなあいつ」をくわしく紹介して下さいませ♥もちろんジュリーのイラストもよろしく。

♣ 東京の珠理亜

ムフフ告白の大特集！（ワッヤラシーといいつつ読んでます。）

♣ 八尾市　服部元子　19才

竹宮恵子先生に「姫くずし」の続編をかいてもらって下さい。ヨロシク！

♣ 杉並区のボクちゃん

声優さんにソドミーについて、語りあってもらいたい。すばらしく甘い声(?)を持つ、N・N氏と、おかしな語尾あがりの奇声を持つ（そこがまたカワユイ♥）Y・Y氏にぜひ。（これ、やってくれたら、これからもJUNを買う！）

♣ 島根県松江市　ゆかり

ところでJUNともあろう雑誌がなぜ、あの少年人形師四谷シモンさんを取り上げないのです!!シモンさんを出してくだされ。

♣ 横浜市旭区　熊谷さとみ

どーして和田慎二が描かんの？どうして松本零士が描かんの？

♣ 神戸市　新井公代　17才

大島弓子さんをたくさん載せて下さい。もっとヒワイな記事も……。

すき！でも絵は好みではなかった。
「不確実性座談会」モンクなくおもしろかった。諸先生方の好みもわかった。
「昼の月」しっかしうまいですなあ！あの心理描写絵でモロに出さなくても（例のシーン）わかってしまうんだなあ……とテキトーに想像して楽しんでいる。
「CLOWN」これも良かった、なんつーか詩情が出てんのよネ。

広島県因島市　出原昭子

ホラなんとなくこう、せまってくるというのかナ

JUNいーですよ、とっても！1・2号とも田に買ってもらったのですよ。ムフフ…♥J・セリエさまの小説っていーわア、すてきですワン。はやく出して下さいませ。でも竹宮さんの絵がまたいいんだナア。ホラなんとなくこう、せまってくるというのかナ。それもガンガンでもソヨソヨでもなくて、じわりじわりというのかなんというのか言いにくいナ。とにかくそんなかんじです。

新潟県南蒲原郡　小嶋千加子　中2

◆

№1と№2をくらべると　どことなーく№2の方が、エロの減少ぎみって感じ。目がなれたせいかしら？それから一言編集さんについて！JUNの編集さんって他誌の編集さんよりずっと人間的で、とっつきやすいみたい愛してしまう。ムフフフフ

神奈川県中郡　松井詠子

◆

ぜーんぶ良かったけど、特に「鳥のように、愛のように…」が良かった。それから「ドミニツク」この小説シリーズ（？）はぜひずーっと続けてほしい。今J・セリエさんのをあつかっていますがJUN文学リストの、読んでいないのがほとんどなのです。だからこういうものもあつかってほしいのです。

宮崎県小林市　塚田恵子

◆

「世界のJUN文学海外編」は、なんと涙のちょんぎれるようなうれしい企画でしょう。しかしあまりのヒワイさワイセツさにもう二度と読むまいと思った「悪徳の栄え」がAランクとは!?自分の未熟さを痛感しました。と同時Bランクのハードさによだれがでてしまいそうです。

千葉県　御園生英美子

◆

見終ってうれしさのあまり、いささか興奮気味！JUN文学リスト（西洋編）はなかなか参考になりました。だいたいジュネぐらいしか知りませんでしたからね、楽しみがふえましたね。てっていてきに読んでみようと思っております。ところで日本篇には、もちろん稲垣足穂氏が出てくると思うのですが…。少年愛、ホモの歴史というのはなかなか古いのですよね。稲垣氏の本を読んで私初めて知りましたの（こういう所から世界史への興味がわいてくるのです）。また、どうせならJUN映画リストもやっていただきたい。それから、ヘルムート・バーガー、ビヨルン・アンドレセン、ルドルフ・ヴァレンチノの特集も。

藤沢市　長谷川まり

◆

金第一行助の事件簿おもしろかった。カッコ良いのがたくさん出てきて。もっと、もっとムフフの場面などをチラ☆チラ☆というかんじに出したら良かったと思う。

浜松市　犬童順子

◆

中島梓さん　イヤーうれしい。涙が出るほどうれしい。「悪魔のようなあいつ」のあのシーンを覚えていてくれる人がいたなんて感動ですよ感動!!あの時私は高校3年でしたっけか。もうボーッとしちゃって……もう一ケ所ステキな所があったんですよ。沢田研二さんがやっぱ弾き語りか何かしていて立上った時くらっとたおれるんですよね。そしたら藤竜也さんがひどくあわてて彼をかかえ上るわけです。その時の藤竜也さんのあわてよう、沢田研二さんの色っぽいこと。前後はあまり良く覚えていないのですけれどやけにそのシーンだけ思い出しちゃってあれは本当色っぽかったのですよ。あのからみ……。ないんですよねこのごろあんなのが…どうしてでしょう？

北九州市　山本晶湖

◆

ドジさま、吉田秋生さん、竜樹諒（プリンセス）さん、南雲慶子さんを出場させよう！特に南雲けー子さん「ぶーけ」に「セシルのかがり火」というのをのせてたけど、美少年がたくさん登場してすてきでしたわヨ。それから大和和紀さんも出してほしい。あの人もいろいろとHOMOがにおうマンガを描いております。他には名香智子さん、萩尾望都さんなど。竹宮恵子さんはモチロンですわ。

石川県能美郡　山本千鶴

不満タラリコだったちゅうのに。

よかったの…「夜来香」久掛彦見サンの〝からっ〟としてるところがすきだった。近ごろHAPPY ENDじゃないとボロボロ泣いてしまう娘になってとってもつらいのです、〝じめっ〟としたのは、おちこむからこの感じ大切だと思います。「ドミニック」J・セリエサンの毎月楽しみになりそー先のやつもすてきだったけどなんというか、竹宮さんのイラスト……邪悪なやーらしさと、生きていることの美しさが同居してるみたいなのよね。これからやってほしいこと……無理かもしんないけどストーリーを決めといて、いろんな人がその登場人物を描きわけるの。たとえば、竹宮サンは少年をお描きになってからむ男の子と少女は、大島サンと望都サンがお描きになり田親は森川久美サンだったとか…ダメかなあーダメだろうなあーでもおもしろいと思うんだけどなあー。一度見てみたい。大島さんの三浦衣良ちゃんがJ・Pボナールサンとおしゃべりするとこなどを……。

千葉市葛城　Y・U

◆

なぁんたって面白かったのは「不確実性座談会」ですワ！何となくクールでリアリスティツクですネ。もひとつ！ささやさんと秋生クンのお話もおもしろかったです（聴取不能ってとこがイミシンですナー）。とどめは「JUN文学全集ー世界編」なんとゆーか、とても参考になりました。でもですね、ひとつ決定的なのをお忘れですよ。バートン版／大場正史訳「千夜一夜物語」全8巻。これはすごいですゾ。わたしはもう読破しましたけど、少しは出てくるのですHOMOも、あとはマトモなやつとレズも少々。

北海道上川郡　奥野祐子　14才

♣

DOZI様のをたくさんたくさん載せて下さい。

岡山県岡山市　川村百合子　19才

♣

なぜ山本鈴美香先生を載せてくれないんです！

千葉県大網　武井直子　13才

♣

もしお願いを聞いていただけるなら高橋亮子先生の作品を載して下さい。

大阪市　岡本有理子　16才

♣

森川久美のイラスト、何故載せんのじゃ〜!!

板橋区　中塚アキ子　20才

♣

青池さんのラフスケッチを公開させて下さい。何が何でもそうして下さい！

板橋区　藤壺紫　17才

♣

岡田史子女史のマンガをぜひ載っけてくらはい。

鹿児島市　江田恵子

♣

美少年をふろくにもつけて下さい。ひびき洸のPIN・UPをのつけてちょうだい!!それから本屋さんで買うのが恥しくならないように表紙は「螢雪時代」として下さい。

松戸市　田島純子　19才

♣

巻頭カラーに是非！三波春夫を出して!!「三波春夫物語」をまんがにしてーな。

板橋区　内藤隼人　20才

♣

映画・絵画分野におけるJUN君達の特集を…。さし絵画家の武部本一郎氏描くおのこはすべて美形で有名。是非、彼の特集を（硬派のJUN君の出が少ない）。花郁悠紀子先生、是非、是非、ドシリアスJUN漫画描いて下さい。

田無市　矢島ゆうり

♣

「ウルトラQ」の徹底的特集別冊でもいいから出してくれましたら絶対買いたいんですけれど…。場違いだったかしら…。

★★★

SMについては記憶にありませんが…。まあためしに読んでごらんになるとよろしいです（成田美名子さんがユーティ&みきシリーズでカラマルザーマン王子（?）のお話あげてたのご存じですか？あの描写がモロかかれているのですよ！）。それから東峰子さんの作品、再録してもらえませんか？

岡山市　葉本貞枝　19才

◆

ひさうちみちおさんの「鬼の秋」がよかったです。前とちょっと感じが変わったけどNOWでええで。内省的になったのかしらん？美少年カタログと不確実性座談会はおもしろくてタメになりました。ささやななえさんのイラストもよかった。宮田陽子さんもおもしろかった（まさかこの人がJUNにでるとは！）ケン吉さんの「プリティ・ベイビー」はケッ作じゃ！このお方のマンガは翔んでるで!!

神奈川県川崎市　中村京子　18才

◆

「日本の美少年たち」や「黄昏詞華館」といった試みは、ずっと絶やさないでいってほしいと思う。こういう硬派の文章が雑誌をひきしめるのである。全体的にみて創刊号より良くなっていると思う。ひさうちみちお氏は独特の味があるし「昼の月」は白黒がなんとも美しくて良かった。「夜来香」もとてもいいムードがあったので、又載せてほしい。

富山県中新川郡　大畑節子

◆

「極限状況ムフフ・アンケート」おもしろかったので母にも質問してみました。
私——朝めざめたら美少年に変身していましたさあどうする？
母——うれしいわぁ。
私——どんなことする？
母——きれいな服を着て街へ出かける。
私——それから？
母——テェスコ（そう発音した）に行ってGO
GOをおどる。
ですって。それから会員募集お願いします。「紙面の独裁者」詩、小説、イラストなど何でも。JUN的なものの大観迎。あなたの書きたいこと、言いたいことを広くみんなに伝えましょう。

〒89−25　鹿児島県大口市里3216−54観音寺順子

◆

あつかましく、2度目のおてがみさしあげます！私ね実は、1度目の手紙の時ひさうちさんの羊かい、あれがものすごく嫌いであの人は出さないで！とまでわめきちらして書いていたのです。それまでちゃらちゃら、きらきらした絵にならされてきてたでしょう　なのに突然あのひさうちさんのなんともいえぬ絵とストーリーをまのあたりに見て〃否ー〃と考えてしまったんですよね。でも今回の作品で自分の考えの変化がはっきりわかったのです。否ーどころか、なんて、なんてすばらしい！表情はなんともいえずその感情を表わしているし、数少ないセリフで充分私たちに何かをうったえてきていて、その世界にひきずりこまれてしまいました。とにかく彼の世界は新鮮でした。これからすごく楽しみです。前回で否定した事、ひさうち先生お許しくださいませ。

三重県名張市　川北紀久子　15才

◆

ナ、ナント青池保子氏が載ってないじゃないですか!?私としては創刊号の〃ポスターだけ〃っていうのにも不満タラリコだったっちゅーのに。（せめてヒースだけでものっけてほしい！あの名作「イブの息子たち」が泣いてるぜ）それにしても「イブ…」の番外編「プリズナー69」はおもしろかったヨ。あっそーそー「有名な先生方によるヒワイ画コンテストやれー！」っていう意見、私も賛成！

東村山市　大出真紀

美少年マップでもつくって下さいませ

はじめまして。私は悪友に「JUNって知ってる？」と聞かれたのがきっかけで創刊号を買って以来やみつきになりました。実は私のもう二人のお友達T子とK子に見せましたところ評判がよくて……T子達はSFアニメファンなのですが、グレンダイザーの歌を「切り裂け今すぐコージの服をー！」と突然歌い出し私とその2人はSの気があるのでは!?と疑問を持ちはじめました。実は去年私の学校でやっぱりそんな事があったよーです。ちなみに私の学校は女子校です。とにかくJUNの皆様私はこれからも期待に胸をふくらませ発売日を待っています。あっと私は匿名希望です！

大阪市東住吉区　アブノーマルを求める娘

◆

あのね、ウフフ……わが城下町米沢の歴史の本をみていたら（読まないでひらひらみてたの）なんか目がある一点に……何でしょうねウフッ

JUN様には話しちゃお。一七八八年、男色衆道の停止、だって。停止ってどういうこと？禁止ならわかるけど……私は男色衆道奨励の停止ではないかと思いますのヨ。たしか一七八八年は上杉鷹山（治憲）の時代、米沢は石高のわりに人間が多くて困ってたから賢い鷹山さんの人口制限対策のひとつだったのではないかしら、奨励っていうのは。美少年をモノにした家臣には御褒美あげたりしてね。で、それが一応の成果を上げたんでもういいじゃろーと停止という運びに……わ～い鋭いなア梅原猛も真青だ！いやいやそれよりうちの短大の教授が真青だったりして、ハハハ…ところで米沢は美少年の産地なの。それから福島県の会津若松も。あそこは品のいい美少年が多いよ。なにしろ（紅顔可憐の少年が死をもて守るこの磐）の歌も名高い白虎隊の藩だから、山形市とか仙台市とかはダメよくない。それからんーと飛んで、飛鳥にはと

おしいと思う！本当に。何のことかと言うと、わがB・Fのこと。それはある雨の日、彼はある、レコード店に入ったのです。そこで太田裕美のL

校から駅へ続く帰り道を一人でおりていったのだそうな。夕ぐれのうえに雨ふりで、うす暗かった。すると後から男の人がかけてきて、弟に「あのー

思い立ったのです。で、まず弟の紹介をします。S40、3、3生まれ。13才中2。まゆが濃く太くきりりと一文字、目はぱっちりとつぶらで、その

長野県小県郡　♣　成沢誠司　22才

魔夜峰央先生のストーリーをぜひ。ラシャーヌ君かパタハロ君を登場させて！かわみなみ先生も新人ながらすてきよ、うふっ。

西宮市　田中七星　18才

ううう……大学に落ちたらJUNのせいなんだから——!!

東京都府中市　♠　小松麻子　17才

創刊号を書店で拝見したところ、とてもユニークなマガジンだったので、これは第3号あたりで廃刊（それとも発禁）になると確信し、さっそく記念に買いました。

堺市　♠　徳岡明之　23才

JUNのいいところをひとつ、予告が無いんですよね。だから、もーきたいしちゃってサそれでもって、そのきたいはずれってのがないんですヨね

名古屋市　♠　新矢恵

JUNをカウンターにだしたときの店員さんの視線が官能的。

三重県員弁郡　♠　眠々ぜみ

JUNは私たちにとって魔性の宝石箱であってほしい！

長崎県西彼杵郡　♠　ステファー

自分一人で読むのがすごくおもしろい。一人じめしたい感じ。人に読ませるなんてもったいない。

横須賀市　♠　佐々木妙子　19才

もっと意外なマンガ家にも描いてもらったら？

長崎県壱岐郡　♠　小畑由里子　16才

吉田秋生さん、対談だけですが是非次回は

Pをみていると、変なおじさんが寄ってきて、「それだれ？」と聞いたんだって。「太田裕美」「売れてる？」「ええ…まあ」「君、こんなんがいいの？」ところまではよかったのです。そのあと、そのおじさん、彼の肩に手をのせて、「お茶のみにいかない？」とさそったのです。彼、まっ青になってそのおじさんから逃げてしまったのダ。私がおしいと言うのはそこ！なぜお茶をのまずに帰って来たのか、私は彼をとっちめてみると、彼いわく「おれ、そのしゅみない」そーです。JUNを読んでる男性諸君、弱気を出さず、さそわれたら行きつくとこまで行ってみよう!!

高知県高知市　葉月紫苑

ムフフ告白集

♥

ぼくの友人T（♀）は、ある時古本屋で福井県には売っていないだろうと思っていたS誌を見つけてしまったのだ。600円はたいて買い、家に帰って読んだのだ（気持ち悪くて写真はすっとばしたそうだが）。頭がクーラクラになって彼女は2階へ上っていったのだ。弟と話でもしようと思って見ると、高一の弟と高二の弟が一つぶとんで寝ているのだ。彼女は頭がガーンときて2人をたたき起こしてしまったそうだ…。

福井県坂井郡　荒木淳一郎

♥

寿英……なんと読むでしょう!?私の名前なのです。ふつう「よしひで」とよんで男の名前とまちがえるのです。私を見れば「よしえ」と読みますが…いつか忘れたけれど、電話がリーン、リーンとなって。私が電話をとると「あの…よしひでさんはおられますか」とおっさんのような声。以前にもまちがえられたので「は、はい」「ああ、君だったの……今何してるんだい」「えっ？あ、あの勉強ですが」「何の勉強？○○の勉強なのか」「えっ？あ、あのどちらさまですか」「わし？わしはたかひでくんだよ」「はっ？は、はい」「きみはいくつ？まだ小さいの？」「え～～！あ、あの（言葉にならない）」「声がわりはまだなの？」「何才？」「18です！そして私女です。」「沈黙（相手のおっさん）ガチャ～ン。」な、なんだあれは、おっさんのホモか……オエー！

大阪市　園井寿英

♥

MYりとるぶらざあのショーゲキの体験談であります。このあいだ彼は、クラブで遅くなって学

入れて下さい。」といったんだそうです。一見サラリーマン30才前後だったそうな。「どうぞ」と弟は彼を左側へ入れてあげた。しばらくだまって歩いた。ところが弟は、おしりをなでられたような気がしたのですと。こういう事にうとい弟は気のせいだと思ってかまわず歩いた。そしたらこんどは前に何か感じる。びっくりしてみるとその一見サラリーマンはにやりと笑ってそこをなおも、なでなで、たまらなくなった弟はそこで逃げてきたそうなんですが……私のかわゆい弟を、うーっ。なぜ本格的におそってくれなかったのかしらん。そうすればもっと中味の濃い体験談が聞けたものをざんねんだわ。ちなみに弟は高1、16才、172cm 52kg。

匿名希望

♥

修学旅行の最後の日でした。女の子ばかりの部屋ではヒワイな話に花を咲かせてましたが突然1人が、ストリップしょうと言いだし、その張本人が、パジャマのボタンに手をかけぬぎ出したのです。部屋は真暗にしてその彼女を寝っころがって見てる私達が懐中電燈で照らして…ムフフもちろん音楽付きで。その子はぬぎながらああっ…あ～ともだえ声を出しながら自分で愛撫しはじめたのです。まるで自分がベッドの上でSEXしてるかのよーに。そしてストリップも終りさあ寝よーといって床に皆入ったのだが見渡すとあっちこっちふとんが盛りあがってるではないか。そーです1つふとんに2人いるのです。私も最初1つのふとんに1人で寝てたのだけれど、となりのふとんのA子が手招きするので彼女のふとんにもぐりこんだわけ（しかしこんな事書いていいのかなー??）A子が、ね、あなたの胸見たいと言ってきた（ふとんの中なので懐中電燈でちょっと明るくして）。そして、2人とも脱いじゃって……あとはそーぞーしてください。あー私大学で教職とって、つまり学校の先生になるのです。こーゆー先生もいるんですからね。

真理子

♥

私と弟の関係を告白します（なんちゃって…）。私が少年愛云々に興味を持ちだしたのは、2年程前のことで、どうしても男の方と、男として関係をもちたい、なんて思ってたんですが、それはむろんかなわぬこと。そこでせめて倒錯の愛に生きようと、かねがね素質があると思ってたうちの弟（当時小6）をまとに、近親相姦でもしようかと

まつげの長いこと♥弟は私好みの黒さを保ってかわゆいのです。小さい頃はただただかわいかったけど、最近は多少たくましさも加わり、このままうまくゆけば精悍な美少年になること疑いなし！体は小柄で（つまりチビ）、スポーツもしているのでひきしまっております。で、弟と私は小さいころからころころ一緒にころげ回って遊ぶのが好きで、たいていそれは大きくなるとやめるのに、なぜか今だにじゃれ合っております。たいていは私のベッドの上で二人で体中くすぐり合ったりして喜んでいるのですが、時々「吸血鬼ごっこ」というのもやります。片方がベッドの上にあおむけに寝ていると、片方がそっとしのび寄って首筋にすうっと息をふきかけるのです。うぐぐ、この快感…というか悪感というか…。その役を順番に交代して、たいてい3回ぐらいで終ります。この遊びは私が「ポーの一族」に狂ってたころ考えついたのです。それから、これは他の子もやると思うんですけど、女装ね。田のスカートはいて（あたしはスカートあんまりないのです）かつらなんかかぶったりして鏡見て喜んでるのですよ。弟が高校にいって文化祭なんかで仮装でもするときは、あたし、どこにいようと、とんで帰って美しく女装させてやるつもり。それから「オネエのベッドは気持ちがいい」って言ってしょっ中部屋に来るんですよ、弟は。この間はついうとうと眠ってしまい、はっと気がついたら2人でひとつのベッドに寝ているのです。朝、田が起こしに来たとき仰天すると大変なので、私はそのあと弟のベッドに移ったんですが、自分のより弟のベッドの方が気持ちよいのだけどなあ。ついこの間まで一緒におフロに入ってたし、去年弟に性教育（なぜ赤ちゃんが生まれるか…etc）してやったのも私だしこのまま何年かたったら私達、おもしろい関係になると思いません？2人で大学に通うのにアパートかりて一緒に暮らしたりして…♥てんで少年愛とは関係ないけど、美少年と姉（けして美女ではない）のヒワイな関係というのもおもしろいかと思いまして…。友人達は私と弟が何して遊んでるかをきくとギヨッとするので、そんなにヘンかなーと思って書いてみたんですけど、やっぱりヘン…みたい…ね。まーとにかく私は処女を弟にささげるつもりなのであります。こんなことかいていいかなーと思ったけど、事実だから仕方ないわ。

福島県郡山市　M美　17才

びっきりの美少年が……一人だけさみしい！JUN様、美少年マップでもつくって下さいませ。それもって旅するの、美少年の多い町から町へ……JUN族とよばれたりして、なんという栄光！期待しております、よろしく。
美少年は全部ナニだと信じるジャマことY・M

◆

そうそう一流マンガ家のヒワイ画も見たいな、一度萩尾望都が自分の部屋の説明をするのにヒワイ画スケッチブックと示してあったのを見てその頃は純真だった私はフーンこんな人でもそんなことするんだなァと思っていたものでした。
でも望都さんにしろ山岸さん、竹宮さん、森川さん、大島さん！皆さん現在の仕事に追われていて…JUNに描いてくれるかしら。是非そうして欲しいこの手の希望はたぁーくさん来てるだろうけど多ければ多い程実現しそうな気がするものだから、彼女達の格調ある読みごたえのある作品が載るとJUNも楽しみになる。今一般に楽しい雑誌ってなくって、どれもどこかものたりないのです。

札幌市　市村美子

微妙な少女心理を少女たるものが理解できないでどうするの

意外だったのは宮田陽子さん。よく考えてみれば少コミ等にそんなふうな場面もかいていたなあと思いつくのだけど、でもこの1ページもの彼女らしくてよかった。ななえさんこんどはぜひともストーリーを。このごろみかけないけど絵が1枚ではさびしいかぎり。あなたのシリーズ「はる・なつ・あき・ふゆ」とても好き。
見たいナア。大矢ちきちゃまには赤ちゃん愛というか、ちびっこ愛というか、そういったのが今の彼女にはあってるみたい。
山田ミネコ女史に描かせると、やっぱりハルマゲドン的心理学的なものになるんでしょうネ。望都サマは今「スターレッド」がとってもイイ具合だから乱したくないし、そうネ和田槇二さんにやっぱりかかせてみたいナア。沖田と労咳浪人との対決篇があったけどアレ強烈だったナ。

前のフランスの話以来気に入った。「真貴子」もよかったけど。吉田秋生さんにも描いてほしいけど、彼女「カリフォルニア物語」が始まったばかりだし…。誰かの意見・内田善美さんにHOMOかかせるの賛成。それから山岸さんの「ミッシェル・デュトワ」木原ドジさまの「アングレアヌ」のその後もぜひみたい。ついでに大和和紀さんの「ギデオン」もしばらくみてないナァ。樹村みのり女史に描かせるとどんな風になるかしら。三原順さんの四人組（はみだしっ子）をもうちょっと成長させてそれ風にしたらどうだろう。山本鈴美香さんの「七つの黄金郷」に出てくる何人か——主役の二人、何とかトカゲとロレンツォ、主役のすぐ近くにいる男二人——を組み合わせて番外篇として出すの、

◆静岡県浜松市　和栗和子

「哀しきチェイサー」を見ました。内田裕也って人の声にドスがきいてないのがおしいなーと思いました。でもすれた感じはとってもよかった。サングラスがすごく似合ってましたネ！それとジュリーはとてもGOODでした。刺された時「武司さん！」て何度も呼ぶところ感激しました。でもJUNに載ってるくらいだから、もちっとそれらしいかと思って期待したんだけど……TVだから仕方ないかもしれませんネ。そんなどぎつい場面できないもの。でもジュリーが倉庫の中で死んだ時、おもいっきり抱きしめてキスぐらいしてもいいんじゃないかしらーやっぱり、そこまでいくとヤバイかしらネ。友達と「もっと～の場面があってもいいのにネー」と話していましたけどTVのドラマだったらあのくらいが丁度いいのかも。知っている人が見れば、「ああ、そうなのかなー」なんて思えて、知らない人は知らないでそのまま……そのくらいがいいと思うのです。

世田谷区　中島みゆき

知っている人が見れば……知らない人は……

私めは、小説がある方がいいと思ってます。マンガが全てではないのです。そして文章だけでも全てではない、と思ってます。どちらも載っているのがいいのです。ジュスティーヌ・セリエさんの文章はなぜに幻想的なのでしょうか。あってないような、それでいてしみ込んでくるような、そんな感じがするのです。いくらか悲哀感が漂っているのもみのがせないと思います。悲しさとか切なさとか苦しさとか愛情に対するすべての感情が流れていながら幻想的で浮いているようで、透明に近く感じます。そんなふうに自分が文章の中にひき込まれていくのには、お恵様のイラストが最高です。完全にはつきりと描かれていながら実体がないように感じるのです。絵で見て想像するのもよし、文章をひたすら読んでとっぷりと充実感の中につかっているのもいい気分です。今、私自身マンガの中につかりきっているので、どんな種類でも小説を読みたい、読まねばならんと思っているので、こういうふうに手軽に読めるのがうれしいです。JUN文学作品リストに載っているのを片っぱしから読んでいこうと思います。小説、やめないで下さいね。ジュスティーヌ・セリエさんにお逢いしたいわ!!私もイラストが描けたらなあ……。それから「日本の美少年」という企画が

うれしかったのです。私、古代の少年愛に興味があったのです。でも読めないし、どのへんにどう書かれているかなんて全然わからないし、自分でやりようがなかったのです。それが、載っているんだもの。
松田先生、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。ちょっと変わって、私の学校の国語科の源氏物語が大好きな先生が「女はきたない、けがれている」とよく言うのだそうです。ずっと昔から女という生き物はそうでなかったか、と思います。神はアダムを創り、アダムのあばら骨でイヴを創ったでしょ、そこでも差が生まれていると思うー。枕草子にも、JUNでも何となく感じるし、いろいろ読むと考えこんでしまう。少年愛とかに注目することもやはり現実逃避のような気がする。どんなものでしょうか。私には深く解らないのです。書物を読まない人間だから。これから考えたいと思います。でも、美少年・美青年好きですよ。特にホルバート、メチエック氏が、あのお方がいてくれるだけで最高の幸せが得られます。特大ポスター描いていただきたいわ。私の理想です。すべてに濃い？人間になりたい。女に生まれたことを悔やんでおります。しかし、今のままの心を持って男になったらアンバランスな人

作品を！

♠佐渡郡　貫井恵美子　19才

創刊号発売の時のこと、いきつけの本屋へ行って求めたところ、本屋のお姉さまが「やっぱりね」とおっしゃった。で、問いただすと別コミとプリンセスを読む連中は大体JUNの読者になるとか、本当でしょーか。？

♠福島県郡山市　佐竹ふさ子　21才

ヒワイ画とか理想の美少年とか自由でユニークでいいわぁ。特に面白くないってのは無かったけど、男同士でどうやるのか私よくわからないの。

♠埼玉県秩父郡　坂本洋子

JUNを読んでる女の子は、自分自身を安全地帯にかくまった上で、赤の他人に自分の身代わりをさせ欲求だけはシッカリ満たそうとするずいぶんとチャッカリした考えを持った方が多いのではないだろうか。

♠兵庫県相生市　佐藤貴男　18才

このような雑誌が出版されたなんて、日本もついに超文明国（?）の仲間入り。

♠高知市　徳平智子

格調高くしてほしい。品良くしてほしい。

♠東京都立川市　山口真実　19才

もぉーっとひわいでもたえられまぁーす。

♠北海道室蘭市　茅野小百合　16才

ファンタジックな雑誌として成長してほしい。

READERS' WRITERS' & EDITORS' BEDROOM

間になってしまうでしょうね…。

静岡県浜松市　山下早香

◆

千葉県の渡辺久美子さんの投稿を読んで、ずいぶん好感をもってしまいました。オトモダチニナリタイワ（園佳也子調で）まーそんで愚説ながら私の意見を。人間というもの去られれば追いすがり、うとまれるほど燃えあがるしこれは今更言わずと知れた恋の真理であります。さて、ここに絶世の美少年（美しい男でも、もちろんかまわない）が居たとします。もちろんあなた（この「あなた」は英語で使われるところのＹＯＵつまり「不特定多数のあなた方」であって個人をさしていうものではない）は美しい彼を愛してやまないわけだけれど、その彼が自分を愛してくれるＨＡＰＰＹ－ＳＴＯＲＹもいいが、世の中そんなに甘くないならば、あなたの愛してやまない彼がなんで他の（多くは自分と同じかそれよりさらにつまらない）女のものになるのを許せるだろう。ということで、女には見向きもしないようなシチュエイションを仮定するわけですね。つまり同性愛（少年愛）です。さあ、彼は決して自分を省みない（同時に全ての女をも、なんとなればあなたのどこが悪いのではなく。ただ女とは一線をひいた存在だからなのだ）。倒錯の恋に身を焼く彼、その背徳の美に満ちた姿が一層あなたの恋心をかきたてる。おお、このパラドックス！これこそが複雑にして単純なる女を酔わせ、しびれさすのです。もともと女の子に支持されるものに紅一点ものがあると思うの、紅一点いいですねえ。ところが女の子たちはこの紅一点嬢に自己投影するだけではあき足らず、彼女すらストーリーの外に追い出してしまうようになったわけ、主人公の少年達があまりに魅力的であるがゆえに。

その上、多くの女の子には少年願望（男の子になりたかったという願望、もちろん私も持っている、今だに）があり、世に「男の世界」などという幻想があるので、なおさらこれに拍車をかけるのでは、ありますまいか……。

川崎市　菊地陽子　22才　しゅふ

◆

少年愛をみとめて女性同士の愛をみとめないというのは勝手だと思いますよ。女性の愛については、私はむしろヘタすると、少年愛よりも精神的なものを抽出する必要ありと思うのです。精神的……というと何ですが、私が言いたいのは池田理代子さまなどの筆になるあの手の崇拝的な愛、の弁護をしたいわけです。理代子さまはよく男装の麗人を描きます。代表的なものとしてオスカル（ベルサイユのばら）、ユリウス（オルフェウスの窓）などがあがります。彼女らに憧れ、夢み、今も愛しつづけている方も多いでしょう。その彼女らを愛す少女の一体誰がポルノグラフィばりにベッドの上で抱かれたいというような想い方をするでしょうか？キス程度ならヨーロッパ的解釈、〝親愛の情〟でわからぬでもありませんが…。

あるいは「クローディーヌ…！」（池田理代子）や「徒姉ヴァレリア」（福原ヒロ子）には少女同士のその手のベッドシーンがありますが、それは前述の精神愛の結果として自然にあらわれてくるものであったはずです。それでも女性同士はイヤ！という方たち、あなた方は幼い日、ピンクのドレスの人形やバラの花、きせかえ人形、お姫さま…そんなものに一時も憧れたことはないのですか？成長して憧れの視点が〝少年〟に変わったとたん今までもっていたものを捨ててしまったのですか？それならば〝少女マンガ〟もすててしかるべきじゃないですか、肉体的なものだけを否定するのなら少年同士でも女性同士でも男女でもどうぞなさって下さい。けれど精神的なもの…〝レズビアン〟ではなく明治、大正時代女学生的〝Ｓ〟的愛（サドのことではありませぬぞ）までのっけから否定するのはどうでしょうか。そういうものの存在自体おかしいとしても宝塚歌劇、松竹と依然としておとろえるどころかますますブームにのっていくものだってあるのです。ポルノチックなものでなく、ひたすら池田理代子・福原ヒロ子・一条ゆかりなどの描く愛……を考えていただきたいのです。吉屋信子の小説における微妙な少女心理を少女たる者が理解できないでどうするのです。それとも〝少年〟のように〝少女〟というものは減少したのかしら。そしてＪＵＮ編集部どの、小年愛に固執せずおおらかに、バイセクシュアルな意味での〝危険な愛〟を発表できる雑誌にしていただきたいのです。

札幌市　甲地利恵　15才

何で男同士のしかないの？おかしい、絶対におかしいわよ！

ちょっとオ言わせてほしい。ＪＵＮ文学のことなんだけど、何で男同士のしかないの？おかしい、絶対におかしいわよ！女同士の文学作品がどーしてないの？かのボーヴォワール女史も言ってらっしゃるように、女性には誰にも多かれ少なかれ同性愛の傾向があるってのに、ＪＵＮはあくまでそれを無視するおつもり？いーわよ、私が勝手につくるから。

ＪＵＮ文学リスト（私の独断と偏見）日本編

「甘い密の部屋」森茉莉（新潮社）あのヒロイン、モイラの美しさは絶品よ！ナルシシズムに満ちて、ＳＭ的で、もうたまらない。

「死の島」福永武彦（新潮文庫）これを読んで何も感じない人にＪＵＮ文学を語る資格はないと私は言いたい。ヒロイン素子と綾子のひかれ会いながらもすれちがい、死によって結ばれる（？）愛、泣けてくるなア。邪魔な男がひとり出てくるけど。

「美しさと哀しみと」川端康成（中公文庫）ずーっと前にこれをＴＶで岡田茉莉子と中野良子でやってたけど、けい子の音子への恐いほどの情熱が招く破局、けい子の透きとおるような美しさには絶句！

「卍（まんじ）」谷崎潤一郎（新潮文庫）これもつい最近ＴＶの昼メロでやってたみたいだけど……私の趣味じゃないな、これは。だけど現実にはこういう例が一番多いんじゃないかって思うけどね。

「白き狩人」渡辺淳一（集英社文庫）これはちょっと変わってる。ヒロインはご多分にもれず美人なのだけど「私はあくまで征服者」と言い切っている。やっぱりこれもＳＭ的なとこれが多い。特にバレリーナの切断した足をホルマリンづけにして自分の家に置いといて時々見る、なんてのはゾクッ！

「白と黒」横構正史（角川文庫）でもこういう事書くと、ぜーんぜん推理小説にならなくなる。この「同性愛」ってのがこの小説のポイントなんだから、でも推理小説としてもその手の小説としても２級品。

あと吉屋信子の少女小説なんてほとんど〝おねえさま小説〟だし今「ＭＯＲＥ」に五木寛之ガ連載中の小説「四季」のヒロイン夏子とケイの間もとてもさわやかなそれっぽいし……。いくらでもあると思うのだけど、私あんまり知らないの。そこはそれ、ＪＵＮの力で色々な方面へ働きかけて、調べて教えてほしいのです。男性同士のなんかはこのごろよく話題になるのに……不公平だわア。少女マンガ家の中にも、その方面が好みの方って大勢いらっしゃるじゃありませんか。

岡山市　亜摘邦

◆

女が汚れた者と言いおってるあんた　バカにしないでよー♪汚れてるのはあんただけであって、あたしは美しい！汚れたとこなど何もない。美少年にだって触れてやる、キスもする、愛撫もする、いやがったってむりやりやってやる。あー、快感……。

花巻市　無署名

宮城県石巻市　桜内真奈美　17才

♠

あんまりやらしくすると家族にへんなメでみられるから、もっとストオリイまんが中心にしてほしい。姉は母から「お…おまえはホモだったのか」とせめられていましたわ。

埼玉県所沢市　永山真美　18才

♠

少年よ！少年をいだけ!!うわっ♥

北海道札幌市　ジョウ　18才

タジオに寄す

アドリアの海よりあをき君が瞳に
わが身も魂も堕ちて死ぬべし

房なせる黄金の髪にふれしとき
老ひしトリスタンの手はをののけり

み空より降り来し人か魔界より
来たりし者かわが恋ふ君は

くちづけもことばも欲らじただただに
君がゆくみち恋ひて朽ちなん

狂歌一首

セーラー服の下に息づくしーむらに
わが乱杭の歯型つけたし

（群馬県・むらさきしきぶの実・三十六才）

突然ですが　今号から誌名をＣＯＭＩＣ　ＪＵＮからＪＵＮＥ（ジュネ）に変更いたします。詳しい事情は次号であらためてまた書きますけど、とり急ぎお知らせまで。内容には変わりはありませんので（いや、もちろん、かわりばえがしないって意味じゃありませんからねー）今後とも、なにとぞヨロシクお願いいたします。

編集部より

神戸市・新司

那須郡・室井美枝子

静岡県・O.はるや

あなたとわたしの ヒワイ画コンテスト

押し入れ画集

疲労回復、真実一路、一触即発、四面楚歌、中央突破的一区画!?

東京・黒江馬鹿

茨城県・梅若丸

鳥取県・柏木千恵子

松山市・姫丸

国分寺市・鶴巻魅沙

静岡県・松枝美穂

新潟県・長ねぎパーマネント

カット・さわだたく

お願いや募集やお年玉（プレゼント）やら…

募集

○マンガ
普通の(?)少女誌には載らないような個性的な作品を。近々、他誌とは一味違う「マンガ・スクール」的なページを設けるつもりです。優秀作は本誌または増刊号に掲載し、稿料(頁三千円也)をお支払します。ARE YOU READY?

○私の理想の美少年
12×9㎝のカット。無駄なテイコーはやめて墨一色で描いてね。

○私の現実の美少年＝MY BOY
とっておきの美形写真を送ってね。猫の写真送ってくれた人いたけど、それもOK（でも、その猫はブオトコ?だったのでボツにしたんよ)。

○ヒワイ画
デッサンのしっかりした美しくもおぞましいヒワイ画を♡14×21㎝（変形サイズも可)。

○ムフフ告白レポート
トーゼン今月号の告白レポート、読んでくれたよね。みんなスンでてまけそう。あなたも貴重な見聞、体験を、ぜひJUNEの百万読者(そんなにいたらタイヘンじゃー)に知らしめよう。コレ、大増ページの予定なのだ。

○同人誌
商業誌とは違う魅力で、三日やったらやめられず、三年やったら気がめいるという同人誌。編集部にも見せちくれ。会員募集もどうぞどうぞ。会の性格、目的、主旨をはっきりしてね。

○小説・評論・詩歌・イラスト・カット他
JUNE的なものなら何でも歓迎♡少ない誌面ですが、良いものはどんどん掲載したいと思います。まだ全部を読んではいませんが、小説に面白いものがあります。まもなくお目にかけられるでしょう。詩歌、小説は必ず原稿用紙に清書して送って下さい。読むのが苦痛になりますのよ。原則的に原稿は返却しませんので、あらかじめコピーをとっておいて下さい。

○情報
新しいのでも昔のでも、あなたの見つけたJUNE的な、ニュース、映画、小説、絵画などをみんなに教えて下さい。

○原稿・カット・写真などの裏に必ず、住所・氏名・年令・電話番号・返却希望の場合にはその旨（返信用封筒を同封して）を書いておいて下さいね。記されてないものは編集部のコレクションに加わることになるんよ♡

アンケート

（ハガキor手紙で。まさか小包は…）
1今月号で面白かったもの、読んでソンしたと思ったもの（理由も一言)。
2JUNEで今後やってほしいこと。登場してもらいたいマンガ家・作家、意見、批判など何でも言って♡
3大好評の「美少年と流されて」「美少年に変身して」「美少年を料理して」のシリーズ、第四弾です!あなたのB・F（あるいは兄弟）のJUNEシーンを目撃してしまいました!さて、その時あなたはどうしますか?これが問題。——やっぱり!と思い、ドキドキしながら見学してますわ——これは健康的なささや先生の答ですヨ。
4「世紀末的美形ベスト10」に清き一票を!あなたの美意識を誌面に反映させよー!

プレゼント

○同じ元セックス・ピストルズでも、こちらは、ありあまるエネルギーを前向きにサウンドにぶつけているリッチ・キッズ。その新しいポップ性を感じさせるデビュー・アルバム「王子の幻影」の英国盤(!)を5名様に。
○トム・ロビンソン・バンドの主張と、歩みがわかるパンフレットとポスターをセットで5名様に。
○少女マンガ誌の創刊、休刊が相次ぎ、転換期という感じですが、6号でお亡くなりになるPEKE（みのり書房）を20名様に。マイナーながら、ホンネとジョークとアソビとマジとが、少年マンガと少女マンガとSFと劇画とが混然となってたこの異色誌の終刊号は、あの「COM」の特集なのです。アーメン。
○情報欄で紹介した片山健のスリリングな画集「迷子の独楽」（北宋社）を5名様に。
○今号までにお便り（原稿、手紙、アンケート等）下さった全部の中から、50名様に竹宮先生の表紙複製画をプレゼント。お便りの最後に希望のプレゼントを赤で（よーするに、目立つよーに）書いといて下さい。

「Peke」今となっては貴重な創刊号　「王子の幻影」リッチ・キッズ

♥編集部より　新矢さんのお便りにもあったけど、本誌は意外性十分の、常に新鮮でユニークでエキセントリックなコミック誌です。なんと誌名まで変わる大胆さ。驚いた!?やってる編集部もビックリでございますのよ♡　月刊化第1号の4月号も、何がとびだしますことやら、お楽しみに!!

年頭ごあいさつ

昨年は不確実性の時代であり、誌名すら確かな存在ではなかったのであります。今年こそは編集部員がメエメエ自覚をもち、注目のマトンとなる、すばらしい雑誌を確立したいと思います。ヨロシク。

EDITORS' REST ROOM

★新年あけましておめでとうございます。今年もどうかよろしく!きゃはは…きっちりゴアイサツできたみたい・・新しい年を迎え、編集部もはっちゃきになってるの。いろんな特集の企画が進行中で、何から先にやるか…ケンカよーもう。わたしはヴィスコンティ特集やりたいの。「イノセント」と「ルードヴィッヒ」も封切られるみたいだしいいわよねー。(まり)

★キャメル、トム・ロビンソン・バンド、JAPAN、チープ・トリック、クイーン…今年はカタッパシからコンサートに行ってしまうのよ。またまたROCK特集を、今度はもっとキメこまかくやりたいのよねー、ROCKファンの人、応援して!(マキ)

★ねえ、みんな。あや、困ってるの…。非現実的に美しい現実的美は、いったい、どこ、どこにあるの? 現実に、非現実的に美しい場所が、そして、耽美少年(耽美少女も)が、耽美術小道具・衣装が、「耽美写真館」には必要なの! 耽美に関する、あやの悩み…ああ、つらいわ…。この弓なりの日本のどこに、私の悩みをいやしてくれる、心地よく秘密めいた場所＝耽美プレイスがあるの? ねえ、みんな、おしえて、今すぐ、わたくし伊集院彩に、耽美に関する情報のお手紙(できれば写真やスケッチを添えて)をくださらない? お願い……! (彩)

★彩さん同様、耽美雑誌を目指しております。なんとか、タンビがタカを生むように、タンビにアブラゲをさらわれぬようにしたいのじゃ〜。なんてダジャレを言ってるから、耽美でなくなってしまうのよねー。なにはともあれ今年もお手紙たくさん下さいね。(彦)

★橋本治さんの「桃尻娘」(講談社)の面白いこと!とりわけ〝オカマの源ちゃん〟の告白の章が身につまされ(?)ちゃった。(森)

★〝空白の一日〟を利用して、無事編集部入りをした鈴木哲也です。といっても、まだバイトの身であります。ヒマをみて歯医者へ行ったり「二〇〇一年宇宙の旅」を三回観たりしています。閑話休題、やよいさんたちのBECKのお話、実は、あの後がものすごく面白くて、みんなで徹夜をしてしまったんだけど。あれっぽっちしか紹介できなくってごめんなさい。(哲)

★高萩市の鈴木なご美さん、徳島市の紫水さん他大勢の皆さん、年賀状どうもありがとう。お年玉くじが当っていた方にはJUNEをあげちゃうことにしよっと♡

それはさておき、次号(3月7日発売の4月号)から、いよいよ月刊となります。より充実した内容の雑誌にしようと編集部一同斎戒沐浴臥薪嘗胆精神一到丁丁発止盛者必衰戦戦恐恐としてがんばりますので、皆さんもどんどん御意見、御希望お寄せ下さい。(水)

好評連載第二回
おわび・修正・グチ・弁解 内容充実前号訂正コーナー

●**ドミニック**／4頁目～7頁目までのイラスト、拡大使用してしまいました。ゴメンなさい ●**黄昏詞華館**／カットはひさうちみちお先生●**ボウイ**／BLUFS→BLUES●情報／梢図かずお→梾図かずお ぼくちゃん悪い子ちょめちょめじて〜っ!!●**MY BOY**／ リチャードくんの写真に関して「あの写真の後にいるおばさんは、わたしのママンでございまする。まさかと思っていたのですが、あの顔と服装、まちがいなく私のムターでございます。BUTかかたまは、あの少年を見ていたのではなく、歯が痛くて顔をおさえていたのです。だから決してうちの母は、私とはちがって、あの趣味には関係ありません!このことを匿名希望で全国にいってくでェ〜」というハガキが来ましたヨ。こういうことってあるもんなのねェ。「出演料」としてJUNEをお送りします。お母様にヨロシク。●**美少年学入門**／これがタイヘン。3頁目中段の中頃の「メ」は「×」のマチガイ。ゴカイを招くおそれが多分にありました。下段の「劣光」も「尖光」の誤り。中島さん許して!ぶって、ぶって!!●**JUNE 文学全集**／これに関しては、いずれまとめてやるので、待って、待って!!●**ROOM**／字が多いだけあって、マチガイも多いのよ 名前のでは、木沢さん、井上さん、マン研なっしんくたんく、の皆さん他、まとめてごめんなさーい マン研では、同じ会が三回も登場してたりして……。ベスト10のミスは今号のベスト10のとこ見てね。名前なくしちゃったのは島原市のRimiちゃんでした。今度も建設的なお便りありがとー♡なくしたといえば、またやっちゃったんすよ アメリカからの手紙!アメリカの書店でJUNEを手に入れた!という内容で、わ〜、それはスゴイ!ならば、ひとつ英語版も考えてみよう!それより、この人から米国産美少年の写真を送ってもらおー!などときゃっきゃと編集部で回し読みしてるうちに消えちゃったのよー すみません、これ読んだら、またお手紙下さいねー♡●**あと**、何か忘れてるなー!?と気になってたら、プレゼントもらった御礼の手紙が届いて気がついた。プレゼントの当選者の名前を発表するの忘れてたのよ!! JUNEでページ少ないじゃない、いろんな企画を落として、削って、つめこむのに苦労してて、全然そのこと考えてなかったのよねー。いけないわよね、やっぱり…。「賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます」にしようかな…。あ!?まだ送ってないのもあったりして♪ともかく、アー、早急に善処いたします、ウー。●**投稿・お手紙など**、先の号で紹介する予定のもありますから、そのつもりで。●すべてのハガキ、手紙、原稿、作家へのファンレター、サシイレのあて先は、

〒102 東京都千代田区麹町3—3 可児ベルモードビル内 サン出版 COMIC JUNE編集部

です。麹という字のヘンは麦と書いてもよいですのよ。そのほうがカンタン。編集部直通の電話は、03(262)7749です。キョーハク状とか、「不幸の電話」はやめましょうね。では、次は3月7日にお目にかかりましょう。

June
No3

● June 2月号
●発行人：五十嵐利一郎
●編集人：桜木徹郎
●EDITOR：佐川俊彦
鈴木哲也 水野正文
槇野京子 森下洋行
南地弥生 伊東マリ
●special thanks
上田裕子 伊集院彩
高野文子
●昭和53年2月1日発行
●発行所：KK・サン出版
東京都千代田区麹町3－3
可児ベルモードビル4F
電話：(03)264－1071
編集部 (03)262－7749
●印刷：大日本印刷KK

illustration：Sayo Fukuyama

JUNE SPECIAL ISSUE 2

雑誌05193—2　定価380円